

大將	贈正四位	京都	中山前侍從(忠光)	十八
總裁	贈從四位	備前	藤本津之助(真金)	五十
同	同	三州	松本謙三郎(衡)	四十
同	贈正四位	土州	吉村寅太郎(重郷)	二十六
同	同	江州	池田健次郎	二十三
側用人	贈從四位	土州	池田内藏太	二十五
監察	贈從五位	筑前	吉田重藏(良秀)	三十四
同	贈從四位	土州	那須信吾(重民)	三十四
同	贈從五位	久留米	酒井傳次郎(重威)	二十五
銀奉行	贈正五位	因州	磯崎忠次郎(寛)	三十八
小荷駄奉行	贈正五位	河内	水郡善之助(長雄)	三十八
同	同		小野吉之助	
同	贈從五位	河内	森本傳兵衛(勝定)	二十四
同	贈正五位	土州	前田繁馬(正種)	二十四

兵糧方	贈正五位	久留米	山口松藏	二十八
同	同	宇陀	林豹吉郎	四十
同	同	淡路	福浦元吉	三十四
小荷駄下役	贈正五位	三州	木村楠馬	二十二
武器奉行	贈正五位	河内	伊藤三彌	三十三
祐筆方	贈正五位	河内	辻幾之助(周茂)	三十三
勘定方	贈正五位	筑後	小川佐吉(良久)	三十三
同	贈從四位	大和	平岡鳩平(今北高治房男爵)	三十三
記録方	贈從四位	河内	伴林六郎(光平)	四十
合圖掛	贈正五位	三州	穴戸彌四郎(正明)	三十二
同	同	土州	森下義之助(茂忠)	二十三
小頭	贈從四位	因州	石川一(貞元)	二十三
同	贈從五位	肥前	澁谷伊與作(實行)	二十三
同	贈從五位		尾崎濤五郎(通靖)	二十三

砲一番組長	贈從五位	久留米	半田門吉(成久)	二十三
同	同	河內	田中楠之助	十八
同	贈正五位	土州	田所騰次郎(重武)	
同	同	同	楠目清馬	二十二
同	贈正五位	水戸	岡見留次郎(經成)	二十四
同	同	土州	澤村幸吉	二十一
同	同	同	安岡斧太郎	二十五
同	同	同	鍋島榮之助	
同	同	同	島浪間	二十三
同	同	同	上田宗兒	二十三
同	同	同	土井佐之助(雄武)	二十四
同	贈從五位	筑後	荒卷半三郎	
同	同	久留米	中垣謙太郎(幸雄)	二十四
同	同	土州	鶴田陶司(道德)	

同	贈從五位	備中	原田龜太郎(廣)	
同	同	大和	市川清一郎	
同	同	肥後	竹下熊雄	二十八
同	贈從五位	久留米	江頭種八(國足)	二十二
同	同	肥前	保母建(景光)	二十三
同	贈正五位	河內	長野一郎吉井義造	二十六
同	同	同	水郡榮太郎(長義)	十三
同	贈正五位	土州	森下幾馬	三十
同	同	同	伊吹周吉(石田英吉男爵)	
同	贈正五位	同	島村省吾(正雄)	十九
同	贈從四位	同	安岡嘉助	二十五
同	贈正五位	同	乾十郎	
同	同	同	井澤宜庵	二十四
同	同	同	十津川野崎主計	

武器取調方

贈正五位	十津川	深瀬	繁理
贈從五位	同	中垣	郭之進
贈從四位	幕士	安積五郎	(武貞)
贈正五位	大和	橋本	若狹
贈從五位	河内	武林	八郎

以上の士多くは少壯有爲のもの而して其の多數の者は即ち王事に斃れたるなり。後明治の御代に至りて多くは朝廷より位記追贈せられ以て其の忠誠を賞し給ひき。天恩枯骨に及ぶ畏き限りなり。

八名所

畝傍山 一に畝火雲飛宇禰烽又雲根飛に作る古歌に玉禰畝傍の山とつゝけたり又俗に慈明寺山オムネ山又單にムネ山と呼へり。高市郡の中央白樫村の西端に峙立し一座の山體他に連接せず山容最も雄壯にして蒼松全山を包み翠黛長へに濃なり。海拔百九十九米一あり高しと稱するに足らずと雖も其の森嚴なる景趣は眞に皇國の鎮と稱するを得へし。岩石成立に二説あり甲は第三紀の火山に

に屬して白色英雲安山岩より成れりとし乙は黒雲母と斜長石所謂雲母安山岩なるものにして稀に石榴石を抱有し火山岩中多く現出せざる種類なりと稱せり。其の形狀層狀を呈し一見水成岩の如き觀あり此の山古より磯城郡の天香久山耳成山を併せて大和三山と稱し共に帝室御料地たり。山上に畝火山口神社鎮坐し現今は氣長足姬命豐受姬命表筒男命の三神を祀り山麓には名所舊蹟頗る多し。即ち其の東南麓には皇祖神武天皇肇國の靈蹟なる樞原宮址ありて現今官幣大社樞原神宮爰に鎮座し天皇及皇后を奉祀せり。此の神宮の附近に久米寺あり又南麓には人皇第四代懿德天皇畝傍山南織溪上陵あり更に其の南方白樫村大字鳥屋の地に人皇第二十八代宣化天皇身狹桃花鳥阪上陵並に倭彥命之身狹桃花鳥阪墓等あり附近一帶の低地古の所謂益田池の故地にして傍に白樫村大字池尻あり又西南麓には人皇第三代安寧天皇畝傍山西南御陰井上陵及陵名を得たる御陰井あり又北麓には神八井耳命の畝傍山北の墓あり更に東北方には皇祖神武天皇畝傍山東北陵並に人皇第二代綏靖天皇桃花鳥田丘上陵等あり。

〔古事記〕神武天皇皇后

宇泥備やまひるは雲とゐ夕されは風吹かむとす木のはさやける

〔萬葉集〕高山はうねひををしと耳梨と相あらそひき神代よりかくるらし

いにしへもしかなれこそうつせみもつまをあらそふらしき

思ひあまりいとすへなき玉櫛雲飛の山にわかしめゆひつ

〔家持家集〕おほ空に雁そ鳴なるうねひ山御垣か原に紅葉しぬらし

○ 神代をもかけてそしのふたまたすき畝火の山をけふし見つれば

(富士谷成章)

○ うねひ山見ればかしてし樞原のひしりの御世の大宮ところ (本居宣長)

飛鳥山 鳥形山又神名備山と云へり、飛鳥村大字飛鳥の上方にあり、飛鳥山の意義に廣狹の二様あり、廣義の時は今の鳥形山より東南の隣接地一帯を云ひ、狹義の時は單に鳥形山のみを云ひしものゝ如し。其の廣義の飛鳥山の西方一圓の平野は古昔衣縫造祖樹葉之家地にして此處を眞髮原又淺小竹原と云ふ、神名備山は古の雷丘にして天長六年三月遷宮の時舊名を襲けり。委しくは雷丘の條にて述ふへし。鳥形山は止我多也麻と訓ひへし、即ち千舊名は苦田にして鳥形止我多と邦

音相近似せる故轉訛して鳥形となりしもの歟。

〔日本書紀〕瓊飛鳥衣縫造祖樹葉之家、始作法興寺、此地名飛鳥眞神原、亦名飛鳥苦田

〔天和志〕神名備山在飛鳥村上方有三諸山、神丘等支別、其野曰眞神原、又淺小竹原、又

云飛鳥里並舊都遠飛鳥神名備山眞神原淺小竹原云云

飛鳥山の一部里俗天神山地籍字美乃敷の頂上畑地中に方二間大の芝生を存す、古來崇

神天皇の笠縫祠址と傳稱せり、又其處より南方約一丁の處に酒槽石あり。

〔萬葉集〕春されは花さきをくり秋づけはにのほにもみづ味酒を神名火山の帯に

せる明日香の川の早き瀬におふる玉藻のうちなひき

神名備の淺小竹原の女郎花しぬべる君かこゑの知るけく

〔玉葉集〕見わたせは白ゆふかけて咲にけり神をか山のはつ櫻はな

宗尊親王

南淵山 附細川山 南淵山は高市村大字冬野に於て冬野山海拔六百より分岐し

西に赴きて大字稻淵及阪田の中間を過ぎて山脚全く盡く、山脈中、大字畑畑上に於て

海拔六百二十米を示し更に西して里俗所謂稻淵山に至らは三百三十米あり。又

細川山は多武峯山脈中御破裂山海抜六百十三米より岐れて西走し大字細川の北方を過ぎて上居に至りて盡く。大字上に於て海拔五百二十二米六あり。以上の二山脈大字冬野に於て合す、古來薪炭林なりしか近時漸次用材杉檜林に變する傾向あり。

〔日本書紀〕天武天皇五年五月勅令禁南淵山細川山並莫藹薪是れ何の爲なるやを知らずと雖も蓋し其の風致を保存し兼て水源に係る山林なるを以て之を保護せるものならん歟。

〔萬葉集〕御食向ふ南淵山の岩根には落波たれか消えのこしたる

南淵の細川山にたつ眞弓東まくまて人にしらるな

眞十鏡南淵山はけふもかも白露をきて黄葉ちるらん

〔井蛙抄〕五月雨に渡るあさせもなかりけり南淵山の谷の川水

〔歌枕秋〕はやいなふち山のきりくす聲よわり行老そかなしき

年をふる涙をいかにあふ事は猶稻淵の瀧まされとや

〔衣笠内大臣歌合〕南淵の細川山を時雨ふるまゆみの紅葉今さかりかも

八釣山 飛鳥村大字八釣の上方にありて今雜木を栽ゑたり、又矢釣山と書す其の麓を流る、溪流を八釣川とす。

〔萬葉集〕矢釣山木立も見えずちりまかふ雪もはたらにまかてたのしも

巨勢山 巨勢郷は高市郡の西南二方面に互れる地方にして今阪合村の一部並

に越智岡新澤天満の三村及南葛城郡葛村をも包含せしならん歟。

〔和名抄〕高市郡巨勢郷

〔夫木集〕鳴送れこしてせ山のほと、きすきまらの里の松の絶間に

又巨勢山に關しては、

〔大和志〕在越智鳥屋二村上方

〔五郡神社記〕巨勢山者在高市郡與葛上郡界中腋上朝嬬、東則巨勢山口神社屬葛上郡

南葛城郡に巨勢山口神社ありて本郡に許世都比古神社あれは以て證すへし。

甘樞丘 飛鳥村大字豊浦の地にあり、誓盟の神古來此に鎮座し探湯の事ありし所なり。〔甘樞坐神社の條を参照すへし〕

〔弘仁私記〕今高市郡有釜是也
後世湯釜亡ふと雖も神社猶ほ存す。

〔日本書紀〕皇極天皇二年蘇我大臣蝦兒入鹿臣雙起家於甘檮岡稻大臣家曰宮門入鹿家曰谷御門

〔天和志〕延喜六年日本紀竟宴和歌得雄朝嬌稚子宿禰天皇又云在豐浦村皇極天皇三年蘇我入鹿雙起於甘檮丘即此

〔舊跡幽考〕此味檮丘をおもふに是より十四五町北につゝきて豐浦寺のほとり飛鳥川に至りて味檮丘にてこそ侍らぬ飛鳥川にあまが瀬のわたりといふありあまかしの片言なるへし玉林抄に曰く甘檮嶽は豐浦寺の東橋寺の北と云云帝王編年記に曰く高市郡云云

式部卿是忠親王

甘かしの久可太知きよければにこれるたみも可波禰數末之幾

甘檮丘須彌山

〔日本書紀〕齊明天皇三年秋七月丁亥朔辛丑作須彌山像於飛鳥寺西且設于蘭盆會

暮饗都貨遷入

同五年春三月戊寅朔甲午甘檮丘東之川上造須彌山而饗陸奥與越蝦蟇

甘檮丘宮門

蘇我入鹿家地の條参照すへし。

雷丘 飛鳥村大字雷字上の山城山の地是なり飛鳥川の東方にありて甘檮丘と相對す 元飛鳥神の宮地賀美奈備の地なり日本書紀雷の名稱につき述ふる所あり然れとも事蹟怪奇に過ぎて疑ふへし。蓋し賀美奈備の音轉して雷加美奈利に變し後又故らに變して遂に現今の如く伊可都知となれる歟一本雷土と書せり。

〔日本書紀〕雄略天皇七年秋七月甲戌朔丙子天皇詔小子部連螺贏曰朕欲見三諸岳神之形汝奮力過人自行捉來螺贏答曰試往捉之乃登三諸岳捉取大蛇奉示天皇天皇不齋戒其雷虺虺目精赫赫天皇畏蔽目不見却入殿中使放於岳仍改賜名爲雷岳

〔大日本地名辭書〕古事記傳曰書紀雄略卷に天皇詔小子部連螺贏曰朕欲見三諸岳神之形或云此山之神爲大物主神也云云此古事記靈異記にも委く見えて三諸

岳即出雲國造賀詞の飛鳥之神奈備山と云ふ所なり三輪山と混すへからず萬葉集十三登神岳山歌三諸之神名備山とも神名備乃三諸山ともよめる皆此にて神岳とも云ふ飛鳥神社ももここゝに坐しけるなり天長六年今の鳥形山へ移し奉る今按するに雷岡の神奈備山は出雲國造賀詞に賀夜奈流美命乃御魂乎飛鳥乃神奈備爾坐とあるに當り延喜式加夜奈留美命神社は天長六年本社移轉後尙舊祀を存したるものに似たり古事記傳神祇志料に加夜奈留美命神社は雲梯社なりと爲すもの恐くは穿に過ぎたる論なるへし日本書紀天武天皇朱鳥元年天皇不豫奉幣飛鳥四社とあるは鳥形山遷座以前雷岳の事なり

天皇天武御遊雷岳之時梯本朝臣人磨作歌

〔萬葉集〕すめらきは神にてませは天雲の雷の上にいほりするかも

神山の山下とよみゆく水の水の尾絶えねは後もわかつま

〔玉葉集〕見わさせは白ゆふかけて咲きにけり神をか山の初さくら花

佐田丘 高市郡の中央西南に偏して蟠結せる丘阜あり所によりて越智岡真弓

丘佐田丘の異稱あり而して佐田丘と稱するは越智岡村大字佐田地方にある一帯

の丘地なるへし。

〔萬葉集〕橘の島の宮にはあかぬかも佐田の岡邊にとのゐしにゆく

朝日てる佐田の岡邊にむれ居つゝわか哭く涙やむ時もなし

〔名寄駒〕なへていさ見にゆかむ佐田川にえたさかはすやまとなてして

逝回丘 又市往岡に作る岡の里の高處の名ならん歟。

〔續日本紀〕神龜四年詔僧正義淵法師禪枝早茂法梁惟隆扇玄風於四方照惠炬於三界如以自先帝御世迄于朕代供奉内裡無一咎僭念斯若人年德共隆宜改市往氏賜岡連姓傳其兄弟

故郷豐浦寺尼私房宴歌

丹比國人

〔萬葉集〕明日香河逝回の丘のあきはきは今日ふる雨にちりかすきなん

〔續古今集〕待つ人のゆきゝの岡も白雪のあすさへふらは跡や絶なむ

家 隆

〔新後選〕飛鳥川ゆきゝの岡の葛かつらくるしや人にあはぬ恨は

普光園入道前關白左大臣

〔風雅集〕旅人のゆき、の岡は名のみして花にと、まる春の木の本

爲 家

〔爲尹千首〕里人の逝回の岳の小笹原、風もいくたひ分て吹くらむ

大内丘 今白樫村大字五條野より高市村大字野口に互れる地方なるへし、檜隈

大内陵此にあり、古は牟狹に屬し檜前に近ければ其の稱あり。

〔山陵志〕檜隈是身狹東南所謂輕之舊都也、今古時蓋廣而檜前名始見雄略記

と、然らば輕の地等大内なりし事もあるへき歟。

〔日本書紀〕欽明天皇七年檜隈邑人川原民直宮得良馬、超渡大内丘之壑十八丈餘

眞弓丘 又檀弓岡に作る、阪合村大字越より越智岡村大字森に互れる一帯の丘

陵の泛稱なり、されはにや吉備姫王の舊墓檀弓岡墓は書紀通證には阪合村大字越

にありとなし又岡宮天皇眞弓岡陵は越智岡村大字森にありし王の墓を以て論定

せらるゝに至れり。

〔萬葉集〕外に見しまゆみの岡も君ませは常つ御門にとのゐするかも

淨御原 天武天皇の皇居のありし所なり、飛鳥淨御原宮址の條下を参照すへし。

眞神原 又眞髮原 飛鳥村大字飛鳥法興寺地即ち所謂苦田の地にして廣義に

於ける飛鳥山の西部一帯の平野なるへし。

〔日本書紀〕瓊飛鳥衣縫造祖樹葉之家、始作法興寺、此地名飛鳥眞神原、亦名飛鳥苦田

〔苦田邦音與鳥形相近似疑轉訛爲鳥形〕

〔大日本地名辭書〕眞神原又眞髮原に作る、飛鳥法興寺の地にて鳥形山の下なり、日

本書紀、雄略卷に見ゆ、漢才伎の住所なり、姓氏錄云大和諸蕃眞神宿禰出自漢福

徳王也、書紀通證云倭名抄兼名苑云狼一名豺和名於保加美蓋大神也、昔明日香

地有老狼、土民謂之大口神、故其地名大口眞神原、見風土記

〔萬葉集〕大口の眞神の原にふる雪はいたくもふりそ家もあらなくに

挂文忌之伎鴨言久母綾爾畏伎明日香乃眞神之原、爾久堅能天津御門をかしこ

くもさため給ひて神さふと磐隱坐中略白妙のあさのころもき道安の御門の

原にあかねさす日をつくるまで〔中略〕百濟の原に神葬伊座而朝毛吉木上の

宮を常宮とたかくしたて、神のまに、しつまりましぬ

〔澄月歌枕〕飛鳥風むへさえけらし今朝見れば眞神か原に雪はふりつゝ

大原 藤原藤井原 又藤原とも藤井原とも稱す所在に關し説多しされと持統文武二帝の皇居に關しては其の地鴨公村大字高殿なるへく藤原鎌足に關しては其の地飛鳥村大字小原於保波羅なるへきこと藤原宮址藤原鎌足第址の條を参照すへし。而して衣通媛の宮所は其の何れに屬するや定かならず。

〔天和志〕大原大原村一名藤原又名藤井原見多武峯寺記

〔舊跡幽考〕大原藤原同所異名

〔大日本地名辭書〕接に萬葉集第八の一歌の注云

藤原夫人字曰大原大刀自即新田部皇子之母也又續紀には天平神護元年行幸紀伊國車駕巡歷大原長谷臨明日香川而還藤原と載せたり。略解云大原は續紀に紀伊行幸の路を記せしに泊瀬と小治田との間に大原と云所見ゆ今も大原村あり即ち藤原とも云へり云云

〔萬葉續古今〕田原天皇

大原やこのいちしはのいつしかと我思ふ妹にこよひあひぬる

〔萬葉風雅〕大原やふりにし里に妹をおきて我いねかねつ夢に見えつゝ、

〔萬葉集〕天武天皇

我里に大雪ふれり大原のふりにし里にふらまくはのち
藤原のふりにし里の秋茅子は咲てちりにき君待かねて

藤井原

〔夫木集〕後九條

紫の藤井か原の花かつら松にや春の暮かゝるらん

越野 阪合村大字越の地ならん歟。

〔久安百首〕花薄人も越野の名をしらて誰まねくらん秋の夕暮

中納言公能

〔大日本地名辭書〕越野は越智野なり歌枕にこす野とよむは誤れり。冠辭考云ふ〔萬葉集〕しき妙の袖折りかへし玉たれの越野にすぎぬまたあはめやも此反歌は裏書に或本云葦河島皇子越智野時とあり因て越野は乎知能とよむへし玉の緒とかけたり萬葉集に又越の菅原あり之を高志國と爲すも非なり同く越

智ならん眞珠のを」とかけたり。

またもつく越の菅原わか苅らす人しからまく惜き菅原

築坂 今白樫村大字鳥屋地方之にあたる歟。宣化天皇身狹桃花鳥坂上陵もこの地にあり、倭彦命身狹桃花鳥坂墓も亦此の地にあり、式内鳥坂神社も亦此の地の氏神たり蓋し鳥坂は桃花鳥坂の略語なるへし。

〔日本書紀〕神武天皇元年春二月甲辰朔乙巳天皇定功行賞賜道臣命宅地居于築坂邑以寵異之

此の地畝傍山を距ること南七八丁に過ぎず。

廐坂 白樫村大字大輕石川久米の交界附近ならんも所在詳ならず。

〔日本書紀〕應神天皇三年冬十月辛未朔癸酉東蝦夷悉朝貢即役蝦夷而作廐坂道又云十一年冬十月作廐坂地又云十五年秋八月壬戌朔丁卯百濟王遣阿直岐貢良馬二匹即養於輕坂上廐因以阿直岐令掌飼故號其養馬之處曰廐坂也

彼の舒明天皇か廐坂宮址も山科寺を建立したる廐坂も亦同處なるへし。

飛鳥川 水源二あり一は高市村大字畑より發し稻淵に至り稻淵川と稱す此の

上流に皇極天皇雨を祈り給ひし所あり。又一は磯城郡多武峯村より來り細川に至り細川川一名細と稱す。此の上流空海の名つけし不動の瀧あり。此の二水高市村大字祝戸に至り相會して飛鳥川となり北流して大和川に入る流路凡八里あり。此の川今井町の東方にては蘇武川の名あり飛鳥川は流路小なれとも史上頗る著名にして其の歌什に入るもの二十一代集中に凡八十五首あり。

〔大和志〕源自畑山中經稻淵至祝戸與細川合經岡飛鳥四分等至今井曰蘇武川歷地

黃入十市郡

〔萬葉集〕飛鳥の明日香の川の上瀬に石橋わたし下瀬にうち橋わたし略

神名火山の帯にせる明日香の川のはやき瀬におふる玉藻のうちなひき

明日香川紅葉はなかる葛木の山の木の葉は今しちるか

〔古今集〕きのふといひけふと暮して明日香川流れて早き月日なりけり

世の中は何か常なる飛鳥川きのふのふちそけふはせになる

春道列樹

〔榮花物語〕中に定めなき世はあすか川玉つりくなるやとゝならしや

〔後選集〕淵は瀬になりかはるてふ飛鳥川渡り見てこそ知るへかりけれ

讀人不知

〔拾遺〕飛鳥川しからみ渡しせりませは流るゝ水ものどけからまし 人 在原元方 磨

〔後拾遺〕淵やさは瀬にはなりけるあすか川淺きを深くなす世なりけり 赤染衛門 人 磨

〔新古今集〕飛鳥川紅葉なかるゝ葛城の山の秋風吹そしめらし 權中納言長方 人 磨

飛鳥のあすかの里をきていなは君かあたりは見えずもあらん 天明天皇 定 家

〔續古今集〕あすか川ゆくせの波に御祓して早くそ年の半すきぬる 天曆御製 逢事はいつにかあらんあすか川さゝめなき世を思ひわひぬる 後鳥羽院

世中よいかゝ頼まんあすか川昨日の淵の淺瀬しらなみ 躬 恆

けふ暮てあすかの川の川千鳥日に幾瀬をか鳴渡すらん 實 清

〔久安百首〕飛鳥川波の花こそ咲にけれ高園の山に櫻ちるらし 定 家

〔千五百番〕冬はたゝあすかの里の旅枕おきてやいなむ秋の白露 同 人

〔拾遺愚草〕飛鳥川淵瀬もしらぬ色なから都の花といつにほふらん

〔枕草子詞〕飛鳥川淵瀬さためなくたかなからんといとあはれなり

八釣川 又矢釣川とも稱す磯城郡安倍村大字高家の山中に發源し西流して近

飛鳥八釣宮址の南方に過ぎ更に流路を轉して飛鳥村大字奥山及大官大寺址の西

部を北流して磯城郡香久山村に入る。

〔日本書紀〕人皇二十四代顯宗天皇即位於近飛鳥八釣宮中略二年春三月上巳幸後

苑曲水宴是時喜集公卿大夫臣連國造伴造爲宴羣臣類稱萬歲

〔正統錄〕三月上巳の日曲水をはしめさせ給ふ

〔萬葉集〕矢釣川水底絶えず行水のつきてそこふる此としころは

檜前川 高取山より發し初め高取川と稱す流れて阪合村に至りて檜前川の稱

あり大字眞弓の東部に於て眞弓川の稱あり平田に至りて檜前より來る細流を合

せ北流して白樞村大字見瀬を經久米に至り久米川と云ふ此の川流小なれとも夙

に歌什に入れり。

〔萬葉集〕さひのくまひのくま川の瀬をはやみ君か手取らはよせいはいむかも

〔龜山殿七百首御製〕 駒とめてしはしすゝまむらちわたす檜隈川の水のゆふ波

〔古今大歌所御製〕

さひのくまひの隈川に駒とめてしはし水かひ影をたに見ん
〔續後選集〕駒とむるひの隈川の底清み月さへ影を移しつるかな

權中納言長方

〔玉葉集〕駒とめて影みる水や濁るらんひのくま川の五月雨の頃

中臣祐成

久米川 又來目川とも書す、檜前川の下流にして久米に至りて此の名あり、畝傍山の西を流れ眞菅村に至りて曾我川に注ぐ。

〔日本書紀〕神武天皇元年春二月甲辰朔乙巳使大來目居于畝傍山以西川邊之地、今號來目邑此其緣也

又云雄略天皇四年春二月射獵於葛城山一事主神送天皇至來目水

〔天木集〕御狩する君かへるとて久米川に一言主を出てませりけれ

蘇武川 飛鳥川の下流にして今井町の東邊を蘇武川と云ふ、傍に清泉涌出す之を曾武の井と云ひ架せる橋を曾武橋と云ふ。

〔玉林抄〕聖德太子斑鳩宮よりすぢかひを経て曾武の橋をわたり八木の里を過き

て橘宮にかよひ給ひし

蘇我川(曾我川) 上流を部坂川又重坂川とも書すと稱し南葛城郡葛村大字重坂に發源し北流して本郡の西部を流れ曾我に於て畝傍山の西を繞り來れる久米川を合せ遂に大和川に入る。此の川本郡の名勝にして眞菅村村名も萬葉集和歌の冠辭により名けられたり。

〔萬葉集〕眞菅よし宗我の川原に鳴く千鳥まなしわかせてわれこふらくは

日本書紀神代卷に天安川とあるは曾我川を指すものならん歟古語拾遺に天八湍河に作る、小川氏曰く、安川は即ち八宗我川なり、八は發語にして之を約めて安川と云ふと。今天高市神社大字曾我に鎮座す、接するに神代にありし天安河の事蹟は是れ歟。

七瀬淀 附神奈火淵 七瀬淀は飛鳥川に在りたらんも今定かならず、一説に樹葉堰

の下より石堰に至る間にして神奈火淵も亦其の中にあると云へり。

〔萬葉集〕明日香川七瀬の淀にすむ鳥も心あらはこそ波立たさらめ

〔内裏名所後撰〕順徳院

飛鳥川七瀬の淀に吹風のいたつらにのみ行月日かな

〔風雅〕あすか川一つ淵とや成ぬらん七瀬の淀の五月雨の頃

權中納言公雅

〔壬二〕春の日も今幾日とは飛鳥川七瀬の淀にしからみもかな

家隆

神奈火淵

〔萬葉集〕大納言大伴卿在寧樂家思故郷歌

しまらくも行てみてしか神名火の淵はあさひて瀬にかなるらむ

難波堀江

飛鳥村大字豊浦眞宗向原寺の東南約十間の處に小池あり、里俗之を

難波池と呼へり。現今存するもの四方石垣を積み、中に水を湛へたり。東西三間南北三間四尺ありて水中に豊玉姫命を奉祀せる難波池神社あり、此の堀江の所在に關して異説あり。

〔日本書紀〕欽明天皇十三年……有司乃以佛像流棄難波堀江

敏達天皇十四年……既而取所燒餘佛像令棄難波堀江

〔舊跡幽考〕玉林抄に曰く、豊浦寺の東の佛門のなを東に飛鳥川の西の入江是なり

當世かすかに残り難波堀江は守屋大連寺塔を燒なから佛像をしつめたりし所なり昔はいと廣く底かきりもあらざりしかは海にたとへ浦にことよせ或は豊浦といひ又難波堀江ともいひつたへしなり又善光寺縁起に攝津國難波浦にて佛をとり奉ると云云た、管見に定め難し後の人明かにせらるへし法隆寺の舊説大和國難波江決定に侍れば疑もなきものならん歟
今の向原寺の東南約半丁はかりの所に瀧あり瀧の瀧と云ふ、里俗善光寺如來を洗ひし所なりと傳ふ。

劍池 白樫村大字石川に在りて孝元天皇御陵の周池たり、水色清澄山陵の翠松

波に映し水禽其の間に浮游して景物繪の如し。

〔日本書紀〕應神天皇十一年冬十月作劍池、又云舒明天皇七年秋七月、瑞蓮生劍池二

莖二花、又云皇極三年夏六月癸卯朔戊申於劍池蓮中有一莖二萼者、豊浦大臣安推曰是蘇我臣將來之瑞也、即以金墨書而獻大法興寺丈六佛

輕池 現今其の所在詳ならずと雖も蓋し白樫村大字大輕邊ならん歟。

〔日本書紀〕應神天皇十一年冬十月作輕池

〔古事記〕水垣宮崇神御世作輕之酒折池、又云玉垣宮垂仁御世本牟知和氣命作二俣

小舟浮倭之市師池輕池

と是れ酒折は坂降の義にして同し處なるへし。

〔萬葉集〕輕の池うらわゆきめくる鴨すらに玉藻の上にひとり寝なくに

遠つ人獵路の池にすむ鳥の立ても居ても君をしそ思ふ

〔古來歌合〕鴨のたつ羽音寒けし輕の池の上手の堤人やすくらん

廐坂池 白樫村大字大輕石川久米の交界附近ならんも遺址今詳ならず。

〔日本書紀〕應神天皇十一年冬十月作廐坂池、一名美作池

〔堀河二郎百首〕伊勢ならはひかことそとや思はまし大和なるてふ美作の池

垣津田池 飛鳥村大字飛鳥字三ノヤブ山と稱すの東麓にあるもの是れ歟。又

の名鹿垣池里俗古池或は大池と呼へり、廣袤六段七畝一步。

〔日本書紀〕應神天皇十一年冬十月作鹿垣池

勾池 島宮池とも云ふ、高市村大字島莊に池田と字する田地あり、是れ其の遺蹟

ならん歟。

〔日本書紀〕百鳳五年天皇武御島宮宴射手、同十年周防國貢赤龜乃放島宮池

〔萬葉集〕島の宮勾の池のはなちとり人目を戀て池にかつかす

御立しの島をも家と住む鳥も荒ひな行きそ年かはるまで

つれもなき佐太の岡へに君ませは島の御橋にたれかすまはむ

東の多藝の御門にさもらへときのおもけおもめすこともなし

島の宮上の池なるはなち鳥荒ひな行そ君まさすとも

高光吾日の皇子のいましせは島の御門はあれさらましを

越智池 新澤村大字北越智字セキ田にあり、大和志に上の池と稱するも現今宅

地中にあるを以て里人之を中の池と稱す、周圍百三十二間、面積一千八十坪、日本後

紀によれば延暦二年物部年足の築く所なり。

〔日本後紀〕北越智村今稱上池、延暦二年夏四月授正六位上賢田物部首年足外從五

位下、以築越智池也

益田池 遺蹟明ならずと雖も今畝傍山の正南なる白樫村の大字に池尻あり、又

同村大字鳥屋の小字に船附山と稱する所あり、古老相傳へて古益田池遺蹟の一部なりと稱するのみならず、眞菅村大字大谷の人、大谷數榮所藏天正三年の描寫に係る畝傍山古圖に山の南方に碧波漾漾たる一大池水を湛へたるあり、蓋し當時未だ舊池の存せるありし歟、此の池古にありては村井と稱して漢譯語氏の舊宅なりしか、嵯峨天皇早天に稻田を損はんことを憂ひ弘仁十三年十一月大和守藤原繩主及藤原末等池を穿ちて灌漑に便ならしめんと奏請し勅許を得て土功に著手せり。其の後繩主末等皆職を轉せしかは更に參議大伴國道新守藤原藤廣を檢校職に補し工事を督せしむ池成りて即ち益田池と名く、是れ田畑を潤益するによりてなり、乃ち名僧空海に囑して其の顛末を石に勒し不朽に傳へたり、池の廣大なること昆明、釋達を凌き碑石又巨大にして字體極めて放蕩なりしに星霜の久しき今や遺蹟全く廢し其の碑も亦亡ぶ。今大字見瀬の西南岡上に石船と云ふものあり、是れ碑の趺石なりと云ふ。碑文の原稿と稱するもの高野山に傳へ近時模刻を久米寺陰に建つ。字體放蕩を極めたる大筆なり。

〔三十三所圖會〕益田池の碑石は何の世の事にや當國高取の城の石壘に積み込み

ありと古く言傳へたり然れとも其城の廻り廣大にし、何方にありと云ふ事を知るものなしとそ、今集古十種に載する處雷の一字を見摺たるあり、其字の大きき凡五寸餘幅凡四寸餘と見ゆ、さもあるへしと覺ゆ

〔舊跡幽考〕益田池久米寺の邊に花出山と云ふ際に益田の池の跡とてかすかに殘れり、其西に續きて池尻村と云ふあり、村老言ひ傳へて彼池の桶口にて侍れは池尻の名ありと也、思ふに是より南半里許り行き銘碑をすゑける石今に殘れり、池尻村より爰迄昔は池に侍りなん、益田の舊名は村井と云へり、此地は漢の直の舊宅なり、嵯峨天皇早天に田畑の損はれん事を愁ひ給ひしかは弘仁十三年の頃大和守藤原朝臣繩主紀伊守末等此所の地理佳き事を辨へ池を堀すへき由奏しければやすく勅許ありしより繩主末等眞圓律師と申合せて池を掘せたり、大伴參議國道大和守藤廣を池の檢校職に補せられたり、或人曰早魃の時に至りては田に益ある事甚たしきを以て益田の池と號せられけるとなん、銘は釋空海靈集に見えたり云云

大和州益田池銘並序

東大寺沙門大僧都傳燈大法師遍照金剛文並書

若夫感星銀漢下灑之功深湖水天池上潤之德普故能引舜因之而鬱茂蟲卵賴之而長生至若八氣播殖五才陶冶北方行偏居其最坎之為德遠矣哉皇矣哉粵有益田池兩尊鼻子之州八鳥初導之國地是漢譜之舊宅號則村之故名去弘仁十三年仲冬之月前和州監察藤納言紀大守末等慮亢陽之可支歎膏腹之未開占斯勝處奏請之綸詔即應爰則令藤紀二公及圖律師等勦功未幾皇帝游駕汾襄藤公從之辭職紀守亦遷越前今上膺堯揖讓馭舜寶圖照玉燭乎二儀撫赤子於八島備伴平章事國道代檢國事並拔藤廣任刺史兩公檢校池事於焉青鳧引塊數千之馬日聚赤馬驅人百計之夫夜集既而車馬轟轟而電往男女碌碌而雷歸土冪冪而雪積堤倏忽而雲騰宛如雷神之挺植還疑洪爐之化產成也不日畢也不年造之人也辨之天也爾乃池之為狀也左龍寺右鳥陵大墓南聳畝傍北峙來眼精舍鎮其良武遮荒隴押其坤十餘大陵聯綿虎踞四面長阜逶迤龍臥雲蕩松嶺之上水激檜隈之下春繡映地觀者忘歸秋錦開林遊人不倦鴛鴦鳧鴨戲水奏歌玄鶴黃鸝遊汀爭舞龜鼈延頸鮪鯉掉尾淵獺祭魚林鳥反哺泊如積水含天疊山倒景深也似海廣也超淮笑

昆明之非儔晒擣達之猶少虎嘯鼓濤則驚汰沃漢龍吟決堤則容與不飽襄陵之罔象不得溢其塘燠山之女魃不能涸其底六郡蒙潤萬澗湯湯一人有慶兆民賴之舞之蹈之詠千箱以擊腹手之足之唱萬歲而忘力歎桑海之數變索銘詞乎余筆資道不才當仁固辭不能課虛吐章迺為銘曰

希夷象帝	一未萌	盤古不出	國常無生	元氣倏動	葦芽乍驚
八風煽鼓	五才縱橫	日月運轉	山河錯峙	千名森羅	萬物雜起
藤膚既隱	稷稯爰始	天池人池	灑露功似	前堯後禹	慮厚恤人
智略廣運	慈悲且仁	機事不測	成功若神	潤物如雨	榮人似春
綸徽雷震	有司創功	紀藤蘿草	杲績圓豐	伴相施計	原守在公
良才奇術	民具靡風	爰有一坎	其名益田	掘之人力	成也自天
車馬霧聚	女男雲連	歸來似子	畢功不年	深而且廣	鏡徹紺色
泥濘渺瀰	瞻望罔極	百溪之宗	萬派之職	魚鳥涵泳	虬龍斯匿
吠淪汎溢	留畚播殖	孳孳我執	穰穰我稽	如坻如京	足兵足食
井田我事	帝堯何力				

内裏名所

思ひのみ益田の池の水かくれしらぬあやめの根に亂れつゝ

〔葦根〕に

床そらく涙身をしる世世の雨はれず益田の池の水かさ

〔師兼十首〕に

名にしあふ池の玉もに澄月も秋や益田の光なるらん

長安寺瀧

高市村大字上長安寺の奥に在り、多武峯街道を登りて茂古杜に達し左すれば大字上の村落あり尙ほ二丁許進めは長安寺に至る瀧は其處より二丁許奥の溪間にあり、高三丈幅一間常には竹樋を以て水を落せり。峭壁に不動像を刻せり、故に又不動瀧と云ふ。寺傳空海の作と稱すれとも如何にや。古來早魃の時、は雨乞を爲し靈驗あれは鐵製の劍を不動尊に奉納すと。現に九口あり尙ほ瀧壺の沙中に埋れたるもの、在りと云へり。

男淵女淵

男淵は同村大字畑に在り、男淵は又トチガ淵と云ひ、高市村大字畑に在り、飛鳥川の上流にして、稻淵山の南に位し、高三間幅一間を有する瀑布の瀧壺な

り、深さ二間あり。古來雨乞に靈驗多しと傳ふ。里俗の口碑に淵底龍宮に通すと稱し頗る畏懼す。

女淵は同村大字栢森の上方溪間に在り、高二間幅一間を有する瀑布の瀧壺にして方二間あり、是れ又飛鳥川の上流なり。傳説等男淵に同じ。

〔日本書紀〕皇極天皇元年八月天皇幸南淵川上、跪拜四方、仰天而祈雨

〔玉林抄〕南淵山は橘寺より五十丁許にて瀧の名所なり

口碑によれば皇極天皇の行幸なりし所は瀧本神社の社頭に於て御拜ありしは主として兩瀑の水神なりきと云へり。

飛鳥井 飛鳥村飛鳥坐神社の前に在り、傳へ云ふ神武天皇即位元年當社へ行幸

の時此の井水を汲みて馬に飲ませ給へりと。

〔大和志〕飛鳥村飛鳥神社前有古歌

〔註秘抄〕大和國飛鳥川のあたり也

催馬樂詞に

飛鳥井に宿りはすへし、をけかけもよし、御水もよし、御秣もよし

榎葉井 榎井村井皆同し 飛鳥村大字豊浦字南垣内向原寺の巽方二十間はかりの處にあり、今は井の跡なく却て小さき瀧をなせり、榜して灌瀧と云ふ、善光寺如來を洗ひし所なりと傳へたり。

〔舊跡幽考〕榎葉井豊浦村の民屋のしりへにありてむかしの井はふのつからにうつもれ果てその名殘とてかすかの清水なかれたり俗に近衛の瀧といふ
惟ふに此處は古の所謂榎葉井にはあらざるへし、何となれば豊浦寺の金堂址より方位を取れば正しく東北に當れり、眞の榎井ならば西に在るべきなり、されは古の井は址を亡ひて唯名のみ留めるものなるへし。

抑豊浦の地古井多し、明治三十九年同四十一年の兩度に發見せしものは何れも徑五尺餘ありて古雅なる土器などを出せり、一は甘樫神社の東南約十間の所、一は古宮の西北約十五間の所にありき尙ほ傳ふる所によれば北垣内民屋の下に一箇存す眞の榎葉井は此の内何れかなるへし。

〔無名抄〕^鴨長著ある人云内卿有賢朝臣時の殿上人七八人相伴れて大和國かつらきの方へ遊にゆかれたることありけり、其時ある所に荒れたる堂のおほきに

やうくしきか見えければあやしくて其名をあふることにとひけれとも知れる人なかりけり、かゝるあひたにことのほかにびんひげしろきおきな一人見えけり、これしもやうあらんとて尋ねければ之れをとよらの寺とぞ申すと
いふ、人人いみしきことなりと返返感してさるにても若し此邊にえのは井といふ井やあるといふ、みなあせて水も待らねと跡は今に待るとて堂より西へいくほともなくさらぬほとに行てをしへければ人人興に入りてやかてそこにむれぬてかつらきといふ歌數十遍うたひて此おきな衣ともぬきてかつけたりければおほえぬ事にあひて悦畏て去りにけりとぞ、今は土御門内大臣家に月毎に影供せらるゝことの侍りし頃中略其會に古寺月といふ題によみたてまつりし

ふりにけるとよらの寺のえのは井に猶白玉をのこす月影

〔催馬樂〕かつらきの寺の前なるや豊浦寺の西なるや えのは井に白玉しつくや
白玉しつくや をしとんととしとんと しかしてはくにそさかえんやわい
へらそ昌ゆるや をしとんととしとんと

〔續日本紀寶龜元年童謡日〕

葛城寺の前なるや豊浦寺の西なるやオシトトトシトト櫻井に白壁しつくや好壁しつくやオシトトトシトトしかせは國を昌ゆはや吾家らを昌ゆるやオシトトトシトト

時井上内親王爲白壁皇子妃識者以爲井則内親王名蓋白壁天皇登極之徵也書

紀通證

此の童謡の舊曲は白壁しつくやと云へるを白壁白壁字音相等しきに依り續日本紀には詞章を改變せしならん。

而して何れにせよ榎葉井は豊浦寺の西方に在るへきこと明なり。

〔法王帝說裏書〕庚戌崇峻帝三年學問尼善信等自百濟還住櫻井寺今豊浦也

〔日本書紀〕推古紀二十年百濟人味摩之歸化日學于吳得伎樂儻則安置櫻井而集少年令習

〔日本書紀〕推古紀二十四年掖玖人歸化先後並三十人皆安置於朴井

〔夫木集〕に

かつらきや豊浦の寺の西にあるえのは井にこそ白玉しつく

井谷井 白樫村大字山本にあり大和志云在山本村亢旱不竭と即此。大谷氏所

藏畝傍山古圖を案するに畝火の周邊に八井あり白樫井花原井清水井うし井若井御陰井大谷井大井是なり。大谷井は井谷井の一名歟。神武帝の皇子に神八井耳命畝火山北陵に葬り奉れるあり蓋し此の八井に因めるならん。

遊部井一名蘇武井 今井町大字蘇武にあり方三尺五寸周圍石造にして曾布井と稱し清冽なる水を涌出す町民之を飲料となす。

古聖徳太子斑鳩の里より橋の上宮に御通行の際此の井水を以て御馬の口を洗はれしと云ひ傳ふ。明治十年二月十日 明治天皇行幸同二十三年四月二十三日昭憲皇太后行啓同二十四年十一月八日英照皇太后行啓の節に御饌用に供し奉れり。

〔天和志〕遊部井在今井村

安居井 舊跡幽考によれば橋寺より良にあり甘水にして之を飲むの諸疾を除くと云ふ。

方位より考ふれば現存安居院の境内にあるへし。或は庫裡の西北隅の井を以て之に擬するものあり。

橘寺井 橘寺の春井は聖徳太子の産湯井と傳ふ、今大字橘區長森井善治郎の宅地内にあり。古老の口碑によれば古は東に春井、南に千歳井、西に赤染井ありと云へり。千歳井赤染井の位置詳ならず。

藤原鎌足産湯井 飛鳥村大字小原大織冠鎌足宅址の西南三十三間誕生山の東南角に古來埋井ありて里俗産湯井と稱し鎌足誕生の時産湯水を汲みし井なりと傳へしに今は開墾せられて田圃となり其の址全く亡し。

古來此の井を以て藤原の御井に擬せし者あり、されと萬葉集長歌の意にあはず。

〔萬葉集〕に

八隅し、和期大王、高照る日の皇子、鹿妙の藤井ヶ原に大御門始賜ひて、道安の堤の上にあたりたし見し賜へは日本の青香具山は日のたての大御門に春山としみさびたてり、畝火の此みづ山は日緯の大御門にみづ山と山さびいまず耳なしの青菅山はそともの大御門によろしなべ神さびたてり、名々はし吉野

の山は影友の大御門ゆ雲居にそ遠くありける高知るや天の御蔭天知るや日御影の水こそは常にありなめ御井のま清水

蘇武橋 今井町より八木町に通ずる縣道畝傍街道中、飛鳥川に架せる橋梁にしてその長二十七尺幅二十四尺高一丈二尺あり。

橋名は古、聖徳太子斑鳩より橘の上宮への御道筋に當りし所にして御馬の足音水を渡るにそふそふと聞えしによりこの名を得たりとの傳説あり、蓋し遊部の語の省略より出てしものなり。

往時は細き土橋なりしか明治二十三年四月板橋に改め大正三年七月畝傍街道改修に當りて構造を鐵骨に改めたり。

豊年橋 阪合村大字平田同越の間にあり、高取川に架せる石橋にして長約三間幅五尺あり。

相傳ふ高取川大雨至る毎に水漲る、里人渡渉に艱む越の人服部宗賢資を投して石橋を架す。此の年五穀大に稔す、皆稱して豊年橋と名く、碑あり勅して云ふ。

ほうねん橋

寛政八年丙辰秋九月橋成

曾我大橋 眞菅村大字曾我、曾我川に架す、明治十五年板橋とす、その長百六十一尺幅十五尺高十二尺あり、往昔この橋なかりし時行人常に苦めり、寶曆中曾我の人中西清八の子道壽之を歎き自ら資を出して今の橋より上方約一間の所に板橋を架せり、然るに架柱低きかため大水出つる毎に人渡渉するを得ず、道壽即ち更に渡船を設け以て行人に便せり、其の板橋明治七年頃まで存せりといふ。道壽は明和七辰年十月二十日病を以て死す。里人毎年三月二十日業を休み永く其の徳を頌す。其の家代代天死多し、道壽の子槌松壽を保たんと欲し之を八幡宮に祈願す、後大阪に至り瓦町難波橋伊勢屋平兵衛を主として仕ふ平兵衛子なく槌松を養ふて家を嗣かしめ二代目平兵衛と稱す、曾、近鄰大火あり平兵衛其の銷金鎔貨を購ひ大に利を博し其の中若干を郷里に遣り田畑山林を購ひ其の収益を以て渡船保存料として船支配人を庄屋小八郎に囑託せり、初め清八弟あり三郎助といふ、道壽去る時纔に十一歳なりき。後數年分家して祀を存せり、子孫連綿として今日に至り現主中西清三郎と稱す。

橋畔に碑あり左の文字を勒す。

寛政八年記載の古文書あり

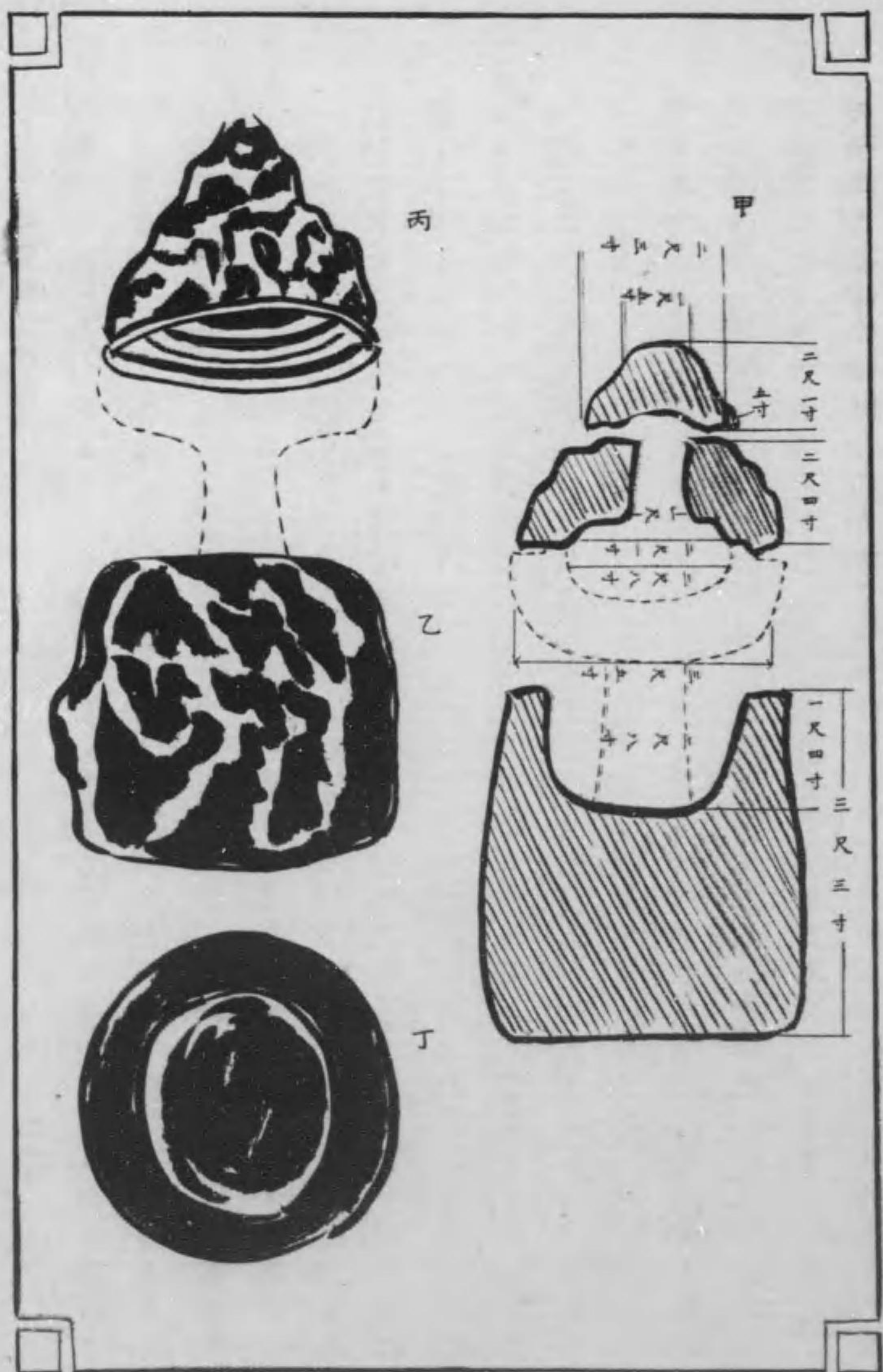
大水の節は往來の諸人格別難儀仕り候依之八幡宮氏子爲家内安全大阪伊勢屋平兵衛世話に而舟賃なしに涉し候舟一艘此船破損料に藪一箇所山林一箇所寄附仕、涉舟支配の者之三人中に田地二反附之

酒槽石 高市村大字岡字酒槽の林中にあり古昔飛鳥神社の神酒を沃溜せし器なりと傳ふ。高三尺五寸長一丈三尺七寸幅六尺ありて略橢圓形をなす平面に三箇の水溜を彫り七條の細溝を刻す。

〔菅笠日記〕岡の里にかへり三四丁はかりも北へはなれ行きて右の方の高きところへ一丁はかりのほりたる野中にあやしき大石あり長さ一丈二三尺よこはひろき所七尺はかりにて硯をおきたらんやうしていとたひらなる中の程にまろに長くゑりたる所あり五六寸はかりの深さにて底もたひらなり又そのかしらといふへきかたに同じさまにちひさくまろにゑりたる所三つある、中なるは中に大きにてはしなる二つは又ちいさし、さてそのかしらの方の中に

ありたる所より下さまへほそきみぞを三すちありたる中なるはかの廣くありたる所へたゞさまにつゞきて又石の下といふへき方のはし迄とほりはしなる二すぢはなゞめにさかりて石の左り右のはしへ通り又そのはしなるみぞにおのゞ枝ありて左り右にちひさくゑれる所へもかよはしたりかくて大かたの石のなりは四すみいづこもかどなくまるにてかしらのかたひろく下はやゞほそれりそもゞ此石いづれのよいかなるよしにてかくつくれるにかいと心得かたき物のさまなり里人はむかしの長者の酒ぶねといひつたへてこのわたりの畠の名をもやかてさかふねといふとかや此石むかしは猶大きなりしを高取の城きつきしをりにかたはらをはおほくかきとりもていにしとそ

飛鳥須彌山 飛鳥村大字飛鳥字石神の畦畔に巨石の一部露出せるあり明治三十六年六月之を發掘して石造の埋藏物を出せり重田定一高橋健自の二氏は當時實見測定し所謂飛鳥須彌山ならんかとせり今重田氏の實測狀況の一部を掲ぐ。
 (前略)此發掘品は花崗岩にて作られ一は臼形にして高さ三尺三寸周圍一丈四尺



乃至一丈五尺口徑三尺五寸深一尺四寸量八百貫あり假に之を甲號と名く、一は饅頭形にして高二尺四寸周圍一丈二尺乃至一丈四尺孔ありて上下に穿貫すその口徑下部に在りては二尺八寸上部に在りては三尺三寸量五百貫あり假に之を乙號と名く、一は榊實形にして高二尺一寸豎に缺損してその小半を逸したり下部に孔あり口徑二尺三寸深五寸量百貫あり假に之を丙號と名く、皆外面に山岳の彫刻あり此の彫刻は最も著しく乙號石に存す、試に乙號石の上に丙號石を重ねるに正しく相吻合す而して乙號石の下部に存する切口を検する時は更に他のこれに吻合すへき切口を有するものあるへきを知ると同時に甲號石の上部の他と關係なき穿法あることを知り得へし、或は乙號石を戴きて甲號石の窪中に直立すへき丁號石のありしには非ずや、そはともかくもその形狀の層層相構へて廟塔山岳の如くなるはよく書紀の文に合ひ且字石神の地たる法興寺一名元興寺の舊蹟なる安居院飛鳥大佛の北二丁半式内の大社たりし飛鳥神社の西北四丁餘にして甘樞丘の東飛鳥川の右岸に位し石神塚の南十五間にありて甘樞丘の東川上と云へる文にも合へるを見る、中略或人云く益田池碑の趺石も

亦この發掘品と石質を同うすと、よつて又考ふるに丙號石の殘餘と假設の丁號石とは或は夙に露出若しくは發掘せられて益田池碑石と共に高取築城の時に運ひ去られ或は否らずして尙深く地中に埋没することなきか云云

〔日本書紀〕齊明天皇紀秋七月丁亥朔辛丑作須彌山像於飛鳥寺西

同五年春正月己卯朔申午甘檮丘東之川上造須彌山、而饗陸奥與越蝦夷

同六年五月又阿部引田臣獻夷五十餘、又於石上池邊作須彌山高如廟塔、以饗肅

慎四十七人

飛鳥石人像 飛鳥須彌山發掘の後問もなく同所地續にて石人像を發掘せらる

今高橋健自氏の測定狀況を左に掲ぐ。

石人は高さ五尺八寸一分周圍の最太きところ六尺六寸五分あり一石に二面を有し一は形稍大にして袋の如き冠を戴き筒袖の上衣を著け腰に帶を結び靴をはき左手に何物かを支へて己か口部に當てたり、一は形稍小にして同しく筒袖の上衣を著け下部に裳らしきものを著け右の手にて己か左の上臂を抑へたり、兩者何れも滑稽なる面相を現し兩人の口より穿てる孔は一人の胸部前方にて

石人 左 前面





石人右前面

相會しその孔更に底面まで垂直に貫かれたり、これ等の遺物は古代のものなる
へきこと石人の服装に徴するも明確なり。

(詳細を知らんと欲せは明治三十六年十月二十日發行考古界第三編第五號を
見るへし)

益田の石船 白樫村大字見瀬南妙法寺との交界字石船山に在り、高二丈縦二丈
五尺八寸横一丈三尺二寸許の大石にして上に兩孔を鑿ち中一槽と爲す、孔の大各
東西五尺二寸南北五尺深四尺あり、里人之を益田池の碑の跣石なりと云へり、然れ
ども位置甚た南に偏し加ふるに用石甚た大なれば之に適當せる大碑を此の上に
建立するを得へき歟、是れ人力に於て疑なき能はず、或人曰く之れ祭天古俗の遺物
なるへしと夫れ或は然らん。

(天和名所圖會)暮行春のかたみには深山の花のまた散のこり岩つゝし咲亂るゝ
頃里人此岩船のうへにて風光を臨みなかき日のならひ海棠の花のねむれる
かりふし時鳥の初聲におとろきけるも一興とやいはん

(拙堂紀行文詩)前略左折渡獨木橋涉田間數丁、抵一岡石船在焉、岡下舊爲益田池、有

碑、僧空海撰見其性靈集碑築高取城時採去斃之、白河侯所緝集古十種載一雷字蓋就城基模搨者也、此石實爲其趺里人不識來由遂呼爲石船云、趺高可二丈碑之大可知矣、醫師○越村人騰躍而登焉、余○齋藤賈勇繼之、肅夫○同行子信○同行不能從、其上可坐數十人、步而數之、豎得十二武、橫其半而加八之一、石面有方鑿二徑三四尺左右相對、是蓋承碑處、石上高顯、望頗空豁、因問所謂三山者、醫師爲余指點、迤北最近者爲畝傍山、又其北稍遠者爲耳梨山、東北最遠者爲天香久山、皆小山耳、益田碑文所謂左龍寺、右鳥陵、大墓南聳、畝傍北峙者、皆可坐而按焉、余謂自太祖相土中營樞原宮、諸帝遷徙不出此間、當時壯觀可想、今荒邱曠郊、皆不可的知其處、且據碑文所云、笑昆明之非儔等語、池水之大、當如湖海、今也數里內、求一帶水而不得焉、況於所云春繡秋錦、玄鶴黃鸝之美觀者乎、又其所謂蒼海之變、於今日見之者、也可勝歎哉、同人亦皆愴然、(下略)

龜石 橘寺の西北約三丁なる高市村大字川原字龜石の田圃中にあり、花崗岩質片麻岩の自然石に前方僅に彫刻を施したるものにして高四尺長二間幅七尺あり、作者年代緣由詳ならず。

石現今西南面す然るに口碑傳ふる所によれば、もと東面せしか、人世澆季道德日に廢するを以て漸次旋轉して遂に現今の如くなれり、而して後世西向の時至らば坤輿滄海に變すへしと云へり。

第三編 碑銘褒狀

内藤景文略傳

高取町大字清水谷常照寺内藤家累代の墓地域内に在り、景文字は子武通稱は左膳自娛齋と號す。初め豊紹と稱し後景文と改む。高取侯の世臣なり。幼より漢籍を學ひ贊を菅茶山に執り詩文に長し瀧鶴臺片山北海等と交友たりき。寶曆九年目付役となり、父高豊隱居せし後家名を繼ぎ明和五年三月用人に擧げられ天明三年中老に進む、性快活にして虚飾を好まず、常に慷慨の志あり、嘗て吉野長峯に村上義光の碑を建て其の忠烈を表彰せしか如き平素の用意以て見るへし。天明八年十一月二十九日歿す、享年四十四。碑文は先生の傳に止らす、よく内藤氏の略系を知ることを得へし左の如し。

知命院内藤府君之墓

據譜、内藤氏之先丹波自出、有諱景定者、稱左近將監、屬北條氏、主相州津久井城、天文中卒、葬功雲寺、子景豐嗣、任大和守、有戰功、天正中卒、子景次嗣、稱左近大夫、娶參州萱

羽城主松平右衛門佐重則女本藤天和高取先世植村君夫人妹也十七年豐臣氏攻北條氏景次使家臣代守城躬從北條氏于小田原雖力能拒糧盡無援遂城陷主亡矣景次脫變名寄備中守阿部公大坂之役從公屬台德大君軍力戰助公父子大君有賜公為大坂城尹景次從焉正保中卒葬海寶寺子景信嗣慶安中卒次景春遂仕公於福山為大夫祿千五百石子孫襲為是宗家季曰豐展與仲同仕為中大夫祿八百石傳公曾孫正邦父子父定高公病公子幼乃與豐展謀託公族樂監焉父公薨某公代立猶且欲廢公子豐展爭之禁錮然諭守者達情實述公子焉豐展退號隨柳江守松平公留守飯山而藩治先生同姻故近客之後福山有徵而不果往正德中卒高取葬常照寺是為家祖子豐嗣藩尚優使祿三百石泰祥公公命妻豐弘公薨高性公立女公妹也以豐弘為大夫有子一為藩別封植村外記君所子養子東都一高豐公公命丸龜侯家臣岡氏之子為嗣曰豐古豐弘致仕元文中卒豐古亦延享中卒高豐嗣為大夫因病致仕子武君嗣而明和中家君卒云子武君諱景文始稱左善晚稱順藏母增野氏性純孝正直夙好學十一歲講論孟於高取人稱之猶揚震關西也等覺公時襲父祿到岸公時為中大夫至于今公四世居則有如或用我者歎所學三教及武若

詩歌各有師從尤好遠游安永元年弟為宗族所子養因為藩護從福山諭讀島焉三年邸名赴子東都路出淡海遊勢及秋葉久能二山覽鎌倉焉四年歸路弔津久井墟上功雲墓登富士山出身延山歷木曾棧道焉七年浴但馬溫泉所經攝播二丹因伯雲州焉四年再訪弟福山覽嚴島便道初見子於大坂知舊相識雖未盡西海道及東極京畿諸道足跡殆半於海內壯哉若芳野則地接於護每花期數遊之且自製村上義輝碑文立石山上蓋感其忠烈也獨奈一朝之疾以天明八年戊申十一月二十九日卒於家享年四十四葬常照寺先兆舉國惜焉娶石川氏生四男三女妾生二男長曰景美字子成嗣次日次賢次日質女適伊州宮川保武二女未嫁二男夭所著兵書名曰神武摘要及文集藏家云凡今列國赴武夫多不遜者君嘗顧予恭儉似不可為大夫者所謂孟公綽亞乎其信予於詩也人亦知之令嗣子成之請不可孤也銘曰
敬愛君親國可惜人韜略詩賦為寶寶多所跋涉見乎精神老母稱孝奈易其身孰難為後知己尙伸雖與骨朽永存貞珉

伊勢合離製文並書

孝子 景 美 謹 建

服部宗賢時壽碑銘

葛城服部翁墓碣銘

葛城翁諱時壽字子篤服部氏稱宗賢葛城其號和州高市郡越村人其先吳服西素借王仁自百濟來遂居焉慶長間高祖諱時春者能仇其宗爲郡望族曾祖諱時教始業醫祖諱時伊考諱時勝妣濱野氏翁自幼刻意家學稍長遊京師從畑柳安猶林由仙研窮內外二科又從小野蘭山旁攻物產頗有所得既歸遠近徵治戶外之屢恆滿矣寬政間高取侯擢爲侍醫賜秩百石時侯爲參政召翁來侍焉都下列侯摺紳亦聞其名相邀無虛日文政己卯侯遷疾劇翁庀湯液昕昏侍護甚勤遂得愈侯嘉之加賜秩三十石其明年正月十八日病殤壽六十有九臨殤清盥危坐集門人屬後事乃逝孤子時亮暨門人葬高輪臺如來寺先侯塋域之側從遺囑也翁爲人廉懿謙冲尙儉素家頗饒嗣其宗連及編配之窮者無斬色又豐年多糴凶歲輒賤出一鄉咸仰其澤焉高取川暴漲橋壞民病之翁捐貲架石梁是年大稔人稱爲豐年橋其仁厚齊物類如此翁性愛松少將前白川老侯嘗書龍髯二大字賜之因又以是爲別號所著有學聚方龍髯隨筆若干卷元配吉村氏繼室吉井氏米田氏森川氏生濃氏得男三人長卽時亮次時宜爲族人時進嗣

次時純女四人長適落合氏次適木村氏次爲尼季天及翁之歿時亮持狀來請銘曩予母罹疾延翁治之固宜報其德焉因不辭而敘之係以銘曰

其術足以起痼 其德足以庇鄉 天之所社既豐 且榮瀕海之邱 松樾蒼蒼 嗚呼 是乎惟龍髯翁之塋邪

文政七年龍集甲申春二月林號爲文

門生 河肥醫員 堤以德謹書

高取醫官 服部時亮泣血拜立

服部養純碑銘

君諱孝本字養純號一貫堂姓服部氏世貫大和高市郡越村考正監翁諱時勝妣濱野氏君家三世業醫至君與兄宗賢翁戮力恢光舊業又遊京師就和田東郭翁質焉既而宗賢遊仕高取藩而君爲守墳墓爲人淳朴好學不修邊幅嗜飲雖醉無惰容又善騎其於醫治不問晝夜不論寒暑蓬頭敝衣乘羸駕馳驅救急賴以免夭扎者不可勝數其處心至老無衰暇日輒勸課農務三十年如一日文化戊寅三月二十一日病終距生實曆癸未享年五十有六葬于郡之平田村一心寺先塋之側娶松井氏生五男二女先歿又

娶其嫡生一男二女。嫡孝里良純、善繼家聲、爲高取醫員。君之遊京也、吾先君靜齋下帷講學、君嘗來寓讀書。宗賢翁亦與余交善、以故良純因翁致書、以遺囑、請銘其墓。翁又爲懇請弗措、而余之無文、二君所稔知、且多事卒、卒諾而未果。今茲宗賢翁亦罹病易簀、嗚乎天不慙遺二老人、失其所依、賴哀哉。余念舊誼、寧忍拒之、且可入舍不就乎。於是勉強固陋、鉸其梗槩、係以銘。銘曰

讚彫祖業 昆季合德 兩家孫子 斯儀式

時 文政三年歲在庚辰春三月平安連謹撰

山陽 賴 襄 書

孤子 孝里 立

服部宗賢時亮略傳

服部宗賢は阪合村大字越の人。高取藩の醫官たり、名は時壽字は子篤。宗賢は其の號にして白河樂翁公の賜ひし所なりと云ふ。資性廉直にして篤厚、父母に孝なり。十五歳にして笈を負ひて京師に出て、困苦勉勵十八歳にして既に醫術の蘊奥を究めて歸れり。遠近來りて治を乞ふもの門に滿ち、家頗る富む。宗賢常に質素儉約人

を恤むを以て樂となせり。嘗て高取川に石橋を架して行人に便にす。此年五穀大に稔り人呼ひて豐年橋と云へり。寛政四年冬十月より醫を以て高取侯に仕へ老練懇篤爲めに列侯士大夫治を乞ふもの常に門に集り令聲愈高し。文政三年正月十八日病を以て逝く。之を聞くもの哀惜せざるものなかりき。享年六十九。始め東都高輪歸命山如來寺に葬りしも廢藩の時更に故山菩提所に改葬せりと云ふ。石碑阪合村大字越稱念寺域内に在り。

義勝院宗賢時亮居士之墓

鶴棲服部先生碑銘 高取柳田彌撰文

先生服部氏、諱時亮、字伯功、鶴棲其號、俗稱宗侃。後恭君命、襄稱宗賢。世家高取縣越村。考葛城先生、高取侯侍醫、妣吉村氏。先生初從父受業、年十八從備後菅茶山學。儒、既而遊京師、從荻野櫛林、香川三氏傳內外二科及產科。三十一扈父如江戶、尋列侍醫。別賜食俸、父殤、襲祿百三十石。先生爲人溫厚、寡欲、雖妻子奴僕、未嘗見其憤慍不滿之色也。事繼母生濃氏、以孝謹聞。素嗜學、博覽群書、歷涉古今。每役江戶、輒就諸名宿而正焉。於針灸本草脈訣等書、莫不精通。古所謂三世之醫、先生有焉。然平生不以學矜人、恂恂

如目不識丁者世或疑其空素久之乃服蓋其家風云病家無貧富請之輒往雖深夜暴風雨不辭也其診脉問狀必反覆詳審察其強弱視其緩急然後乃敢立方故投藥輒驗罕有敗事是以遠近痾客陸續藥集而狹策執業者亦填塾焉可謂善於繼述不墜家聲者矣先生生安永戊戌六月四日薨天保癸巳二月十六日享年五十有六臨終以次子時升爲嗣諄諄誨以奉上承先之義言畢遂逝越四日葬于縣平田村一心原小宗塋域之側所著有學聚方續編鶴棲割記百餘卷藏于家元娶竹原氏生一女而亡繼娶磯氏舉三男三女長時定有故不嗣次時升季時敏長女適米田廣純次蕩次未字時升學於予今茲將立碑來索予詞辭以不文而請益力因之述所聞併爲之銘銘曰

德兮溫厚 技兮純粹 其技其德 兼有不匱

天保十稔龍次己亥春二月

不肖孤時升 泣拜謹書竝立

節婦林氏略傳

高取町大字清水谷靈鷲寺より西北一丁許りを隔つる小字大墓なる共同墓地に節婦小銀の墓碑あり碑は高五尺幅三尺の板狀をなす此の一小碑よく節操確固身

を終ふるまで終始一貫婦道を守りて替らざる日本婦人の典型を千載に傳ふるを思へは誰か無限の感なからん。世道人心日に衰へ輕佻風を成し浮薄俗を造るの今日節婦小銀の如きは眞に世を救ふの清涼劑ならん歟。彼れは高市郡清水谷村今高取町大字清水谷也松本權介の妻嫁して後一歳餘にして夫を喪ふ家道素より豊ならず且子なかりしかは彼にして世の尋常女なりしならは更に他家に嫁きたりしも志操純潔なる彼は紡絲を努めて寂しき生計を立てなから亡夫の冥福を祈ること四十餘年嘉永二年四月二十六日を以て天壽を全うせり。里人其の節操に感し各資を出して之を村西靈鷲ヶ原に葬れり。後樹つる處の旛竿根を生し芽を出し遂に一群の竹林をなせり時人之を以て奇異となし益小銀の德行に感せりと云ふ今左に碑文を掲ぐ。

節婦林氏之碑銘

節婦林氏既亡之五年余方友範公庵公相謀欲誌其墓囑銘於余其言曰節婦名小銀高市郡清水谷村松本權介之妻而葛上郡林邨林藤内之女爲人端肅貞靜婦道太備甫歸間歲而寡無子紡績自給艱苦四十餘年終始如一鄉人無不欽其賢而哀其遇焉

年七十二、以嘉永丁酉四月二十六日歿、葬諸村西靈鷲原、鄉俗例既葬、植其前導之紙、旛於墓上、而小銀之旛竿、踰月抽筭漸蕃、滋未數歲、殆成小篋矣、鄉里駭異、遠近往觀、咸謂天降之祥、以表於世也、蓋人無若德、而有若異、則異而不得為祥、有若德、而有若異、則祥而不謂之異、今斯婦之墓、而有焉、謂之為祥、固當矣、宜哉、二公欲傳之不朽也、乃之銘曰

銀之操行爲鄉標式 天降之祥枯竿翻綠

猗猗其姿洵象其德 欲誠茲婦盍視茲竹

高取 柳 田 彌撰文

三瓶甕書並篆額

谷三山略傳

失明の大儒は彼に左丘明あり我に塙檢校あり然れとも未だ嘗て聾且盲なるも猶ほ能く博覽強記憶として一家を成し學術純粹風教を維持すること三山谷先生の如き者あるを聞かず。

先生諱は操字は子正一に字は存誠幼名は市三後新助と稱し晩に昌平と改む三

山は其の號にして繹齋及淡庵の別號あり讀書の處を相在室と云ひ家塾を興讓館と云ふ享和二年を以て大和八木驛の一商家に生る十一歳眼及耳を患ふ已にして眼癒えたれとも耳は遂に聽官を失ひければ獨り稗史を讀みて自ら娛めり一日家人の爲に小説の物語を爲しけるに側に在りし兄厚亭筆を採つて市三も亦子虛を信するこそ可笑しけれと書き示せり先生此の一語に激せられて深く自ら心に愧ち猛然として發憤する所あり是より志を立て正史に向ひ群經百子に及び専ら一部の字書により一室に靜坐すること十餘年獨修の功遂に鉅學を爲せりといふ二十八歳兄厚亭と相携へて京都に遊ひ諸儒を歴訪して益を得へき者を求めけるに概ね皆文雅風流を以て相高ふり詩文の銜飾に汲汲として經術に邃く借に談するに足る者尠なし最後に猪飼敬所を訪ふ敬所時に齡六旬を踰え學識超邁自ら海内第一と許せり然も先生と相見ゆるや其の博覽強記に驚き嘗て人に謂て曰く子正は學博くして雜ならず粹にして而して正し諸を西土に求むれば夫れ宋の王伯厚の流亞かと濫りに人に許さゝる敬所をして此の言を爲さしむ頼山陽も亦深く先生の博識に服し其の歿するに臨み特に其の子支峯に遺言して自ら布字せる句鑄

萬古の游印を贈らしめしことあり其の先輩の爲に推重せられしこと想ふべきなり。

先生聞達を求めざるも名聲隆隆として起り無耳山下の耳なき人は隠然として一敵國の重きを爲すに至れり彼の氣節文章を以て一世を動かし殆んと人を人も思はざりし森田節齋も亦屢來りて事毎に指教を乞うて尊敬措かず又彼の長州の吉田松蔭も數回先生を訪ひ痛く其の博識に服して後其の後輩の東行する者あれば必ず大和に三山を訪へ訪へは必ず何等か益する所あらんと推奨したりき其の餘郷黨子弟の欽仰知るべきなり。

領主植村侯其の篤學を賞し年四十八の嘉永二年永代三人扶持を賜り名字帶刀を許して士籍に列せらる。先生因て時務を論して屢直言を上り殊に幕末尊攘の大議に於て凜然として至誠を表せり年五十八九舊痾再ひ發し明を喪つてまた卷を執る能はず而も仍講説を廢せず常に門人をして講する所を掌上に指書せしめ之を講説すること宛も書卷に臨むか如く注家の同異得失を論難駁正して諄諄倦まず専ら後進の誘掖を以て樂と爲し大患の其の身に在るを知らざるものゝ如し

慶應三年十二月十一日を以て歿す享年六十有六。

三山人と爲り内文明にして外柔順溫乎として冬日の親しむべきか如く然も義理に關する所に至りては則ち毫も忽にせず其の門人を導くや從容として言談の間にも人をして感興止まざらしむ是を以て其の教化肅ならざるも成り嚴ならざるも治まり從學の徒各其の性に從つて成す所有り先生資質軟弱且家居すと雖も時を傷み世を憂ふる心は老いて益切なり宜なり門下勤王の士を出すことの多き哉遺稿數十卷未だ釐正を経ず蓋し著書注經の準備として講餘抄録しけむに惜むへし明を失ふに至りて筆を擱きたり甚た憾むべき也。因りて高市郡教育會に於て先生の遺徳を表彰せんか爲め頌徳碑を建て遺稿を編し以て弘く世に頌たんと欲す。而して目下其の事業進捗中に屬す。

三山谷先生墓誌銘

先生諱操字子正、一字存誠、通稱新助、後改昌平、三山其號也、又號繹齋、號淡庵、號相在室、其先藤原氏支庶、邑于和之櫻井、爲櫻井氏、櫻井氏亡、子孫居邑南者、以谷氏焉、大父諱某、號觀光君、徙往八木驛、爲人慷慨有氣節、父諱重之、號樂軒君、爲人寬厚有德量、娶

櫻村氏生二子長重緝號厚亭君性好文雅頗有藻志少即先生是先生幼穎悟年甫韶
齡便好讀稗史史中遇關忠孝節義者輒舉以語人其言津津使聽者樂云年十一患眼
及耳已而眼愈耳漸癢數年後鐘鼓奏前面貌如也獨得讀稗史以自娛一日爲家人語
其所讀厚亭君偶在側戲援筆書示云可笑市三信子虛市三者其小字也先生於是竊
自愧乃史漢爲始取正史讀之時耳聾無因師承獨賴一部字書書中紛錯難解者往往
迎刃而謀斷殆如有神既通諸史遂及群經百子無不淹貫坐不離一室者十餘年鬱爲
巨學矣年二十八厚亭君欲爲廣麗澤之益誘借遊京師周探諸儒而所詣諸儒無足與
談者最後得豬飼敬所翁翁時齡踰六旬學識超邁目曠二世獨見先生驚其該博遂訂
道義之交爾後郵筒往復殆無虛月矣時先生名聲日隆海內操觚之士聞先生之風者
無不景仰而歎異之領主植村侯賞其篤學賜以月俸若干先生慚素餐數辭而不獲命
也年四十八九舊痼再發遂喪明不能復執卷仍不廢講說常使門人指書所講於掌上
乃臨講恰如對書至注家同異得失論難駁正諄諄不倦專以誘掖後進爲樂如不知大
患在其身者也丁卯十二月初六始獲疾仍臨講如常翌七日疾漸篤十一日已牌遂易
簣享年六十有六越三日葬驛南出垣內先塋先生爲人內文明而外柔順溫乎如冬日

可親而至義理所關則不忽毫芒其導門人從容言談之間使人感興不止是以其教不
肅而成不嚴而治從學之徒各從其性而有所成焉先生雖病且家居傷時憂世之心老
而益切嘗云一念及時事使氣如虹蓋先生晚年方德川霸府季世先生所憂即可知也
乃憂患之餘畫皇國維持之策實錄以上天朝及霸府者不一再終不見聽用易曰
井渫不食爲我心恻其謂之歟至如先生學殖則非一時淺人所能測焉曩豬飼翁嘗語
人云子正學博而不雜粹而正矣求諸西土其宋王伯厚之流亞歟時先生年未至強仕
而翁言如斯即晚節所至其何如也遺稿數十卷未經釐正蓋先生平日講餘所得隨而
筆之以備他日採用將有所大著作而眼疾爲厄不得潰其志可憾之甚先生以資質軟
弱終身不娶無子女厚亭君先生生歿十五年諸姪尙少矣先生代而撫之訓恤備至諸
姪親先生猶所生服成之日命工刻肖像龕諸相在室朝夕奉之如在亦見先生之德之
孚於家銘曰

畝丘迤北 無耳山旁 爰有遺寶 可獻我王 其實維何 生民之英
少小志學 老而益強 溫溫其德 如圭如璋 今也亡矣 我爲道傷
畝丘迤北 無耳山旁 貞砥可鑒 夫子之塋

明治六年癸酉三月

附門人前部重厚

門人	森	恆
	上	同撰
	田	
前部	憑	書

前部重厚は高市郡小房前部猪左衛門の二男、諱は愿、通稱吉次郎、横塘と號し、晩に棕廬と改む、幼にして學を嗜み、殊に臨池に巧なり、三山夙に其出藍の才あるを見、兄の子を以て之に妻はす。後出て、大阪に遊ひ、篠崎小竹の門に入り、學益進む、慶應の初、芝村藩儒となり、維新の後、大阪府會議員、八木町長、豊山中學林教授等の公職を奉し、傍ら私宅に子弟を集めて育英に従事すること殆ど四十年、門下一千餘名に達すと云ふ、明治四十一年三月病て歿す、享年八十有一、小房觀音院後、先塋の次に葬る。

森竹亭略傳

森鐵之助名は繩字は竹亭、高市郡越智岡村大字田井庄の人、幼より學を好み、儒を以て家を立てんとせしに、父母嚴に之を拒みしかは、十七八歳の時遂に意を決し、大阪篠崎小竹の門に入り、又歸りて谷三山に就き講筵に侍すること二十餘年なりき。

三山俊才を藩主に推舉して曰く、古書を研究して字義訓詁に明かなること、他國には知らず、京阪に敵手なからむと存候、文章は森田謙藏の俊逸に及はず候へとも、又精密は之に勝る所ありと慶應の始め、河内狹山侯に仕へ、優遇上班に列せり、明治六年七月六十一歳を以て歿せり、墓碑同村如來寺塋域に在り。

竹亭森鐵之助碑

東面 竹亭森君之墓

南面 君諱繩字子具稱鐵之助號竹亭森氏

大和田井莊村人、業儒、慶應元年九月應聘於狹山藩爲儒官、維新之後爲堺縣立學校教頭、無幾而辭職、老於大阪、明治六年七月三十日病歿、享年六十一歳

西面

辭世

無我前不悲無我 有我後不愛有我 忽然出玄還入玄 一任造物工弄我

明治二十二年十月有二月建

男

始審裁判所判事

從七位 森 權 六

森鐵之助室周子之碑——同所竝立

東正面 森周子之墓

南 面 男從六位勳六等森權六建之

北 面 舊狹山藩士森鐵之助妻

明治四十年三月三日卒 享年九十二年

花井信近略傳

花井信近は高市村大字岡の人なり享和元年七月五日を以て生る家世世豪農たり。若きより讀書を好み國史に通ず最も陵墓に精し時徳川幕府の季世に際し王道未だ回らずして歴代帝陵荒廢せるを慨し艱難を排して之を檢索し大に得る所あり人目して陵狂と呼ぶも顧みざるなり後舉けられて欽明文武二帝陵の守戸陵丁となること年あり。明治九年二月二日病を以て歿す。碑大字岡常谷寺にあり高取藩士下河邊昌俊之か銘を作る頗る詳細能く信近の一生を盡したりと稱すへ

きなり。左に之を掲ぐ。

花井棟軒碑

翁諱信近字仁卿通稱壽號棟軒本州高市郡岡村花井信連長男也家世爲豪農翁爲人恬澹寡欲好讀國乘最詳陵墓嘗語子弟曰鎌倉氏以來王道衰微歷代帝陵湮沒荒廢豈不國家一代缺典乎余雖微賤欲微之古史索之實地以報國恩之萬一也於是乎拮据徘徊或巡畦畔或披荆棘未嘗避風雨寒暑土人目以陵狂亦不顧也當王政復古政府首修帝陵數派遣官吏於本州皆召翁有所諮詢元治元年八月拜 欽明帝陵守戸慶應二年十二月轉拜 文武帝陵守戸明治七年十一月復拜 欽明帝陵丁或語翁曰子平素從事陵墓有年矣而今不拜陵掌而拜陵丁必當不滿意矣翁笑曰掌丁各異職務吾學識淺劣何不滿之有其淡泊無求于世天抵如此翁以享和元年七月五日生以明治九年二月二日病歿葬於日照山常谷寺享年七十有五法諡曰寶池院蓮譽功重壽德居士翁娶九里氏生二男一女長男信求嗣次男信俊先歿女適大邨氏頃者信求持翁行狀來泣曰君與先人有舊今作墓誌舍君而誰余雖不文誼不可辭乃摘錄其行狀以作誌銘曰

日照之山 屹在東阜 西對二陵 維君所守 一片貞砥 勒名不朽
明治十三年四月 下河邊昌俊士德撰

長男花井信求建之

上田淇亭墓碣

君諱忱字伯樂稱小成上田氏淇亭其號也大和山邊郡備前村人考諱惟信妣吉村氏家世業農爲邑著姓君以其長子夙從事於農及志學入三山谷先生之門先乞句讀先生命甄生授大學句讀君時弱冠狀貌壯偉大髻野裝怡然受讀觀者皆私笑之君恬而不顧蓋先生試其耐忍也未幾而聰明頓開聞見日博癡之笑者反受其教先生亦期其有所造詣焉然以其諸弟之幼弱幹蠱無人不得專志於讀書而父母親戚交勸納妻君雖隱忍從命固非其志也是以日鬱鬱無聊動輒懼微恙家人深憂之遂議以次男義雄承家聽遂其志君欣然僦居於師家之側日夜孜孜殆至忘寢食居有年焉博涉群書識見愈卓先生憇慰之下帷於浪華時安政四年三月某日也方世態變遷人人稍知文學之不可以已也諸藩競聘學士慶應元年八月某日始釋褐於高取爲藩教授列下士賜秩七口遂進陞上士增祿卅石明治九年十二月十六日病歿葬於高市郡土佐町光明

寺之壑內享年六十有三君初娶吉村氏未幾而離婚後娶青山氏生一女又有故出之最後娶豐島氏女適上村氏君無男以義雄次男登茂治爲嗣遺託金祿千有餘圓於義雄以其子金養豐島氏且充登茂治學資君爲人忠厚端直外朴而內敏接人灑落不修邊幅學不貪博洽而尙研精凡經史子集至諸家雜著一一商榷討究必盡錙銖而乃止其在師塾先生出豬飼敬所翁所著三書管窮考訂之君隨見加辯駁先生一覽歎曰當時敬翁學識超絕世人視如泰斗於其著書誰能容喙於其中今生辨析一一中窺惜不得起翁於九原見之先生於翁友誼篤摯故云爾後受吉村柳亭翁之囑訂常藩史其匡謬摘疵鑿鑿有據先生深嘉其精覈命公二世未及脫稿而歿君在高取藩雖不參與政事創建學校誘導子弟諄諄不倦圖藩矜式數年之間靡然嚮學薰陶之效實不淺鮮也頃者義雄來泣曰淇亭之行實非兄等誰能悉之況淇亭臨終委託之於兄等乎余等固淺學雖不敢當友誼特深不得固辭因相與謀而敘君平生如此銘曰

終始不怠厥志之貞 單研討究不泛而精
仕爲教職善誘後生 立身行道君其有成

明治二十四年十月

劣友下河邊俊同撰
前部 愿

上田義雄 建

鈴木亮慧略傳

鈴木亮慧は大和宇陀郡松山町森野平六の子なり。年甫めて六歳同郷淨嚴寺の法弟となり、後高市郡北八木明教寺に養はる。長して博學多識殊に因明學に精し。其の説く所正確其の論劃切聽くもの皆感服敬仰せざるなし。明治二十年八月二十日歿す。享年七十歳。左に碑文を掲ぐ。

亮慧碑勸學

師諱亮慧鈴木氏、本姓森野、大和宇陀郡松山人也。父曰平六爲同郷淨嚴寺法嚴所養。後爲八木町明教寺主鈴木氏義子、繼爲其住職、師幼穎敏、法嚴自節衣食、給學資、使師專研習內典、爾後手不釋卷、夜不殆寐、同學皆畏服焉。及壯遂成博識名、明治五年官設教部省、師在大教院論辯佛教之所以益世道、其說正確、聞者皆感服焉。及開教于鹿兒島縣也、華園前管長使師監督、無幾復命管長、乃賜教義委託、僕固辭不受、以弭諸子謗。師常謂佛者須有佛權、而不可有王權也、遂辭教導職、專力教化、又力疾講經論、先歿數日爲永訣法話、殆不與平日異、二十年八月二十日歿、年七十、華園現管長追賜專精號。

及勸學位蓋特典也、頃日嗣子與有志謀、將建碑以表師之德、寄狀請銘、乃銘曰

辨析疵醇 大道永伸 專精碩人 爲法忘身

明治二十九年六月

文學博士南條文雄撰

榴堂東南家賢書

梁瀨我聞略傳

梁瀨我聞は越智岡村大字兵庫教恩寺の住職なり、少より學に志し、終に儒佛二道の蘊奥を究む、中年私塾兵庫教校を開きて、子弟を薰陶す、就きて學ぶもの千を越ゆ、教員あり神職あり僧侶あり、其の教風個性に應ず、而して群中頗る英材を出す、法學博士山田三郎工學博士吉川龜治郎の如き、即ち是なり。晚年徵されて本派本願寺大學林の教授となり、令聲大に揚り、頗る重きを爲す、後五條(字智)に老し、尙ほ且つ斯道の爲に竭す、明治三十四年十月五日病を以て寂す。宗主贈るに勸學を以てす、後門弟子等相謀りて碑を教恩寺外一丁南方の郊外に建てたり。

先生佛教大學林に職を奉する前後十年、足一度も權勢の門を過らず、其の時事を論するや、諤諤として忌憚する所なし、故に常に上の諱む所下の憚る所となると雖

も少しも意に介せず、毀譽聞を知らざる如し。在職中毎年教師檢定試問者となる事に當りて嚴肅寸毫も假さず某年某大寺の息試問せられ不合格となる、當路之を救はんとして哀を求む。先生曰く彼合格すべくんは他の不合格者亦悉く然せんのみ若し否らすは斷して應すへからすと、更に顧みず。是より人陰に先生を呼びて鬼判官と云へりと。

先生少より頗る篤學にして其の研究に累をなさんことを恐れて終に娶らず、家居常に手に書卷を離さず人來らは筆を執りて習字し人去れば讀むこと故の如し林門に在るの日生徒語をなして曰く、熱田羅漢に我聞婆羅門と、是れ先生の克己淨行婆羅門に類するを以てなり、蓋し婆羅門は梵語にして淨行なる譯意を有せり。

往年青年某先生の寓を訪ひ談偶、信仰の事に及び辯論風發言議縱橫頗る得意の色あり、先生一喝して曰く、己れの書きたる手本を習ふか如き信仰は偽なりと某茫然たり。先生性頗る謹器なるも時に諸誼人の頤を解かしむることあり、日清戰役の當時林門職員相會して戰捷祝賀の筵を洛東の酒樓に開く、席上談連りに牛莊役の事に及ぶ、酌婦突然問ふ牛莊は男女何れの名なりやと先生言下に應して曰くネ

イチヤンならば女子ならんも其のニイチヤンと云へるより見れば男子ならんかと、一座哄笑す。又嘗て郷里にあるの日一村吏先生を家塾に訪ひ閑談數刻、吏偶語して曰く先生常に芳茗を嗜み頗る修るありと聞けり然るに今共に啜る所のものは何ぞ夫れ粗なるやと。先生故らに案語して曰く、君再ひ言ふこと勿れ凡そ饗茶の精粗は之を喫する者の人格如何に由ること多しとなす、君今予の薦むる所を以て粗なりと云は、世或は君を評すること有らんを恐ると。吏啞然として去れりとを碑文左の如し

如是院之碑

公名我聞、姓梁瀨氏、奈良縣高市郡越智岡村教恩寺前住存公嫡男、天保十一年五月十三日誕于其寺、幼從森竹亭留儒典弱冠就某師學、俱舍論頗有深詣、又就南溪勸學、攻究宗來、明治七年歸郷開塾、教授子弟十七年、更設兵庫教校、益竭心乎育英、二十一年擢任大學林教授、二十五年辭職、無幾爲眞利教校副監、二十六年再任大學林教授、三十二年又辭之、結廬于五條町寶滿寺側、而隱栖焉、翌年陞司教、安居奉命、副講因明入正理論、又爲特選會衆、參列宗議、三十四年六月應學侶講、開俱舍論、請筵于其廬、九

月十日力病畢講既而就寤十月五日溘然逝享年六十有二宗王賜諡曰如是院公爲人謹嚴剛直接人豁達不設城郭其講書說法言簡而意達時交諸諸使人不倦然常遇子弟提撕有序寬嚴得宜故曾教授學林也前後十年生徒皆敬而畏始終如一日臨辭職而去無不惜之者頃日門人相謀爲公樹碑乞余銘之余曾辱交有年誼不可辭也乃作銘曰

聰明一論 造詣孤深 講敷十載 響振叢林

明治三十七年十一月

門人東京帝國大學教授法學博士 山田三郎謹書並篆額

大阪 太田傳吉刻

藤井紫泉略傳

藤井紫泉は高市郡越智岡村大字田井莊の人なり高取侯に仕へて累世醫を業とす弱冠より諸名儒に就きて學ひ頗る造詣深く郷里に塾を開きて以て家をなせり卒する時七十七歳碑船倉村大字市尾如來寺域内にあり左の如し。

紫泉先生頌德碑

金剛山東葛城川瀝朝傳啾唔之音夕送吟誦之聲四十餘年今尙不絕者是爲紫泉藤井先生學塾先生名敏行字君訥稱十平舊高取藩士也家世世業醫先生幼穎異好學至忘寢食初受業藩儒柳田誠齋年甫十八執贄於篠崎小竹後從從谷三山遊先生之在大阪也時方外舶出沒天下騷然先生與列藩志士往來京攝間將有所爲然不得廢世業而從事焉遂歸下帷於其鄉田井莊集徒教授門人日益進常慕溫公遺風以至誠導人又致究陵墓誌勤王之志不少懈矣明治癸卯齡七十有七嬰鏢如壯者嗚呼金剛之山以忠烈其名愈高葛城之水以史蹟其流益清而先生齒德與斯山斯水可以傳於後也門人欽仰不能措乃勒於石以表之頌曰

巍巍剛山 浩浩葛水 於戲先生 朝瞻夕視 箕裘維紹 善命附技

蹇蹇匪躬 曾期國士 顯理彰沒 蓋忠終始 講道卅年 滿門桃李

齡踰古稀 俗呼爲喜 厥壽厥德 水長山美

明治三十六年八月十五日

門人建之

正面(南)

紫泉藤井君之墓

第三編 碑銘墓狀

側面(西)

觀蓮院壽譽量念禪定尼

明治五年五月二十八日歿行年二十九

十平妻 俗名貞技

側面(東)

俗名 十平

明治三十六年九月十五日歿享年七十七

銚立清九郎略傳

佛教信者として有名なる清九郎は元吉野郡銚立村(現今大字村)の人なり。無學文盲にして我が笠にほこたてせいくらうと人の假名にて書き呉れたるをさへ讀むことを得ざりき。然るに孝心至つて深くしてよく一人の母に事へたり。家素より貧なりしかは壯年の頃下市附近の家に奉公して其の料を母に送れり。母もまた茶摘・綿繰などの手業をなして人に雇はれ行きしか清九郎は奉公人の身なれば終日主家の家業を勤め、夕方歸りて人人の夕食の仕度する間を主人に請ひて急

き我が家に馳せ歸り、母の安否を訪ひ水を汲み藪を割り母の朝夕の勞を助けて、又急き主家に歸り冷え果てし食物を歡はしげに食するを常とせり。

其の後其奉公をやめ家に在りて毎日山に入り樵夫の業をなせしに、二三羽の鶯常に來りて側に棲めり。清九郎心に異み居たりしに偶、飯貝村(現今吉野村)本善寺に於て寶物の展覽あり清九郎も亦之を觀覽せり。然るに其の中に蓮如上人の鶯籠あり。就きて問ふに鶯は法を聞くと啼くを以て上人臥床にありて深く之を愛翫し給へりと云へり。清九郎心に思ふにさては波の鶯か我に法を聞くと促せるならんと。

是より遂に佛道に入れり。年三十三の時妻に別れていたく悲みしか、又大に悟る所ありて益佛道に志せり。其の後一人の娘に久六といふ婿を迎へ、己は高市郡丹生谷村(現今船倉村)に隱棲して藁葺の小屋に筵二三枚を布き釜一、茶碗二三箇の外別に什器を具へざる程の極めて質朴なる生活をなせり。或る時母に京參を勸めしに、母曰ふに身老いて歩行すること能はずと、清九郎いふやう御身を駕籠に乗せて一人備ひ我と二人にて昇き行かんはいと易けれと、我等風情に似合しから

ねは止むを得ず窮屈なるへけれと我負ひ行かんと強ひて勸め二十里ある行程を母を脊負ひて往還せりといふ。

又ある時母の枕を天井に吊し置けるを人の之を見て怪み問ひければ、若し間かりにて親の枕を足蹴にかけなは道にそむき、且つは眼に入る毎に親の恩を思はんか爲めなりと云へり。

斯く孝心深かりしかは、其の事領主植村出羽守に聞え褒美として米五俵を賜ひしに、清九郎いふやう子の親に事ふるは人道の常にして珍しきことにあらず、且つ我は日日薪を鬻きて安く世渡りをなせは、御米など頂くへきやうなしとて之を辭しけるに、高取侯ますく感して再び清九郎を召出し、鳥目十貫文を賜ひ且つ領内の山山何處にても汝の心に随ひ薪柴を刈り取るへしと許されたりければ、清九郎は大に喜ひて家に歸り、つくつく思ふやう領主より賜ひし金を我等如き者の安に使用するは勿體なしとて、残らず之を京都なる本山に獻しけり。農業の暇ある時は出て、柴を鬻きしに、人其の直段高しといへば云ふまゝに價を下けて賣りけり。されは後には何人も清九郎の柴に價を附くるもの無きに至れり。

清九郎は毎年五七度つゝ本山へ参りけるに、常に柴を擔ひ之を献上せり。其の木はよく洗ひ乾して途中にても不淨なる處には置かさりけり。斯くて屢の事なりければ本山に於ても其の至誠に感し、清九郎の捧けし柴にて佛飯を炊かしめけるとなん。

清九郎の養子久六は素博奕を好み喧嘩口論となす悪人なりし故、清九郎の氣に入るまじと人人痛く憂ひしに、清九郎の徳自ら此の者を感化せしにや、幾程もなく久六の行狀全く悛まり、其の上親に孝を盡し佛道に入りしかは、人人感しあへり。斯くて清九郎の徳望近郷にも及ひ多くの佛法信者を生せり。其の信者等清九郎住家の甚だ矮小なるを見て爲に金錢を醸出し之を改築せんとして旨を清九郎に傳へければ、清九郎驚きて曰く吾餘命幾はくもなし、美しき家我に於て用なしと、されは其の金は終に地方の寺に寄附することゝなせり。

寛延元年越中國茗荷原妙覺寺の住持玉潭、清九郎の徳を慕ひて眞摯なる感化を其の地方に及さんことを欲し遙はる伴ひ歸りぬ。齡七十に垂んとせる老人百里の長途を苦しとも言はず、玉潭時に勞はれば身は多少の疲勞を覺ゆれとも心は毫

も勞せずと云へり。

國に歸る時玉譚又同道して飛驒國眞宗寺へ詣つる時攝津國小曾根淨光寺の泰巖師この寺にて講談しけるに既に滿座になりたれば同道して上方に上りける。道中あまり長ければ強ひて勸めて馬に乗せけるに馬上にて稱名し次の驛にて馬より下り粉糠を五升ほど求めて馬子に與へ懇に馬の脊をなてなから我れ壯年の頃には三年はかり馬の口附を勤めしことあれとも馬に乗りたることはかつてなし今年七十にして初めて馬に跨りしなりと云へり。其の仁愛の深き知るべきなり。

寛延二年七月原谷村(現今南葛城郡飛上村の一大字)同行の許に佛事ありて行きたる不在中に盜賊の清九郎の家に入りて筵の下に入れ置きし銀札七匁を竊めり。人人氣の毒なりと申せしに清九郎いふやう盜する程の者ならば嘸不自由ならんに我が家に入りて取るべき物のなかりしは不本意に思ひしならん。然るに菜種を賣りし料十五匁の中八匁は春以來の洗濯料に拂ひ残りの七匁のみ彼等の用となりしはせめてもの心遣りなりと喜へり。人人盜まれて喜ふは訝しきことなりと云へは清

九郎又云ふやう盜心はもと凡夫の心より出つれば我も亦有り然るに今其の心起らざるは佛徳によるなり而も盜まるゝ身となりしは幸なりと。

同年の冬中風症に罹り次第に重りて翌寛延三年八月四日眠るか如く遂に歿せり。享年七十三歳碑石は船倉村大字丹生谷因光寺境内に在り。

小百合クニ略傳

新澤村大字觀音寺の人にして父を左兵衛といひ家素より貧しく農を以て生計を立てけり然るに後左兵衛は不幸一眼を失ひ剩へ中風症に罹りたり又母は生來虚弱にして健康なる日とは殆どなかりき。小百合は姉妹四人あれとも男兄弟なかりしかは自身に養子を迎へたれとも意の如くならざるを以て何處ともなく出て行きたり小百合心に思ふ様家は貧しく病める父を持つては心に適ふべき程もなからん如かず老たる親の心を安んせんにはとて中なる二人を他に嫁かせて幼き妹クニと諸共に父母に孝養を盡し露其の心に違ふことなかりき。かゝる程に左兵衛は遂に全く明を失ひ家の内たに歩行すること難きを姉妹は交代して家にあり一人は農に勵みければ秋毎の年貢など聊も期に遅るゝことなかりき。

天明元年卯月の始に當り長閑なる田面を盲目なる身にも床しからんとて一家
舉つて我か田の邊に連れ行き作物の模様などを物語りつゝやかて取出したる割
籠は固よりあやしけなれとも厚き誠心に感じ父は哇に腰打掛けしか折節雨後の
ことなりしかは地面に父の掌の形を残りける。

幾程もなく左兵衛は享年七十九歳にして天壽を終へぬ一家の悲歎限りなく遂
に形見の掌の蹟なりとて其の田に竹を建てなとして久しく止め置けるこそ哀れ
なれ父なき後は更に母に事へて孝養を盡しければ孝子の譽遠近に隠れなく領主
志に感じ褒賞を給ひたりとなむ。

植田吉兵衛略傳

植田吉兵衛は金橋村大字新堂の人なり幼少の頃より農業を好み長するに及び
農業の必要なることを説き愚昧なる農民に實地に就き指導せり天保の頃町年寄
格庄屋を勤めしか當時此の村の西即ち住吉川と北葛城川との中間に萱蘆雜草繁
茂し野獸其の内に棲息せる渺茫たる原野の地ありしかは天保の初年より三星霜
の歳月を費し十六町餘段歩の耕地を開墾し殘部三四町歩を灌漑用の溜池となし

一段歩の宛米を定めて人人に小作せしめたり領主植村伊勢守其の功を賞し天保
三年十二月六日に至りて青銅五貫文龍紋上下一組腰刀二口及墨付を賜へり。

節婦セイ旌表

大和五條に生れ八木町の民久兵衛の後妻となる姑トメは年老いて病に罹り夫
久兵衛も亦中風症を患ひて姑夫ともに起臥意の如くならず然も家貧にして朝夕
の煙も絶えくならずしをセイ女は少しも之を意とせず朝早く起き夜遅く寝ね賃
仕事して日日の生計を支へ菜菓餅饅頭歳時の物に至るまで力を致してこれを供せ
り事高取藩に聞え安政四年藩主厚く其の孝貞を賞し御藏米一俵を賜ひぬ慶應三
年十月歿す享年六十四、褒状寫左の如し。

八木村久兵衛妻

セイ

右せい事老年の母病中孝心に相事へ夫久兵衛久病氣の處晝夜實體に看病い
たし常に萬事心得方宜しく家族睦しく節義相守候段神妙の事に候依之御藏米
一俵御褒美被下之

安政四年丁巳八月

役 所

増田カメ略傳

増田カメは新澤村大字川西の人にして父を喜兵衛といひ母はイヨといふカメ資性温厚にして篤實父母に事へて孝養至らざるなし。母イヨは始め惣兵衛といふ者に嫁し二男を擧げしか幾何もなく惣兵衛死せしかはイヨは貧困なる中に二子を養育せしか生計困難なるより後夫を迎ふ是れ即ち喜兵衛なり。喜兵衛は先夫の二子を見ること恰も我が子の如くして愛育せり。先夫の長男長松長するに及ひて家産の全部を長松に譲りて自らイヨとカメとを連れ借宅に別居して小作農を營みて生計を立て居たりしか喜兵衛宿痾ありて勞働意の如くならざるよりカメは晝は鋤を執りて父を助け夜に入りては按摩をなし父母に事ふること從順にして嘗てその命に背きたることなかりき時の領主植村駿河守其の行爲を賞して安政元年九月に至り青差錢五貫文を賞與せらるカメ時に二十六歳なり萬延元年父喜兵衛死せしかはその家を繼ぎて文久二年婿を迎ふ子息重吉榮吉の二子を擧げ一家圓滿に渡世せしか明治二年病に罹りて歿せり享年四十二。

細川孝子旌表

高市村大字細川山北九兵衛同弟與七郎の二人幼より父母に事へて孝に又九兵衛の如きは傭主に仕へて忠實なりしかは明治二年六月高取藩より二人を褒賞せり。其の寫左の如し

細川村

嘉十郎悻 九兵衛

其方儀平素父母に仕へ方宜敷且奉公先主人を大切に致し農業丹精盡し候趣相聞へ奇特之事に候仍之爲褒美錢十貫文遣之候事

民事役所

高取藩

六月

細川村

嘉十郎三男 與七郎

其方儀平素父母に仕へ方宜敷兄弟睦間敷農事に丹精致し候趣相聞奇特之事に候仍之譽置

民事役所

高取藩

六月

附

錄

地理

一 境 域

高市郡は奈良縣の中央部を占め其の東北は磯城郡に接し南方一帯は吉野郡に
界し西南は南葛城郡に、西北は北葛城郡に連る。廣袤東西三里二丁南北三里二
十一丁面積五方里七六あり。

二 地 勢

(甲) 概説 東南二方面は土地高くして漸次西北に向ひて傾斜せり。故に河流は
多く東南の高地に發し西流して遂に大和川に注ぐ。

(乙) 山系 山脈は概して東南の二方面に連互せり之を三山脈及丘陵に分つ。

(1) 多武峯山脈 郡の東部に蟠結す。其の主峯を御破裂山と稱して磯城郡に
屬し海拔六百十八米五あり、其の山脚西に奔りて細川山となり、海拔五百二
十二米あり、其の盡くる所に飛鳥神社、龍蓋寺等あり。

(2) 波多山脈 波多山脈は多武峯山脈の南方に連互し冬野山に於て海拔六百

四十米あり、此の附近に舒明天皇滑谷崗舊陵あり。是より西方に一脈を出し其の盡くる所を稻淵山と稱し、海拔三百三十米あり。北方は上古の坂田原なれども寺址今は亡し、附近に古墳墓多し。又南方は即ち古の所謂南淵の地方にして此に南淵先生の墓あり。冬野山の南方に柳在峠攀えて脈中の主峯たり。海拔方に七百五十二米五ありて之を本郡最高點となす。此より又一脈を西方に出し遂に高取山脈に連接す其の界に芋ヶ峠あり、海拔五百米ありて高市村より上市町に至るの間道たり。

(3) 高取山脈 郡の南方に連互し其の南方は即ち吉野郡なり、高取山を脈中の主峯となす。海拔五百八十三米九あり。其の頂上に高取城址あり。又西方の山腹には南法華寺あり山脈西に延ひて遂に古の大仁穂山となりて盡く、今船倉山の稱あり。又一脈北方に走り其の端佛頭山に至る。脈の西方一帯の地方は古の檜隈郷にして此に文武天皇山陵及檜隈寺址等あり。又佛頭山の北方に橘寺及川原寺あり。附近に天武天皇持統天皇合葬檜隈大内陵あり。

(4) 丘陵 丘陵中名あるものを越智岡、貝吹山、畝傍山、豊浦山とす。

(イ) 越智岡 郡の西南部に蟠結し中に齊明天皇越智岡上陵あり、地勢東方に延ひて遂に佐田丘、眞弓岡となる。中に岡宮天皇眞弓岡陵あり、此の附近に古墳墓多し。

(ロ) 貝吹山 越智岡の北方に在りて山嶺に城址あり。中世越智氏此處に城寨を城きて守兵を置き北敵至らば螺を鳴らして之を報せしむ、是れ山名を得たる所以なり。海拔二百十米三あり、其の東北方の丘陵中に益田池の跣石あり、又北方なる古の桃花鳥坂の地に宣化天皇身狹桃花鳥坂上陵並に倭彥命桃花鳥坂墓あり、此の附近古墳墓多し。

(ハ) 畝傍山 畝傍山は郡の中央部に屹立し山容頗る秀麗にして眞に皇國の鎮と仰くへし。第三紀の火成岩より成り、海拔百九十九米一あり、山上に畝火山口神社あり。附近一帯の地は本邦史蹟最要の靈域にして人皇第一代神武天皇以下數代の山陵並に官幣大社、榎原神宮等あり。

(ニ) 豊浦山 豊浦山は古への大野丘の東南方にあり、海拔百六十米にして其

の東方に著名なる飛鳥川潺湲として北流す。山の北方は即ち向原寺の址なり。附近に大野丘雷丘あり、大野丘は推古天皇大野丘舊陵の在りし所にして雷丘は雄略天皇小子部螺贏に命して雷神を捕へしめ給ひし所として著名なり。

(丙)水系 水流は既に述べたるか如く多くは西北流す。但し南葛城郡より來るものは正北に流る。

(1) 八釣川 八釣川は磯城郡安倍村大字高家に發源し初め西流し後流路を西北に轉し飛鳥村の東部を過ぎて磯城郡に入る。其の飛鳥村大字八釣を過ぐる所上古顯宗天皇の曲水宴をなし給ひたる所たり。

(2) 飛鳥川 飛鳥川は高市村大字畑の山中に發源し溪谷の間を曲折して西に向ひ懸りて男淵女淵の二瀑となる、其の下方に瀧本神社ありて上古皇極天皇南淵の川上に行幸し雨を祈り給ひしは即ち是なり。大字栢森を過ぎてより流路漸く北に轉し祝戸に至りて細川川を合す。
細川川は高市村大字上の山中より發源し懸りて長安寺瀧となり以下急奔西流して遂に飛鳥川に合す。

祝戸より下流は水路漸く緩にして雷丘の西方を経て更に西北に轉し今井町の東方に至りて蘇武川の稱あり。眞菅村の東方を流れて磯城郡に入る此の川の流域に於て史上有名なる飛鳥京を形成し遂に後世奈良朝隆運の基礎をなせり。されは其の史蹟の豊富なること畝傍山附近に譲らず。本郡中を流るゝ水路凡二里四丁二十三間あり。

(3) 高取川 高取川は高取山脈より發源し高取町の東方を流れ阪合村大字眞弓に至りて眞弓川の稱あり。又大字越の東方に於て檜隈川と稱す。此に服部宗賢の架せし豊年橋あり。流れて白樫村大字久米に至り更に久米川の名あり。上古葛城神雄略天皇を送りて河邊に到りしと傳ふる所なり。下流の眞菅村大字曾我に至りて曾我川に注ぐ、此の上流流域に於て上古多くの歸化人土著し本邦中最も早く文化に進みし檜隈郷ありき。本郡中を流るゝ水路凡四里九丁五十二間あり。

(4) 曾我川 曾我川は南葛城郡葛村より來り越智岡村の西南方に至りて本郡に入る。此の川の流域は神代史に最も關係深しと稱せらるゝ所にして現

今眞菅村に天高市神社又上流地方なる南葛城郡葛村に天安河神社あり、共に遺址なりと傳へたり。又曾我川は安河より轉訛せしものなりと云へり。下流金橋眞菅二村を出入して眞菅村大字中曾司に至り北葛城郡に入る。

水路發源地より此に至りて總て六里六丁十三間あり、又支流に吉備川あり。

吉備川は源を高取山中壺阪より發し初め北流すれども後方向を轉して西流し、葛智岡村大字兵庫の西南方に於て曾我川に注ぐ、流路凡一里三丁十五間あり。

(5)葛城川 葛城川は南葛城郡より來り僅に天満村及金橋村大字曲川の西方を通し水路十三丁九間なり。

(丁)平野 本郡は東南二方面は稍山地と稱すへく此の山地と越智岡白樺の二村に於て蟠結せる數座の丘陵とを除くの外は殆ど平野にして所謂大和平野の一部をなせり。特に飛鳥川高取川の流域は上代に於て長く歷朝の都城を建設せられ久しく政教文物の中心たりし所にして歴史上最も重要なる所なり。

三氣 候

本郡は土地概ね低平なれば各地氣候の差少けれども唯東南部の山地は寒氣稍強く高市村大字冬野の如きは、其の氣溫常に平坦部より約三度低しと云へり。

平均氣溫五十七度六にして、暑氣酷しき年の最高極度は九十六度四に達し、寒氣強き年の最低極度は十七度四に下ることあり。降雨日數は大正三年度にありては百四十一日にして、其の雨量一千三百七十二耗なり。降雪期間は、大抵十二月下旬より三月下旬に至る、而して其の量極めて尠く、大正三年度の如きは積雪僅に八分に過ぎず。

四天 産

本郡の氣候は最も適良なるを以て溫帶性植物よく繁茂し動物の種類又尠からず、而して山椒魚棲息地域に屬するを以て大小兩種とも之を産す。

五産 業

本郡の産業は各種よく進歩せり、即ち村落には農業よく發達し、市街地には商工業に従事するもの多し。而して一般に南部には賣藥業頗る盛にして北部には機械業多く行はる。

(甲)農業 本郡の地味は頗る肥沃なるを以て農業よく發達し各種の作物栽培せらる、其の主要なるものを最近の調査によりて擧ぐれば左の如し。

米	六萬九千三百三十五石	糯米	六千七百四十石
粳米	三百三十五石		
陸米	七萬六千四百十石		
合計			
麥		小麥	八千四百八十四石
稷麥	一萬六千四百四十八石		
合計	二萬四千九百三十二石		
菜種	九百九十六石	大豆	七百四十三石
蠶豆	二千六十九貫	甘藷	三十二萬九千三百二十一貫
蘿蔔	四十三萬八千九百二十九貫	牛蒡	十八萬六千九百九十貫
馬鈴薯	五萬九千九百十貫	筍	二千七百十貫
甘蔗	二萬六千六百六十七貫	桃	四千九百十四貫
梨	五千二百五十一貫	柿	一萬三千六百五十四貫
蜜柑 <small>(温州紀州の類)</small>	六萬一千九百六十三貫	夏橙	二千四百八貫

茶	一千二百三十六貫	春繭	二十石三斗八升
秋繭	十四石六斗一升	牛	五百八十七頭
馬	三十六頭	鶏	四千三百一頭
木材	二萬五千九百圓	竹材	二千八百七十一圓
(乙)商工業	主として市街地に於て經營せらるる其の主要なるもの左の如し。		
白木綿	一萬六千八百圓	二子其他綿木綿	九千五百九十圓
緋木綿	五十九萬六千二百二十圓	色木綿類	一千二百六圓
綿フランネル	八萬五千八百十圓	油類	一萬六千三百八十圓
油粕	一萬七千六百六十六圓	煉瓦	二千六十圓
竹製品	三千五圓	雨傘	一千四百五十五圓
履物表類	二萬九千五百八十圓	下駄類	九千九百七十四圓
指物	二千四百六十二圓	建具	六千四百十六圓
酒類	十一萬二千六百六十四圓	醬油	十一萬二千二百二十六圓
味噌	四千四百八圓	菓子	一萬六百二十一圓

賣藥

四十萬七千二百九圓

(丙)金融機關 金融機關は八木町に八木銀行、今井町に畝傍銀行あり、八木銀行は資本金總額百萬圓、畝傍銀行は五十萬圓なりとす、其の他高市村大字岡高取町大字下土佐に八木銀行支店あり、尙ほ八木町には不動貯蓄銀行代理店あり。

六交通

平坦部は鐵道通し道路大に整頓して交通便利なるも山地に至らば尙ほ改修を要すへき道路尠からず。

(甲)鐵道 官設關西線の支線北葛城郡より來り本郡の北部を東西に貫通し磯城郡に入る延長凡二哩七分、畝傍金橋に停車場あり。

(乙)道路 分ちて假定縣道里道の二となす。

(1)假定縣道

(イ)中街道 中街道は磯城郡田原本町より來り八木町及白樺村大字御坊見瀬阪合村大字平田高取町大字觀覺寺越智岡村大字森船倉村大字市尾丹生谷を経て南葛城郡葛村に至る本郡中を通する延長二里二十九丁五間

あり。

(ロ)土佐街道 土佐街道は南葛城郡御所町より來り越智岡村大字車木兵庫森高取町大字下土佐上土佐壺阪等を経て吉野郡大淀村大字比曾に至る本郡中に於ける延長二里二十二丁五十八間あり。

(ハ)畝傍街道 畝傍街道は八木町大字八木にて假定縣道中街道より分岐し今井町大字今井白樺村大字四條畝傍久米を經見瀬に至りて中街道に合す。延長一里五十九間あり。

(ニ)初瀬街道 初瀬街道は北葛城郡磐城村大字竹内より來り、金橋村大字曲川眞菅村大字曾我今井町大字小綱八木町大字八木を經て磯城郡に入る。本郡中を通する延長一里五丁五十間あり。

(2)著名里道

(イ)八木街道 八木街道は八木町大字小房にて假定縣道中街道より分岐し、鴨公村大字繩手白樺村大字四分鴨公村大字飛驒白樺村大字田中飛鳥村大字豐浦飛鳥高市村大字岡祝戸稻淵栢森を經て吉野郡龍門村大字千股

に至る。本郡中を通ずる延長三里五丁三十二間あり。

(口)御所街道 御所街道は今井町大字今井に起り眞菅村大字五井金橋村大字雲梯東坊城天満村大字根成梯新澤村大字觀音寺を経て南葛城郡掖上村に至る。本郡中に於ける延長二里二丁四十間あり。

(ハ)戸毛街道 戸毛街道は今井町大字今井に起り白樫村大字四條眞菅村大字慈明寺白樫村大字吉田新澤村大字川西一越智岡村大字車木を経て南葛城郡掖上村大字柏原に至る。本郡中に於ける延長一里二十八丁四十八間あり。

(ニ)蘆原街道 蘆原街道は高取町大字觀覺寺に起り同町大字清水谷を経て吉野郡大淀村大字蘆原に至る本郡中を通ずる延長三十二丁四十一間あり。

(ホ)橋街道 橋街道は阪合村大字平田に起り高市村大字川原橋を経て岡に至り八木街道に合し飛鳥村大字飛鳥にて更に同街道より分岐し同村大字奥山を経て磯城郡安倍村大字山田に至る。本郡中に於ける延長二十

七丁七間あり。

(ヘ)西多武峯街道 西多武峯街道は高市村大字島庄にて八木街道より分岐し同村大字上居細川尾曾上を経て磯城郡多武峯村大字西口に至る。本郡中に於ける延長二十九丁六間あり。

(ト)新多武峯街道 新多武峯街道は磯城郡多武峯村大字西口より高市村大字冬野を経て吉野郡龍門村大字瀧畑に至る本郡中を通ずる延長二丁二十間あり。

(チ)小房街道 小房街道は八木町大字小房にて假定縣道中街道より分岐し鴨公村大字繩手を経て磯城郡香久山村大字下八釣に至る。本郡中を通ずる延長十三丁五十一間あり。

(リ)矢就街道 矢就街道は今井町大字今井にて御所街道より分岐し同村大字小綱眞菅村大字地黃北妙法寺を経て磯城郡多村大字豊田に至る。本郡中に於ける延長十二丁二十三間あり。

(ヌ)竹田街道 竹田街道は磯城郡多村大字豊田より眞菅村大字土橋中曾司

を経て北葛城郡松塚村に至る本郡中に於ける延長十五丁二十一間あり。

(ル)小槻街道 小槻街道は眞菅村大字曾我にて假定縣道初瀬街道より分岐し同村大字中曾司小槻を経て磯城郡平野村大字飯高に至る。本郡中を通ずる延長二十丁五十四間あり。

(ヲ)高田街道 高田街道は北葛城郡浮穴村大字勝目より天満村大字出西坊城吉井根成梯新澤村大字觀音寺を経て南葛城郡掖上村大字柏原に至る。本郡中に於ける延長二十三丁五十四間あり。

(ヅ)土佐街道 土佐街道は越智岡村大字兵庫にて假定縣道土佐街道より分岐し南葛城郡掖上村大字柏原に至る。本郡中に於ける延長一丁五十六間あり。

七住 民

(大正三年十二月末調)

(甲)戸數 八千四十一戸あり。

(乙)人口 五萬四千三百七十二ありて、内男二萬七千五百七十五、女二萬六千七百九十七あり、而して其の密度は一方里九千四百三十九人ありてこれを我が國

の平均數一千八百九十五人に比すれば殆んど四倍九八に達す。

八政 治

(甲)郡役所 郡役所は八木町にあり三町十一村を統轄し其の行政事務を掌る。

(乙)警察署 警察署は八木町に在り高取町及天満村の二箇巡查部長派出所並に其他の町村に設られたる十五箇巡查駐在所を統轄し郡内警察事務を掌る。

(丙)裁判所 司法事務は大坂控訴院の管下にありて奈良地方裁判所五條區裁判所の管轄に屬す、而して登記事務は五條區裁判所高田及御所の二出張所に於て處理せらる。

(丁)稅務署 稅務署は北葛城郡高田なる葛城稅務署の管轄に屬す。

(戊)郵便局 郵便局は八木高取今井岡根成梯の各地に設けらる、其の中今井岡根成梯の三局は無集配局なり。

(己)測候所 縣立測候所は八木町にありて全國氣象觀測第四區に屬す。

九行政上の區畫

本郡を三町十一村に分つ、今町村名大字名役場位置町村廣袤現住者數等を表示

すれは左の如し。

町村名	大字	大字數	役場位置	廣袤		現住人口
				東	南	
八木町	八木、北八木、小房	三	北八木	八町十間	十九町十二間	九四七
今井町	今井、小網	二	今井	十町三十間	八町十五間	七七〇
高取町	高取、壺阪、上子島、下子島、清水谷、上土佐、下土佐、觀覺寺	八	下土佐	一里一町三十間	三十四町四十間	六九五
阪合村	平田、越、眞弓、御園、檜前、阿部山、大根田、栗原	八	檜前	三十五町	二十八町	三二六
白檣村	久米、鳥屋、南妙法寺、吉田、敬傍、石川、五條野、大輕、木殿、池尻、見瀬、田中、四分、大久保、御坊、和、田、四條、山木、和、田、出、屋、敷、洞、野、田、庄、細、川、上、居、上、尾、會、冬、戸、橋、立、部、野、口、川、原	二〇	御坊	三十町十間	一里四町十五間	一、四四七
高市村	飛鳥、豐浦、雷、小山、奥山、八釣、東山、小原	一七	岡	一里十五町五間	二里五町	六〇〇
飛鳥村	飛鳥、豐浦、雷、小山、奥山、八釣、東山、小原	八	飛鳥	十七町	十一町	二九一
鴨公村	高殿、櫻岡、別所、法花寺、繩手、上飛驒、飛驒	七	高殿	十町十間	十五町二十町	四三九
眞菅村	土橋、慈明寺、五井、地前、中曾司、北妙法寺、大谷、寺田、曾我、小槻	一〇	曾我	十四町十八間	一里八町十八町	五七一
金橋村	北妙法寺、大谷、寺田、曾我、小槻、曲川、忌部、雲梯、古川、東坊城、新堂	六	雲梯	十九町三十五間	三十五町十間	五三二
天滿村	奥田、秋吉、吉井、根成梯、四坊城、出、築、喰	七	根成梯	二十町七間	十八町二十間	五三七

一〇神社

神社は官幣大社一、郷社三、村社百一、無格社四十一、雜社八、廢社一、合計百五十五座あり。而して郷社、村社の中には延喜式に於て式内大社に列せられしもの多し。
(別表参照)

一一宗教

(甲)寺院 寺院の數は眞言宗十五、淨土宗五十七、曹洞宗四、黃蘗宗六、眞宗八十、日蓮宗一、天台宗二、法華宗一、計百六十六箇寺院あり。(別表参照)

(乙)教會所

教會の數は天理教會十九、黒住教教會所一、基督教教會一あり。(別表参照)

一二教育

附錄地理

計	新澤村	船倉村	越智岡村
一一六	四一	七市尾	九車木
	二十三間	二十八町	二十六町
	二十一町	二十五町	二十町
八、〇四一	五三〇	三五五	三三五
五四、三七二	二、五四七	二、八四四	二、六〇九

教育機關は漸次完備し八木町に縣立畝傍中學校あり各町村には何れも尋常高等小學校を設置し更に農業補習學校を附設せるもの十箇所、裁縫學校を附設せるもの十一箇所あり。今小學校に關するものを表示すれば左の如し。

(大正四年四月末調)

學 校 名	位 置	區 域	學 級 數	兒 童 數	備 考
育成尋常高等小學校	越智岡村大字田井庄	船倉村、越智岡村	一四	六五七	農業補習學校附設
土佐尋常高等小學校	高取町大字上土佐	高取町	一〇	五五二	同
阪合尋常高等小學校	阪合村大字楡前	阪合村	七	三六九	同
白檮南尋常高等小學校	白檮村大字見瀬	白檮村ノ内見瀬、大經、石川、和田、五條野、久米、南妙法寺、島屋、吉田、池尻	一四	六二一	同
白檮北尋常高等小學校	同 御坊	白檮村ノ内御坊、出屋敷、田中、木殿、四分、大久保、畝傍洞、山本、四條	一三	五八一	同
高市尋常高等小學校	高市村大字島ノ庄	高市村	一四	六四二	同
飛鳥尋常高等小學校	飛鳥村大字飛鳥	飛鳥村	六	二七九	農業補習學校附設
鳴公尋常高等小學校	鳴公村大字醍醐	鳴公村	七	三八一	農業補習學校附設
曉成尋常高等小學校	八木町大字小房	八木町	一四	六六七	幼稚園附設

今井尋常高等小學校	今井町大字今井	今井町	一一	五五〇	裁縫學校附設
眞菅尋常高等小學校	眞菅村大字會我	眞菅村	一三	六二九	農業補習學校附設
金橋尋常高等小學校	金橋村大字雲梯	金橋村	一三	六二八	同
菅原尋常高等小學校	天満村大字根成梯	天満村、新澤村	一四	七九六	裁縫學校附設

教育博物館

明治三十三年五月二十八日畏くも 今上陛下東宮に御座しまし、御時御慶事奉告の典を

神武天皇御陵に修し給ふの故を以て、妃殿下御同列本郡に行啓あらせられ、忝くも金二千圓を高市郡に下賜せられたり。本郡は恩賜の忝きに感泣し、永く此の惠澤に浴せんか爲め、乃ち此の賜金を基礎として教育基金を設定せり。而して別に此の恩賜を記念せんか爲に本館を建設し且つ附屬圖書館物産陳列所園藝場等を併設し、漸次其の設備を定成し以て教育の進歩を圖り、兼て實業の發達を助けつゝあり。

神社一覽

附錄地理

(大正四年九月一日調)

社號	祭神	社格	所在地	社地積面	氏子	備考
船倉神社	市杵島姫命	村社	船倉村大字丹生谷小字スワル	四六五	二〇	明治四十九年九月二十四日告示一九二號指定
春日神社	春日四柱大神	同	同村大字谷田小字奥ノ谷	七〇三	二五	
同	同	同	同村大字市尾小字曾羽	二〇〇	八	
曾羽神社	不詳	無格社	同村大字同小字的場	九三	一〇	社地面積は現今民有
八幡神社	品陀別命	同	同村大字同小字高井	四九	二六〇	同
勝手神社	天忍穗耳命	同	同村大字同小字天満山	二六四	八	
同	菅相丞	同	同村大字同小字上山	一五二〇	七一	
春日神社	春日四柱大神	同	同村大字同小字アツキ谷	二一九	四一	
波多毬井神社	速速日命	同	同村大字松山小字宮山	二七〇	一〇	
菅原神社	菅相丞	同	同村大字吉備小字テンド	四八〇	一〇	社地面積は現今民有
春日神社	天津兒屋根命	同	同村大字松山小字天前	二六一	七〇	
同	同	同	同村大字寺崎八百十四番地	五二六	七〇	
大己貴神社	大己貴命	同	同村大字同小字アツキ谷	一〇九九	二〇	
八幡神社	應神天皇	同	同村大字同小字井庄百九十八番地	六六〇	二四	
春日神社	天津兒屋根命	同	同村大字同小字薩摩五百九十三番地	二七〇	三三	

社號	祭神	社格	所在地	社地積面	氏子	備考
杵築神社	素盞鳴命	同	同村大字森百四十六番地	一五〇	四〇	
春日神社	天津兒屋根命	同	同村大字佐田七百四十二番地	三八〇	三〇	
龍穴神社	龍穴命	同	同村大字同	六〇	二四	
同	同	同	同村大字寺崎八百十四番地	三三〇	五〇	
有南神社	八幡皇大神	同	同村大字同	一三八一	二〇	明治四十九年九月二十四日告示一九二號指定
八幡神社	春日四柱大神	同	同村大字同	一五〇	二五	
小島神社	春日四柱大神	同	同村大字同	六六七	二五	
稻荷神社	保食神	同	同村大字同	四四四	五〇	
上子島神社	素盞鳴命	同	同村大字同	七二二	二三五	明治三十九年十二月二十日告示二六號指定元慶五年十一月十四日授從五位下
高生神社	高皇產靈命	同	同村大字同	三四二	三八	明治四十二年六月十五日廢社許可
清水神社	高皇產靈命	同	同村大字同	二四〇八	一七〇	貞觀九年四月授從五位下
國府神社	應神天皇	同	同村大字同	一八一九	九三	明治四十一年十月告示二八一號指定
天國神社	三輪大神	同	同村大字同	三〇	三〇	明治四十二年九月十五日國府神社合併認可
惠美須神社	言代主命	同	同村大字同	三〇	三〇	明治四十二年九月十五日國府神社合併認可
宮形神社	倉稻魂神	同	同村大字同	七九五	一三三	明治四十九年九月二十四日告示一九二號指定
高皇產靈神社	高皇產靈命	同	同村大字同	一五〇	七五	大正三年六月六日告示上子島神社に合併認可
岩屋神社	伊弉諾命	同	同村大字同	一五〇	七五	大正三年六月六日告示上子島神社に合併認可

社	社號	祭神	社格	所在地	面積	氏子	備考
宮	神	伊弉諾命	無格社	高取町大字上子島	六三	七五人	大正三年六月六日 上子島神社に合併認可
龍	神	伊弉册命	無格社	同	同	同	同
八幡	神	應天神	無格社	同町大字高取小字八幡山	一五七	四〇	同
毘	羅	大物主神	無格社	同町大字高取小字八幡山	同	同	同
金	刀	高皇產靈神	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	四二	三〇人	明治四十二年九月二十九日 廢社の件認可
天	神	木花咲耶比賣命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	四三八	一六	同
吳	津	阿智使主命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	三三九	二六	延喜式内
於	美	素盞鳴命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	二二一	五八	延喜式内、明治四十一年十月二日告示二八一號指定
八	阪	菅原道真公	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	四六七	八〇	告示一九二號指定
天	滿	菅原道真公	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	三〇二	二四	同
櫛	玉	許世都比古命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	八六五	二九	同
許	世	許世都比古命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	九六三	八〇	明治四十一年九月二十四日 告示一九二號指定
欽	火	豐受比咩命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	一一六	三四	許世都比古命社に許世都比古命社と訂正の件許可
八	幡	豐受比咩命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	六九九	二六一	比古命社に訂正の件許可
八	幡	豐受比咩命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	四五八	五〇	明治三十一年十月二日 告示二八一號指定
八	幡	豐受比咩命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	四三三	三〇	境域擴張中
輕	子	豐受比咩命	無格社	同町大字觀音寺小字井戸	二四一	二七	明治四十一年十月二日 告示二八一號指定

社	社號	祭神	社格	所在地	面積	氏子	備考
鳥	阪	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	四七三	五一	明治四十一年十月二日 告示二八一號指定
春	日	天兒屋根命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一五〇	二八	同
安	寧	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一〇〇	九	元巨勢谷春日と稱し石楳孫命を祀りしか何時しか祭神を變せり
八	幡	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一五四	二五	明治四十一年十月二日 告示二八一號指定
大	久	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	二一六	一四	元八井神社に於て祭神八井命なりしを何時しか本社名に轉變せり
辨	才	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	三七〇	四六	同
木	殿	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	四三〇	四六	同
春	日	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	二四〇	三八	同
生	國	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	七二	三七	同
大	歲	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	二七四	二〇〇	同
春	日	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	五九三	二四	明治四十一年十月二日 告示二八一號指定
同	同	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	二九六	二五	同
同	同	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一一八	二〇	同
同	同	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一一〇	四三	同
八	幡	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一八〇	一一六	同
高	市	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	二六六	五	同
春	日	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	二五〇	四五	同
同	同	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	九五	七	同
鷺	栖	豐受比咩命	無格社	同町大字鳥屋小字東浦	一四八四	三八〇	明治三十九年十二月二十八日 告示二六九號指定

附錄地理

三三

社號	祭神	社格	所在地	面積	氏子	備考
池田神社	大日本彥根友尊	無格社	白檜村大字畝傍小字池田	一〇一・九	七五	三代實錄曰貞觀元年正月二
東大谷姬命神社	姫踏五十鈴命	同	同	四〇〇	七四	十七日授從五位上
牟佐坐神社	高皇產靈命	同	同	一一九七	二一〇	明治四十年九月二十四日
豐明神社	應神天皇	無格社	同村大字同小字八王子	九七八	二一〇	告示一九二號指定
素盞鳴命神社	素盞鳴命	同	同村大字同小字三子	二〇五九	一五	告示一九二號指定
八咫鳥神社	加茂武津彥命	同	同村大字同小字神ノ木六	七八〇	三三	同
春日神社	天津兒屋根命	同	同村大字同小字ウチガイト	六六三	二〇	同
八幡神社	豐受姫命	同	同村大字和田字オホヅキ	三三〇	一八	明治四十一年十月二日
馬立伊勢部田中神社	同	同	同	三三三	一一七	三代實錄曰貞觀元年正月二
辨天神社	同	同	同	一六九	七五	十七日授正五位上
久米御縣神社	高皇產靈命	無格社	同村大字田中小字辨財天	一七五八	一〇六	同
嚴島神社	市杵島命	同	同村大字久米字宮ノ谷	四九	一五〇	明治四十九年九月二十四日
治田神社	品陀別命	同	同村大字同小字垣内	一一八二	五〇	明治四十二年三月十七日
八阪神社	素盞鳴命	無格社	高市村大字岡字宮山	四二	一九	告示一九二號指定
高市御縣坐鳴事代主神社	素盞鳴命	無格社	同村大字同小字花井垣内	七五六	二一	本縣明細帳登載手續中
春日神社	天津兒屋根命	同	同村大字島ノ莊小字宮山	三〇〇	一九	明治四十二年七月一日
同	同	同	同村大字上居小字マタコ			神社を本社へ合併

社號	祭神	社格	所在地	面積	氏子	備考
同	天兒屋根命	無格社	同村大字同小字平尾	二七	一七八	明治四十三年七月三日
細川神社	同	同	同村大字細川字宮屋敷	四八〇	六一	明治四十一年十月二日
氣都倭既神社	天津兒屋根命	同	同村大字上小字茂古森	九〇	四五	明治四十二年十月十五日
春日神社	天津兒屋根命	無格社	同村大字尾曾小字大木	二六	六	同
波多神社	事代主命	同	同村大字冬野小字松葉	二四	三	同
富士神社	木花咲夜姫命	無格社	同村大字畑小字ヲ、サカ	二〇	二〇	同
談山神社	天津兒屋根命	同	同村大字同小字トヤマ	四六	二〇	同
大仁保神社	不詳	同	同村大字入谷字ボンノウ	一五五〇	二〇九	明治四十四年三月二十日
飛鳥川上坐字須多岐比賣神社	宇須多岐比賣命	同	同村大字稻淵小字宮山	二二九	五〇	明治四十四年九月二十四日
加夜奈留美神社	加夜奈留美命	同	同村大字相森小字堂ノ上	六六	三六	告示一九二號指定
談山神社	藤原鎌足公	無格社	同村大字稻淵小字ユノク	六〇	七〇	明治四十三年十二月二十七日
葛山神社	氣吹戸主命	同	同村大字阪田小字宮池	一六二	一六二	大正二年九月二十六日
春日神社	高皇產靈命	無格社	同村大字同小字イセタニ	二一七	二二	明治四十二年十月七日
同	天津兒屋根命	同	同村大字橋小字火フリ山	七一	一五	明治四十二年七月七日
小泊瀬稚雀神社	同	同	同村大字立部小字堂山	六〇六	四八	明治四十二年七月七日
板蓋神社	武烈天皇	同	同村大字野口小字内島			同
八阪神社	神功皇后	無格社	同村大字川原小字宮山			同
龍神社	豐玉姬命	同	同村大字川原小字大辻			同
同	同	同	同村大字同トナミ			同

社號	祭神	社格	所在地	面積	氏子	備考
宗像神社	市杵島姬命	無格社	高市村大字同字小山田	七九六	一	境内に飛鳥山神社鎮座明治四十年九月二十四日告示一九二號指定
飛鳥坐神社	事代主命外三柱	村社	飛鳥村大字飛鳥小字神奈備七百八番地	一一二	一三	
大原神社	品陀別命	同	同村大字小原小字寺四百三十四番地	七六	八	
弘計皇子神社	顯宗天皇	同	同村大字八釣小字宮ノ本四十一番地	九六〇	五一	
皇太神神社	天照皇太神	同	同村大字奥山小字堂ノ山	三二三	七五	貞觀元年正月二十七日授正五位上明治四十二年十月二日告示二八一號指定
甘樫坐神社	大瀧津日命外三柱	同	同村大字豐浦小字寺内	三一	二五	廢社今織に遺址を存す
杵築神社	素盞鳴命	同	同村大字小山小字南垣内三百四十六番地	一六八	一〇	明治四十三年一月十三日村社甘樫坐神社(合併認可)
氣吹雷響吉野大國	氣吹雷響	無格社	同村大字豐浦小字寺内	二二	五〇	鴨公の森と稱し遺址を存す
難波池神社	豐玉比賣命	同	同村大字高殿小字カキヲ	七七九	一〇	
春日神社	春日大明神	同	同村大字高殿小字カキヲ	一八〇	一七〇	明治四十年九月二十四日告示一九二號指定
大宮神社	通稱事代主命	同	同村大字北八木九十九番地	五二五	四二〇	同
惠比須神社	八重事代主命	同	同村大字八木三百四十八番地	二〇二	六一二	同
春日神社	天兒屋根命外三柱	同	今井町大字今井百六十二番地	七八	五八	明治四十年九月二十四日告示一九二號指定此社も牛頭天王社と稱す
八幡神社	譽田別命	無格社	同村大字同	五〇六		
入鹿神社	素盞鳴命	村社	同町大字小綱三百三十五番地			

社號	祭神	社格	所在地	面積	氏子	備考
岩神	神倭磐余比古命	無格社	眞菅村大字中會司字西口	七一	八	明治四十年九月二十四日告示一九二號指定
磐余神社	神日本磐余比古命	村社	同村大字同小字宮ノ内七十二番地	九六二	五五	同
天神神社	菅原道眞公	同	同村大字慈明寺三十八番地	二七四	一一〇	明治四十年九月二十四日告示一九二號指定貞觀元年正月授從五位上
天高市神社	事代主命	同	同村大字大谷字辰巳	七四	八〇	同
八幡神社	譽田別命	同	同村大字大谷字辰巳	二四〇	四〇	明治四十一年十月二日告示二八一號指定
人麿神社	梯本人麿朝臣	同	同村大字土橋字南垣内	四二九	六〇	明治四十二年九月二十四日告示一九二號指定
春日神社	天兒屋根命	同	同村大字北妙法寺小字垣	一一八	一五	
同	天兒屋根命	同	同村大字小槻字カイキ六	二〇三	七三	明治四十一年十月二日告示二八一號指定
同	伊弉諾命	同	同村大字五井小字垣内百三十五番地	三六〇	五六	同
同	天津兒屋根命	同	同村大字土橋字ハリミチ	一一二	八	
同	天津兒屋根命	無格社	同村大字土橋字ハリミチ	七四〇	二八	明治四十一年十月二日告示二八一號指定貞觀十年五月授從六位上
天太玉命神社	天太玉命外三柱	村社	同村大字新堂	二五	六〇	
春日神社	天兒屋根命外三柱	同	同村大字東坊城字弓場	五四〇	四〇	
同	天兒屋根命	同	同村大字同小字坊城	一一一	五八	
杵築神社	素盞鳴命	同	同村大字同小字万田八百	一〇六四	一一〇	明治四十年九月二十四日告示一九二號指定
八幡神社	譽田別命	同	同村大字曲川小字瓦ノ前	九三〇	一五〇	同
八幡神社	同	同	同村大字同小字北垣内	七六	六〇	
金橋神社	安閑天皇	無格社	同村大字同小字北垣内			

附錄地理

寺院名	本尊	宗派	所在地	社地	氏子	備考
長樂寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一〇一七	八〇	當寺に鐘立清九郎の碑石あり
因光寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一一七	八〇	當寺に鐘立清九郎の碑石あり
威徳天神神社	菅原道真	同	同村大字北越智九十四番地	三一八	一〇	明治四十年十月二日告示二八一號指定
三十八社神社	春日	同	同村大字同鏡治垣内	一〇二〇	一一一	明治四十年十月二日告示二八一號指定
嚴島神社	市杵島姫命	同	同村大字同鏡治垣内	一二六	三八	
稻代坐神社	稻代大神	同	同村大字同鏡治垣内	二八七五	一一三	貞觀元年正月二十七日授從五位下明治四十年九月二十四日告示一九二號指定
八王子神社	天兒屋根命	同	同村大字同鏡治垣内	四七五	一一〇	
春日神社	天兒屋根命	同	同村大字同鏡治垣内	二〇五	四四	
八幡神社	天兒屋根命	同	同村大字同鏡治垣内	八〇	四八	
嚴島神社	市杵島姫命	同	同村大字同鏡治垣内	一六〇	三〇	
天満神社	菅原道真	同	同村大字同鏡治垣内	一〇三四	一〇三	明治三十九年四月二十日告示二六九號指定
木花開耶姬神社	木卷開耶姫	同	同村大字同鏡治垣内	一〇三七	五二	明治三十九年四月二十日告示二六九號指定
河俣神社	鴨部美波八重事代主命	同	同村大字同鏡治垣内	一〇五七	八三	明治四十年九月二十四日告示一九二號指定

寺院一覽

(大正四年九月一日調)

寺院名	本尊	宗派	所在地	社地	氏子	備考
常樂寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	三三七	一〇	
如來寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	七七五	二七〇	
念佛寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	四七四	一一三	
是教寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一〇〇	二〇	
報恩寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一一〇	三五	
淨圓寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	八三	四五	
天樂寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	九〇	二〇	
興樂寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一八三	一〇	
教恩寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一四一	三〇	
宗蓮寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	九〇	二五	
本覺寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	二〇七	四五	
華嚴寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一三八	なし	
光雲寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	四五六	一四	
安樂寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	九六	三三	
與樂寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	七九	四二	
慈眼寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	一五六	なし	
圓常寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	九〇	三〇	
閑住院	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	二二六	二三	
永明寺	阿彌陀如來	真宗	同村大字同鏡治垣内	九九	二〇	

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
西法寺	阿彌陀如來	真宗	越智岡村大字薩摩	一三三	二五	本寺西國六番の札所なり
南法華寺	千手觀音	新義真言宗 豐山派	高取町大字靈阪	一八	一	
寶珠院	不動明王	古義真言宗	同	同境內		
大門坊	藥師如來	同	同	同		
西室院	藥師如來	高野山	同町大字清水谷字向出	一九九	七〇	又靈鷲寺と稱し世世感智氏の菩提所なり現今境内に碑石數基存す
常喜院	題目の寶塔	久遠寺	同町大字同字上辻	一〇六	なし	
常照寺	地藏菩薩	三河岡崎	同町大字同	一九八	一三	
長圓寺	阿彌陀如來	比叡寺	同町大字上子鳥字栢ノ木	四四〇	一〇	舊藩主植村氏の菩提所なり
宗泉寺	阿彌陀如來	延暦寺	同町大字同字別所	四九五	七	
大圓寺	藥師如來	本願寺	同町大字上土佐	二二二	六〇	
滿法寺	藥師如來	同	同町大字下土佐	二七	二四	
西方寺	十一面觀世音菩薩	真言宗	同町大字同字クラノハキ	一〇五	一一	
觀音院	阿彌陀如來	真言宗	同町大字上子鳥字法花谷	一六一	二	
光明寺	阿彌陀如來	真言宗	同町大字下土佐字栢ノ木	五六四	三八〇	
西光寺	同	同	同町大字觀覺寺	二一三	五〇	
光永寺	同	同	同	一七〇	四五	
子島寺	大日如來	古義真言宗	同町大字同字垣ノ内	八〇四	一	明治三十六年八月十五日可憐院を子島寺と改稱許
稱念寺	阿彌陀如來	法然院	阪合村大字越	三二二	三三	

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
觀音寺	土明寺	光明寺	同村大字阿部山	一二七	二九	
西福寺	智恩院	同	同町大字曾前字ワタリヤ	一六三	三五	
祐福寺	同	同	同村大字平田字垣内	一三七	六三	
西方寺	見阿彌陀	同	同村大字御園字寺ノ元	九五	一六	
觀音寺	平等院	同	同村大字大根田字下垣内	六七	一〇	
西蓮寺	智恩院	同	同村大字真弓字カイト	一〇二	三五	
念佛寺	同	同	同町大字平田字寺ノ下	一九五	三八	
戒森庵	同	同	同村大字真弓字カイト	八八	三一	
泉福寺	同	同	同村大字真弓字カイト	九九	三一	
竹林寺	同	同	同村大字栗原字的場	九九	三〇	
信光寺	同	同	白根村大字御坊字垣内	一四六一	三七	
稱讚寺	同	同	同村大字和田	一一六	一八	
安寧寺	同	同	同村大字吉田	一〇〇	二五	
福榮寺	同	同	同村大字見瀬字東浦	二一三	五〇	
法林寺	同	同	同村大字池尻	一〇五	三九	
實相寺	同	同	同村大字大久保字雨垣内	五八	二四	
妙觀寺	同	同	同村大字四條字三條カイ	一〇八	五〇	
稱詮寺	同	同	同村大字同字コセノ内	五八	三一	
東通寺	同	同	同村大字同字五反ヲサ	一〇五	四〇	

明治二十七年三月十五日廢庵となる

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
願專寺	阿彌陀如來	真宗	白檜村大字四條字砂入	一三七	五〇	
光明寺	同	同	同村大字木殿字北垣内	一三八	三八	
西向寺	同	同	同村大字四分字中ノ垣内	九三	九	
教宗寺	同	同	同村大字洞字垣内	四四一	二〇〇	
法滿寺	同	同	同村大字田中字北垣内	一七〇	七	
本明寺	釋迦如來	同	同村大字石川字南垣内	一六四	七	崇福寺は本寺に併合
藥傳寺	阿彌陀如來	同	同村大字鳥屋字東浦	九五	七	
弘誓寺	同	同	同村大字同字カイトウ	八八	二八	
高松寺	同	同	同	一八一	四一	
德應寺	同	同	同村大字南妙法寺	五三	二二	
阿彌陀寺	同	同	同村大字見瀨字善導寺	五八六	一二三	
稱名寺	同	同	同村大字同字東浦	二〇二	四〇	
正樂寺	同	同	同村大字五條野字寺垣内	二五〇	六六	
大仙寺	同	同	同村大字田中字南垣内	一五一	二五	
久米寺	同	同	同村大字久米字宮谷	三五五	一三〇	
道場寺	阿彌陀如來	同	同村大字山本字垣内	一九〇	一〇	域内に大師堂ありて弘法に絶えず
明善寺	阿彌陀如來	同	同村大字畝傍字下垣内	三九	二八	目下名稱のみありて事實上寺院の取扱を受けず

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
國源寺	阿彌陀如來	淨土宗	同村大字大久保字寺内	一〇八	一一	當寺今觀音堂一字あるのり十一面觀世音とな安置せ
正忍寺	同	同	同村大字四分字南垣内	一八八	七	
蓮花寺	同	同	高市村大字細川字寺垣内	一八三	三三	
香爐寺	同	同	同村大字橋字念佛堂	一一四	三五	
專稱寺	同	同	同村大字觀戶字下垣内	一二三	四一	
淨真庵	同	同	同村大字川原字小山田	一〇九	一〇	
常谷寺	同	同	同村大字同字ユキノタニ	三八〇	一五〇	
上宮寺	同	同	同村大字上居字上宮	一一二	二〇	
龍福寺	同	同	同村大字稻瀬字上ノ垣内	三〇〇	七〇	
唯稱寺	同	同	同村大字島莊字竹鼻	七四	一一	
長安寺	藥師如來	同	同村大字上字アサヅケ	一七五	二〇	
常龍寺	阿彌陀如來	同	同村大字畑字池ノ上	一八七	二二	聖德太子建立立部寺の遺蹟なりと稱す
定林寺	聖德太子	同	同村大字立部字下垣内	一六六	二二	
光福寺	阿彌陀如來	同	同村大字川原字東垣内	一八二	四〇	
高山寺	同	同	同村大字畑字フシガミ	一三六	三三	
威德院	毘沙門天	同	同村大字尾曾字大木	一三五	一四	
弘福寺	十一面觀音	同	同村大字川原字東浦	二二一	三六	曼法師に居り又川原寺の稱あり
願正寺	阿彌陀如來	同	同村大字入谷字桑原	七一	一三	
岡本寺	如意輪觀世音	同	同村大字岡	六九	一	

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
彌陀寺	如意輪觀世音	新言宗	高市村大字岡字岡寺	二二五九	一	彌陀僧正の開基にして本尊は弘法大師の作なりと傳ふ
橘寺	聖德太子	天台宗	同村大字橘字上宮	一五〇〇	一	聖德太子誕生所なりと傳ふ
金剛寺	藥師如來	淨土宗	同村大字阪田字西垣内	三二三	三〇	
龍藏寺	阿彌陀如來	同	同村大字相林字トヲ	一三九	三六	
地藏寺	同	同	同村大字入谷字松坂	一三一	一七	
來迎寺	同	同	飛鳥村大字飛鳥字南垣内	二四一	七七	
安居寺	釋迦如來	新義真言宗	同	一四九	一	當寺は史上有名なる飛鳥寺の後身にして丈六佛像尙存す
法滿寺	阿彌陀如來	同	同村大字同字北垣内	七一	二一	當寺は飛鳥寺北門の遺址なりと云へり
西念寺	同	同	同村大字同字北垣内	二八七	四四	當寺は欽明天皇の朝蘇我稻目の向原を以て寺となせし遺蹟なりと云へり
向原寺	同	同	同村大字同字寺内	一五一	四七	當寺は古昔一大伽藍ありしもの如く大礎石今尙多く有す
妙法寺	地藏菩薩	淨土宗	同村大字八釣字堂阪	六三	九	
久米寺	阿彌陀如來	同	同村大字奥山字西垣内	一六七	四七	
常願寺	同	同	鴨公村大字高殿	一一〇	四四	
報恩寺	同	同	同	九七	一五	
常樂寺	毘沙門天	同	同	二八二	六〇	
法善寺	阿彌陀如來	淨土宗	同村大字法花寺	四七	一四	
養國寺	同	同	同村大字醍醐	四二	二五	

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
是信寺	同	同	同	一一一	三八	
善行寺	同	同	同村大字飛驒	七〇一	八〇	
正光寺	同	同	鴨公村大字繩手	一〇七	四五	
明教寺	同	同	八木町大字北八木	一九五	一九二	
圓立寺	同	同	同	三一五	一三六	
金臺寺	同	同	同村大字八木	一七五	八	
西福寺	同	同	同	二五九	一三六	
國分寺	同	同	同	四五五	五五	
大願寺	同	同	同村大字小房	一三二	二三	
觀音寺	十一面觀世音	同	同	五三八	一五〇	
延命寺	同	同	同村大字八木	一五八	一〇六	
稱念寺	阿彌陀如來	同	今井町大字今井	七七〇	三五	
順明寺	同	同	同	六五八	三〇	
西光寺	同	同	同	五五三	六〇	
蓮妙寺	釋迦如來	同	同	一九五	一三	
正蓮寺	阿彌陀如來	同	同	一一一	五八	
慈明禪寺	千手觀音	同	同町大字小綱	三四	六〇	
稱名院	阿彌陀如來	同	同村大字五井二十番地	四七四	三〇〇	
願興寺	同	同	同村大字寺田十六番地	八一	二二	

寺院名	本尊	宗派	所在地	寺地坪數	信徒戶數	備考
光岩院	阿陀彌如來	淨土宗	眞菅村大字曾我五百十九番地	三三七	三〇〇	蘇我大寺の遺址なりと傳へたり
光專寺	同	眞宗	同 四百七十二番地	四一五	一〇〇	
大信寺	同	眞宗	同 同村大字地黃字西垣内	九三	四〇	
安樂寺	同	眞宗	同 同村大字北妙寺字垣内百八十三番地	八〇	一五	
專念寺	同	眞宗	同 同村大字土橋	七八五	七〇	
正福寺	同	眞宗	同 同村大字中曾司三十五番	一八三	八五	
淨行寺	同	眞宗	同 同村大字小槻五百九十三番地	一一九	三三	
願成寺	同	眞宗	同 同村大字五百四十三番地	二六	七	
東樂寺	延命地藏	眞宗	同 同村大字曾我五百四十四番地	二二六	五〇	
淨念寺	阿彌陀如來	眞宗	同 同村大字新堂	一一三	五二	
德應寺	同	眞宗	同 同村大字曲川	四九九	二五三	
正滿寺	同	眞宗	同 同村大字忌部	七五	一九	
西應寺	同	眞宗	同 同村大字雲梯	一五四	一〇一	
光明寺	同	眞宗	同 同村大字東坊城	六〇	三〇	
淨榮寺	同	眞宗	同 同村大字東坊城	六三	六〇	
金剛寺	同	眞宗	同 同村大字古川	九五	七〇	
正覺寺	同	眞宗	同 同村大字古川	二七一	八〇	
法光寺	同	眞宗	同 同村大字古川	七六	四二	

願乘寺	同	眞宗	天満村大字根成柿	三四六	二一五	
圓光寺	同	眞宗	同村大字吉井東垣内	七四	一〇	
善教寺	同	眞宗	同村大字奥ノ田字東垣内	五六八	二八五	
超願寺	同	眞宗	同村大字秋吉字西垣内	八三	二八	
西願寺	同	眞宗	同村大字西坊城字西垣内	一〇八	六〇	
光曉寺	同	眞宗	同村大字出	一五八	六〇	
圓教寺	同	眞宗	同村大字善唯字西垣内	一一五	六〇	
正蓮寺	同	眞宗	新澤村大字觀音寺	一三〇	二七	
阿彌陀寺	同	眞宗	同	八三	一一	
觀福寺	同	眞宗	同	六二	二九	
淨念寺	同	眞宗	同	九三	三二	
念佛寺	同	眞宗	同	一四一	五一	明治六年九月常門村北垣内に遷す現今のカヤノ木ノ下に遷す現今の地は元長法師の寺と云ふなり淨國寺の附屬寺なり
淨國寺	同	眞宗	同	五八七	六〇	
淨滿寺	同	眞宗	同村大字川西	一〇五	二四	
重願寺	同	眞宗	同	二四一	三六	
圓福寺	同	眞宗	同	一九五	五〇	
淨宗寺	同	眞宗	同村大字北越智	一九〇	八〇	創立應安年中天保五年三月十八日再建現今の本堂是なり
和田寺	同	眞宗	同村大字觀音寺	一〇二	二	

奈良縣高市郡志料
教會一覽
天理教

(大正三年十二月末調)

教	會	名	所在地	信者數
八木	分會	會本部直轄	八木町大字北八木	一一五
八木	分會	高市村大字岡	高市村大字岡	一二二
八木	分會	今井町大字今井	今井町大字今井	二一四
八木	分會	眞管村大字中曾司	眞管村大字中曾司	一五一〇
八木	分會	飛鳥村大字奥山	飛鳥村大字奥山	二〇三一
八木	分會	高取町大字下子島	高取町大字下子島	七五五
八木	分會	白檮村大字大經	白檮村大字大經	二二七〇
八木	分會	新澤村大字川西	新澤村大字川西	六九〇
八木	分會	阪合村大字平田	阪合村大字平田	八六〇
八木	分會	船倉村大字松山	船倉村大字松山	八八七
八木	分會	金橋村大字古川	金橋村大字古川	五五五
八木	分會	八木町大字小房	八木町大字小房	七九九
八木	分會	高市村大字祝戸	高市村大字祝戸	八三六
八木	分會	眞管村大字會我	眞管村大字會我	五五〇
八木	分會	白檮村大字田中	白檮村大字田中	六八〇
八木	分會	鴨公村大字繩手	鴨公村大字繩手	七九一
八木	分會	越智岡村大字兵庫	越智岡村大字兵庫	三〇〇
八木	分會	今井町大字今井	今井町大字今井	六三六
八木	分會	天滿村大字根成柿	天滿村大字根成柿	五五四

黒住教

教	會	名	所在地	信者數
黒住	教會	飛鳥村大字飛鳥	飛鳥村大字飛鳥	一五〇

基督教

教	會	名	所在地	信者數
八木	分會	會(聖公派)	八木町大字北八木	二〇

町村大字小字名一覽

町村名	大字名	小字名
船倉村	吉備	キタハラ 墓ノ下 ハシラタニ ミネ畑 ケンコ ヤシキハタ ナガイ ムラナカ ミヤノマ エニシツヂ サカハナ ホシノウエ ヲハタケ下 フルヤ フルセ ニシノハタ ハサコ ヲノキトラ ヲサイノ 神ノ木 アケハタ ウチコシ テンデ北原 ノミタニ 六坪 カケ タ 柱谷 樹カイ ユハイ 七反切 大苗代 ヒヨタンダ ムカイ フエフキ ハンノキハラ クボ カハラダ カシヤダ ヤブノシタ ナツメ ミチバタ ユハツボ ヲマチ ヨコキ ミズクミ 六イツボ
		松山

附錄地理

町村名	大字名	小字名	
松山	ヒヤクダ アワジ ツジノコ ナカキリ ナガシマ ヤタニ シヨブダニ 谷 源六田 ヒロゴン ハムカイ	トラド ネマタ カハバタ カヤグチ ホサキウラ 新池ノ尻 テンドカケウラ ツジノウモト ツバガミネ ムネノマヘ	ヒガシウラ クワノモト アラキイデ アライバ イヌイダ ヨノキダニ フクロク ハナノヲ 西口 ゴタンダ カケダ アミダジウラ カシヤタニ カヤクチ アミダジウラ ヤサキ 百目 ハシラ谷 トヨヲカ ヤシキバタ ミナミグチ スギヤマカ ノミダニ
羽内	追谷 一本松 向藏 ノ窪 山 釜ヲサ 塞上 南屋敷 山本川 ジヨ尻	追谷奥 宮阪上 井戸谷 高島 大井谷 四反田 野本東 野本東 重太郎地 馬場垣外 大井谷口	伊勢講山 甚右衛門山 アズキ谷 蔵ノウチ 高島 向屋敷 大井谷 丸ノ森 御敷田 丈六 丈六中 丈六下 丈六東 井手首 川向 馬場垣外 馬場垣外 大井谷口 薬師浦 薬師追谷西 追谷長ヲサ

船倉村

谷田	市尾	藤井
タニツチ カイ山 イトノウエ ノリ ヨセンバラ	ヒガシヲ 桑原 キリノキダ マツタケ山 ヤブ山 西谷 カマダ イトジリム モリノキ マルボ アナダ 宮ノ下 ヒガシタニ クルガム木 マルボム木 ヲサキ カキマワリ 久保 マトバ ヤナギタ ウエノダン ハカノシタ エノシ ウマ ヲクノ谷 フシヤマ ムクダニ フケ キシノシタ アリガサカ スガマ スナダ ヤブノシタ イケノ谷	宮ノ本 大谷 キダ タニ バタ ツ、ミ バタ 猫ガタニ 塚ノ本 マカダ トキタジリ タラガイド 反田 曲リヲサ チ ヨコマクラ 上山 平ノ本 クエサキ 高井谷 伊根坊 イゴン坊 赤脊 イロン坊 新願 カイト田 烏谷 札守 池ノ奥 小松原 山添 四浦 ジヲバタ ゼンキヤ 植山 ヤシ 桐ノ木 阿土山 冷水 杉ノ木 三反切 スクリ山 ムネバタ ヒキ 城畑 ヤシキバタ 十三畑 エノシタ セントドロダ キユシチ 茶ノ木 タイトバ 條 櫻ノ坪 寺ノ前 イケダ ミヤノハキ 中島 イシバシ アサゴ ナミキ ドンブケ クラシタ センベ 甚兵衛屋敷 ジヨ コエツカ トイヤマ ハコキハラ カマノタニ 五味田 マカダ ミネハタ 中井谷 タロダ コダニ シヨエンボウ 高井山上 今田 イガミ 前川 ビハノキ 高塚 カラストタニ 三條坊 向イ山 小田口 肥塚 小田 新淵 高井 下垣内 庄兵衛屋敷 ヘイノモ 大蔵 市浦 イノラク 表内 イノモト 上垣内 東畑 クボ 石畑 柿ノ木 天満 天満池 ハタゴ ボケ 畑ノ庄 六 宮木 イケベ 下畑庄 マガリヲサ ホリキリ ヒノ クロダ 鳥井山 墓山 オリウト ミネ垣内 クボノ下 カンチン ドウノウ アカギシ 下川原 曾羽マヘ 川原 ハチノツボ 高サイ 高井橋 ハサダ

附録地理

町村名	大字名	小字名
船倉村	丹生谷	ミヤノシタ ミヤノワキ ミヤノムカイ ケヤキ 北ノ坊 堀切 トノ坂 宮山 氏神ヤシキ ミヤノミネ アンノミネ ミコ畑 クリノ峯 クリ ツルヤアン 上垣内 ヤシキダ 中垣内 福角下 栗垣内 ドノ下 ドノヤマノ下 アサキ山 コダニ 久保 小谷久保 小谷ヲク フ クスミ 八尾寺 トンド ヤブノ下 新田 ハツヲ寺 ダイ イナホシ山下 タイヲセ町 コ シコエ 池ノ脇 フナ山 ヤスミバ ヤタダチ 茶ヤ 久保道方 道方 コジヨシ 西ケ町 ノボリタテ イチバ イヤテン 川原 曾山下 センダンノキ 川原田 川原田上 萬歳添 曾山 六ノ坪 曾山ノ東 サコリ タケノシタ クワバラ 谷田谷 ミセマチ田 ソトバサキ マチガマエ シヨブ谷 ヒロシバ カン谷 小金塚 奥山 家ノ上 坂尻 ツカナクチ 板橋 乳母ガフドロ 五條バナ 柳谷 大崩 川原條 柚地 入森 藤神 井手首 ハサマ下 ハ ザマ 川久保 臺 大井手 川向 ツユザカ 御所垣内 勘定 マジカイ 梶垣内 墓ノ下 ヤヅラハカ マトバ ドノモト モンロ イタガイト 米川原 カリヤ テンマ シヤクリタ ニ 墓ノミネ 堂ノ水キ エンド ミチマタケニシ ハンキワラ 大入谷口 大入谷 松尾谷 大入 テンマクチ 道ノケ カリヤ 二反田 ウスイ 百貫田 ウスイ谷 高ソワ ハゴ ハ ゴ道ノ上 ハゴ上 三反切 猪ノ谷 イノダニダチ ナスビ谷 ミヤソヘ 松ノ下 ウシタニ 一本松ノ下 丸尾 高田下 高田 高田谷 ヒヤ谷 クラタニ 鉢ノ木 向ヒ神田 船倉谷 堂ケ谷 ツカナクチ クロイワ 栗坂谷 笹原 宮畑 ケヤキダニ 畑側 長畑 平田峯 峯 七東田(シチソクダ) 鉢立口 トカヲ打越 トガラ 阪尻ヲセマチ 瀧道 ハゲ山廣芝 新池 峯谷 チヨハンノシバ ウシマクリ 清九郎墓 フキヌキ 梅ノ木原 池床 上池 下池 上池 ヲクダラヲ 松ケ原 ヌタノ尾 ヲシロダイ 七回り ハツリ岩 古コヤ タキノ上 タキノ 上 ヒロシバ 細谷 コイヲ ヨコガキ 明順田 池尻 スバル 札守 鼠坂 深谷 スジカイ 稻山ノ下 コシゴヘ ハサコ

越智岡村		
薩摩	田井庄	兵庫
トヲノマエ ドヲノマエ ツカノモト 西ノ辻 ジンデン ヘエベエ地 角田 カシハラタ コヲトクダ カキダ アライダ ヒヨゴタ 西側 マハリヲサ カシハラダ ホソダ カハサ キ カキゾエ クワバラ ヤシキダ サンタンキリ ナワシロダ マツヤマダ クルマキダ ハダノシヨ ラカメダ イトコ ヤブアト タンクワ シモカンテン ミドロ チヨシデン 丁子田 中テ田 下カンデン ハセアガリ ヘンベ田 ヘンベ田 六ノ坪 五反田 五反田南 ノ中 五反田北ノ中 五反田南ノ上 五反田北ノ上 寺ノ前 上見 アケ見 アゲミ マツノ ホ ヘンベ田 上見西ノ角 越智岡 アゲミ横物 ガブヤ 久保 ソンシンダ 孫太夫田 マ クゴダユタ 屋敷田 百ノ田 北久保 見佐口 柳ノ木 淨土寺 ミサ池ノ上 スキノキ 杉 ノ木 ヲハキ 見佐トンド ハンノキ原 マルヲ 丸尾 見佐大谷 ワキノダ ミサヲ谷 ヨ コヤマ ヨコヤマ西ケ谷 ラクミサ トラシン田 トラシンダ ナベヤマ ナベ山 カラス山 カタタ 高塚 片田 ミチマダケ 東浦 ヒガシウラ 狐塚 エビステン キド 油天 木戸 タバハ ハコゼ ムネバタケ ハコセ小谷 フロ山 ハコゼ西ノ谷 シヨフ谷 風呂山 シヨ ブタニ 堂ノ奥 トヲノヲク 上山 タツミ ヒシリウラ 宮山 向山 向井山 狐ツカミ ナタ大谷 ハンノキハラ	ガブヤ カハノミチ 小イデ ツユノウエ ヒカシクチ キタウラ ニシクチ カナヤ ミソ タ ミナクチ フシノモリ フヂノモリ ヒヨタンタ チゾウノモト ジソウノモト タツミ カト モンクチ カキゾハ ツジカハナ シモツキタ ナカツキタ カミツキタ イケノシリ イシカムネ ハイヤカリ トリキヤマ ナカタニ バハサキ コタニ 宮ノ後 ミヤノウシロ 東ナカタニ ホリキリ アサゴ ヤマサキ イノヲク ハサタ 大タニ 中谷	ヲサイノ ヲサイノ岸ノ下 サンタンハタ イマニシ ウルシハラ カケダ ハシノモト カタヒラ フルカハ ツジント アカキシ 東中谷 東ナカタニ 西中谷 西ナカタニ 宮ノ 下 フジノモリ コイデ ウチヤイ シモガハラ カキノキタエ ネソダ ニシガタニ ニシ

附録地理

町村名	大字名
小	字名
薩摩	ガタニグチ カニカタニ 西ノ谷瀬戸 浄土寺 ヲ、タニ コジヤウタエ 藤井山 キタヤマ 池ノ上 キタヤマ カマノクチ 二本松 北山 二本松 大谷横山 ニホンマツ イシノワキ 石ノ脇 カニガ谷 石ノ脇瀬戸 火振山 大谷 赤土 ヨソハタケ シヨドシ アカツチ ミヤノタニ 宮ノ谷 アミダトウゲ ハビヤマノシタ シモカワラ ハビ山ノ下 ニデノキウ ラダ サカクチ ミスミタ イチバ ヒノクチ ヤフノシタ ムラナカ 村中 サカヤ、シキ ハサコ カドタ ハビ山 ノクチワキ チヤウス山 チヤウス山下 野口脇 ノクチヤマノシタ ハザマ 永明寺 エミヨジ タカツキ 下カラト 下ノカラト 高月 久保ノウ
森	イト 永明寺 ウラ 高月 久保ノウラ 森 ムカイ 森ツクベ ウヘ サルタニ カシタニ 森谷 マスカイ北ノ丁 トツガミネ ヲチヲサ ツクベ 古堂 向イ
車木	内垣戸 南口 樋ノ口 フケ 坂シリ 坂尻 下兵庫 西ノ川 新田 ドンド トント 常明 茶ノ木 神田 西浦 北口 西南 川原 フロヤマ 高田 フトコロ 大石ヶ谷 谷口 北角
與樂	ヨコヤマ サダウラ ヲウラ イナバ タカツカヤマ コダニ ヲギ ヨメダ クノギハラ ナルミ アラケ センブクジ カイマ ヒロバタケ シダマ ソラズダ ドノウラ トノウラ マエダ マヘダ マトバ カイト カイトノヲク ヲサキ ワサダ ウチタニ フタマダ ワダヤマ ワタヤマ タラダニ ナシタニ ウチダニ ナラザカ ナラサカ キド キト イタベ ヲクダニ ヲクダニ ニシヤマ ハチノツボ ヤナス コナベ ニシダイ ニシハツタ ンダ クロジ ウシロタニ カイト ドヤマ ハツタニシタ シヨノマエ シヨノタニ クボタ ヨコヤクラ ナタマ ヒガシダイ カゲタニ クホタ カゲタニ カゲタニ ビハタニ ヲギ タ ヲギダ ヒハタニ ヲギダ ヲギダ ミヤザカ フロノタニ カンジヨ カンジヤウシ ミズ キタヤマ キタイモリ イモリ ウシイゲ イシバシ トモ キリヤマ ウエノカイト

越智岡村

寺崎	越智	佐田
キリ山 ヲクチヤマ シンバヤシ カイフキ ヘカダ ヒワタニ カゲタニ タカツキ イタベ ヲクノタニ ニシンダイ イナハ ヲキ アラケ カイマ トノウテ タカハシ 西タツミ、チシタ 西タツミ タンクワ ヒキダ ヒキダクチ ムカイ カワバタ エンギ ミツトウリ カワクボウ カキタ カマダクチ カマダ 東カマダ カマダコタニ カコタコタニ トリタイ カハクボウ ムカイ東方 ヒカシカマダ ハノツボ ヨシクビ ナガセ カワイ シヤバタケ カキウチ コメヤマ ジノシタ 小池 ヨツモノ サラタニ パンジイ キヒヤマ キビヤマ イモリ キト シラカベツカ ハンシイ フタツカ コサラタニ コイケ ハンジイ ナカラヤマ ヲクカイト ヲクカキウチ ウヤマ ミヤ、マ、ミヤジリ カケヤマ ミヤノキタ ロクトウ ウルシガタニ イカシチヨ イカシマチ メンバダ ウルシタニ ヒワラ イシカモト 三十三田 北代 ジヤハギ ジヤハミ シヤハギ チヤ、ノウエ トウゲ 北代トゲ タニヌケ イワシハタ ミツカ ハチマンヤマ チカザカ スミダ カケヤマ ワキス マルダ シゴカキハタ キタウラ ホリタ 西ノ垣内 ニシバノシタ ウシハギ クボ ゴシヤクダ ニシウチ ヲ、カエ ニシクチ ニシカキウチ ヲクカキウチ 奥垣内 西辰巳 タカイ キタマニ イハシハタ ヲクカイト	ガニタニ 南西久保 光雲寺前 清林 北西久保 大西 上山 前川端 タリタニ川端 クリタニ シリタニ 北寺 北ノ寺 湯屋坂 コキトラ コギトラ 櫻林 狀ノ越 ジヨノコシ トツバナ 小谷 ヲヤシキ 北馬場 馬脊 中馬場 南馬場 高田 吉田 出口 奥ノ谷 伏拜 柳原 上砂 源正寺 尼ノ首 尼ノ首池上 西奥入口 西奥 奥谷 上谷 有南西 奥谷入口 奥谷池上 西南久保 カニタニ	北ノ尾 藪ノ下 セデン 池ノハタ 城ノ口 小谷 勘定 脇ノ谷 橋又ケ 六道 松本 ヲドリ 松ノ下 宮ノナワテ 本堂 柳田 ウスコ 北ノ防 ナコソ ナコゾ ナコゾ垣内 ウヌコ 宮ノナワテ 中オマヘ 印ノ浦 北ノ坊 ドンスコ オドソ ヲトワ 狐塚 猿谷 キ

町村名	大字名	小字名
佐田	ツネ塚 芝ノ木 出口 ドンズコ 幕山 明ノ脇 花ヤ 六道 横ヶ峯 大門田 西連寺 城ノ口 メヅリ キトラ 高山 オビラ ヲヒラ 大浦 池田 カンノ垣内	
清水谷	マ、サキ ヲ、ヤナキ マツカサ カマサキ 大宮下 下川原 脇田 寺田 谷谷 大西 大和浦 中ノ宮 泉田 ヤブノ下 鳥ヶ窪 川原 茶ヤノ上 子田 ミノツボ ナルミ 荒畑 トイデ 池ノ尻 長敷 田中 矢剣阪 瓦焼 大申 赤阪 境谷 廣山 庵山 奥出 神ノ木 右京地 弘法田 勤生田 宮ノ谷 宮ノ下 タカハネ 宮阪 細ノ尻 宮南ノ谷 中ノ谷 楠ノ木谷 神樂田 砂出 出合 坂本 藤並 彌六ヶ谷 久保垣内 石風呂 三反切 石屋敷 見子ヶ淵 杉ノ木園 アセボ谷 北山 イヤ谷 市ノ木戸 作り道 日尾 丹火 眞火 十郎 藪 眞火道下 入道ヶ谷 粟崎 前田 フナト ナ、ミ 溝又ヶ 池ノ側 大井手 風呂ノ上 小谷口 栗崎 三枚橋 青木 ツバイ 谷川 樋口 大峯阪 高宮 風呂阪 向出 寺ノ辻 大ブヶ 炭焼 西谷谷 細崎 ツンボ谷 山殿 大石 森谷 高貝 土山 寺谷 殿山 丹白 藪ノ下 狐塚 堂山 清水 瀧ノ尻 亂塔 横根 大墓 中尾 奥ノ谷 芝ヶ峯 上辻 靈園 藪廻り 井戸尻 牛ノクラ 清水ノ馬場 小屋垣内 花瀬 柳久保 堂ノ上 寺谷 タルミダ 大谷 シヨブ谷 脇戸 ハゴキハラ 水上 谷川 ヨソノ川 彌三郎ヶ谷 ユウ谷 宮形 ヲ ヲカメ谷 吹哨 狼谷 茶園 持出口 持田 二股 平林 冷水 油コボシ 飯尾 東ノ谷 畑ヶ谷 鳥廻シ 西ノ谷 峠 尼ヶ谷 ハゲラ 峠臺 乙ノ口 ナメリ 小谷 茶畑 上垣内 中越 大妙寺 芝垣内 ミツカマ 桐ノ木谷 キノタワ ハネ 岩谷 宮ノ前 ハンノ木 天國 打平 南久保 杉谷 高羽根堂 箱木原 大樹	
下土佐	カナイ フクキ イケノウエ ナガラカ ハリノキ イデタニ ミネサキ ウルシガツジ タナカ ヨツエタ ヨコギタ ビハノキ 下トサ クラノワキ 宮ノ前 ニウジ ヤマザキ ナマコ山 山ノ北 松笠 松原 今井山 河原田 小田中 橋ノ下 舞臺 細田 小殿臺 森木	

高取町		高取	觀覺寺	上島村	
橋ノ本 トリガミネ ミマヤ		クノマエ 南出 ホリキリ 觀覺寺 横北 的場 ヨコギタ カキバナ ミネサキ ロクエ ウジ イケノシリ ウノベ田 マツモト ヲニガハ トウシテン タンコ 浄土坊 キコウ タ ヒガシカシラ シヨウコノマエ トユデン カハリマツ ヤガタ ヒソカイ 川西 七反田 カキノウチ テラウチ 垣内 ウチカイト 北ノ戸 栗坪 眞弓川原 堤下 下取 新川 落田 北口 阪ノ山 宮後 森ノ下 西ノ浦 西光寺畑 ヲクノマエ 藤ノ木 三反切 クボ トリガミネ 新町裏 ヲ、クラ 向ヒ山 ハシヲレ カマノクチ ツクベ ヒシイケ 東ハサ コ イドタニ 廻リヲサ 奥ノ前 池田 ヲノクボ 切堤 堀切 裏藪 井戸谷	二ノ門内 木田屋敷 前部畑 庵池ノ上 三ノ門上 國見 藪ノアヒ 藪ノ間 矢場下 垣下 五太夫 宮ノ下 松ノ門下 禿山 櫓下 新右衛門 古川屋敷 壺阪口外 壺阪口上 壺阪口 竹橋前 竹櫓下 喰達 大井戸ノ上 新右衛門道 上 吉野口ノ下 吉野口 吉野 口外 日尾 塔ノ尾 イヤ谷 高香山 筋ヶ窪 アセボ谷 タツミチ 彌六ヶ谷 袖ノ木谷 高羽根 赤土 堂ヶ原 寺谷 七石 ヤグラ下 芳ヶ谷 尾中脊 上子島脊 クロクシ 牛ヶ脊 アミダ尾 新右衛門尾 堂ヶ原東側 檜尾 青木 シロサカ 城阪 岡口外 吉野口道 下 八幡神社西 高取 門内 櫓ノ下 二ノ門上 門ノ上 站道	天鳥山 マトバ 城ノ前 城ヶ峯 向イ 壺ノ本 イヤノシリ 船田 タクラジリ ホウジ コウネン 出口 ワサダ ヒルタニ 久野 久野谷 淵山 壺ヶ谷 十二雙 一ツ橋 櫻橋 シヨコンデン 山口 山口下 水田 カラスダニ 治右衛門地 庄助屋敷 クルマタニ 奥ノ谷 ユルマ 池谷 手尾 ヲ、スハラ 柳谷 東山 別所 不動森 登リ尾 諸木 岡口 岡口外 横垣 加藤浦 中尾 矢場山 二ノ門外 岩谷 藪廻り 船ヶ築 一升坂 クラノキ 七本杉 高岸ノ上 法花浦市口 法花谷 市口 瀬戸古谷 赤井 高岸 市兵衛屋敷 垣ノ内 法花谷下通リ 法花谷上通リ マタブキ 新開田 法花谷口 アシロ 穴田 岩竹	

附錄地理

高取町		町村名
大字名	小字名	
上子島	家ノ上 犬日田 丸山ノ下 一ツ橋 崩ノ尻 家ノ下 峯 遠山 頭ノ越 家ノ前 遠山井戸ノ上 又兵衛屋敷 奥屋ノ上 裏屋ノ下 屋敷・畔道 坪ノ本 堂山 溝山 茶園畑 郷藏屋敷 田邊坂 札場 田邊坂西 井戸場 古屋敷 西川屋敷 久保川 浦屋 ヲコシ 喜衛屋敷 源吉屋敷 伏拜ミ 屋敷ノ上 柏ノ木ノ下 椿井 ツバイタニ 焼山 八助地 片吹 九一郎ノ上クノヲ 墓ノ下 和佐田 平野 小墓 御隆所 奥ノ原 溝ノ上 子ノ墓 壺池 ウエソノボ 御物見ノ下 御屏敷下 柳谷 マクブキ 宮ノ新田 クロクシ サホヲ 八幡山道下 藏通道上 藏通道下 観音山 モロキ 黒門外 ヲノクボ 高取 イヤノシリ タクラジリ 寺尾 岩子 鍛冶屋谷	小
下子島	フロノシキ マトカ 御殿前 御殿跡 稻荷山 境石 稻荷山下 境谷 堀弓 上藏坊 御殿上 塚穴 赤阪 峯々辻 尾崎 峯々辻 ムネツシ タノ木本 タノ木ノ本 物門 裏屋 阪ノ下 宮ノ前 宮ノ道 鳥井ノ前 西久保 六田 勘定 出口 ウツラ町 宮ノ下 山崎 大杉 鶴岡 鍵田	下子島
壺阪	内護院跡 不動院 大門坊跡 中ノ坊跡 千壽院 大門坊 イヤ谷 寶珠院 中ノ坊 文珠院跡 元松寶院 寶珠院裏 藏ノ坊アト 壺阪官林 千壽院アト 観音下 南法花寺 經塚アト 眞ノ坊アト 南ノ坊アト	壺阪
上十佐	マトカ ヲシラカ	上十佐

阪合村		町村名
大字名	小字名	
平田	サカ スキタニ コモイケ 高松 後之谷 墓ノ下 カラキタニ 取越 ヒフリヤマ 東金池 中尾山 松尾 山田 フノウエ ドジヨ ムクノヲ 講山 南ノ戸 粟谷 ヲリハシ ビワノクビ 中ノ間 四反切 タコマ 宮ノ下 西倉坊 奥ノ谷 岡田 宮ノ馬場 ヒノド 前田 堂山 奥堂越 水谷 東カイト 向イ 東ムカイ 寺ノ下 墓山 上品 イシイ シイレ 黒田 フケ 南戸 林ノ下 山原 高ツキ 兜原 神掛 横峯 アサカジ	平田
阿部山	ヒツカイ ゴンズイ シミヅキ アベント ウエヤマ 藏ノ下 キタウラ 阿部山 ハシタニ クロワハ カミクラ クロタニ ムカノマヘ マヘダ ワタノマヘ ハイタテ キシヨツキ 山ノ下 ホクラ イチノツボ 佛ヶカミネ カイハラ イシツカ シモクラ キリクボ ヲサキ ツマタニ ヒフリヤマ イチノ峠 シマタニ タカタ イタニ ウノ ハナダ ハナ谷 ヲベ谷 カシワケ フダハテ ヲベ ヲクラタニ キミヒラ 宮ノ谷 ホラント 天皇 堤塘 河池 天皇堂 ハシノモト 石ツカ 向井 城ノ前 マトバ 天皇下 九反切 タカシリゲ 岩子 カモダ 城ノ峯	阿部山
檜前	歩性山 平造山 トノヤマ カネイ山 大木ノマエ ウエノクチ サコタニ 池ノ木 ロクドフ 峯ノ垣内 寺ノ木 ト山 ハカ山 ハカ上ノ口 西浦山 興次平山 ムネンジヨウ トフバナ クリツホ カハニシ 大越 カタブキ 西藏堂 古園 チヨアシキ 丸塚 ホソダ ヲリト ツボイ チンヤマ 走上リ 地造田 ヒロゴシ 地造田 カサマツ クレハシダ 大田 馬場野尾 馬場野 ゴンズイ 聖殿蘇 入谷 宮ノ木 湯屋谷 檜垣坂 ウエンダ 彌介畑 藏之上 ヒロゴシ 屋敷ノ藏 同敷 四ツ辻 彦三郎島ヶ 兵助島 九兵衛島 浦 六兵ヶ 衛島ノ 清七島 喜助島 池ノ上 三反田 木工兵衛島ヶ ムメサカ 鍛冶垣内 長治島ヶ 内垣内 和七島ヶ 大田 タバタ 池尻山 中井田 カウヂノ木 庄八島ヶ 脇田 スソノゴゼ 北ノ戸 堂田 トノヒガシ エンボラダ 門田 トニ 万五郎山 渡畔 垣内 ミズハケ ヤマヲサ スミダ ラドノモリ シバノシタ ニシノツヂ チウモン ミヤノモト 蓮池	檜前

町村名	大字名
小	御園
河原	西浦 上ノ口 越ノ前 地藏谷 寺ノ元 カイト 中芝 庄ノ垣内 スンドク 竹ノ下 梅ノ木 垣内 宮ノ下 クボ 五反田 アレタ シマ フロノマヘ 高松田 アリイ チシヤ イ 岡本 アヤメ アントク 谷合 古宮 サカイ ヲサンド 平造
栗原	橋本 宮ノ向 シヤベツト 堂ノ前 小屋 垣内 花添 小屋小路 清水 池田 奥ノ久保 火谷 赤井 尾谷 草井谷 バクヤマ 白井谷 三佛原 淺銀治 石ケ久保 向ヒ山 ハチク ハンド ハブタニ 奥ノ谷 湯ノ谷 大井 辨財天口 ヲシロ 塚本 新界谷 片原 ソラ 太田 カメダ カンジヨ 狐山 宮ノ木 神田 新堀 北山 室本 岡本 梨ノ木 トウユ ヒツメ 辻上 樋口 ツクダ 五反田 ワキダ 寺ノ角 向ヒ山下 コホネダ サクラノクボ シリゲ 西ノ上 スヤ 石ノ木 中大道 宮ノ下 墓山 上山 的場 中尾 ハザマ 木戸屋 石尾塚 コウラク ハシアガリ ガラス クボダ パマ 一ツ橋 山田 塚穴 安徳 東山 鍋倉 ヲギノ 辻 三枚畑 カズラノ木 古山
越	渡り口 高柿 川原田 ツルクビ グリ田 ヒジチ 入口 ツユノ上 鳥坂 赤井 カシヤケ 越垣内 寺ノ下 宮ノ下 小路 大中 西上山 上山 ホウリント 越峠 西山 十七畝町 笠ノ木 内谷 御前塚 横峯 小谷 西小谷 ナハテ フタマタ 東小谷 狐塚 ムカイ 柳 田 長通シ クボガイト 杉ノ木山 久米山 丸山 丸畑 出口 カタフキ クノギ 背山 トウロテ 今井山 山口 八ノ坪 九ノ坪 長芝 ナゴシ 鳥川原 倉持 キトリガイト カ ンジヨ 茶屋前 浦田 岩山 ホシバ 越 尾崎
阪合村	アヲキ カハラ シンデン ミヤノシタ ミヤノマエ ミヤノマ カシバヨ ジヨガハ ナツ メガイト ドウヤマ サイレンジ ドウノニシ ミツ カズマヤマ コクボ マエ ムカイ ヤマ ニシカイト ウエサカ ラウニシ ヒロ タカヤマ ムネ ヲウマツ アナグチ ヲシ

白樫村	大根田	眞弓
石川	ヲ、ダ シタガンツキ カンツキ ウエカンツキ ハシノモト ハナヅ トメント シモノカ イト カネツキ トハチ ナカゼ ムナサカ 向イ山 シロオサ カハソイ イケ田 ウラハ キ ツジダ ウラワキ イデクチ ハヤシノシタ クロダ ムカイ ミナミウラ 中ノ垣内 上ノ垣内 ミズタ 井手口 トキマサ カゲンボ コウコ ゼンタ 池ノ上 時谷 ヨキリ原 イケノシタ ツ、ゴ ヨゴンド エンメリサカ ウエンド タカンボ デグチ クサイダニ ノヤマ サコヤ 平林 コハタイ シツノミノタノタニ 横春 ネマガダニ 大平 野々辻 鐘ツキ 大谷 ブチ山	ヤノクボ シツハシ カニンド センフクジ ヲウタニ ラジリ タコラ ツクダ ヨコベ スマミ シロアト アシアラヒグチ イタイダ ワダ ダイジヨ ハコイシ ヲ、サカベ ヲ ウギ ナカラ クワンスヅカ ノモト スマグチ ゴタンダ ヘツイヤマ ソンダニ ナカセ ダイジヨバラ ヨコマクラ キドノ カネツキ シヨホウジグチ ニシヤマ マツカサ トウ ゲ ウエノカイト ウラノタニ ヲサキ ツウコキ ヲクダニ ハカノホ ブシヨウジ テラ ノマエ ジヨガハ カンジヨ コマユミ ナガバダケ タジリ
池尻	脇田 水通シ 輕古南 八ノ坪 北浦藪浦 四ノ坪 平塚 柳田 百貫田 戊亥角 中橋法 五反田 西畑 ウテヒ 輕古 クレ橋 カタワキ 池田 町畑ケ 池ノ尻 上垣内 ツク田 トイノ 北畑ケ 奥ノ谷 宮ノ前 久保 楠ノ内 川向 ハタケ 谷畑 二ノ坪 北浦 元陣 屋敷 花ゾ山 マナゴ 東畑 東浦 下垣内 狐穴 六ノ坪 青木 七ノ坪 六反田 西川田 東川田 川原割地 眞砂子山 山廻リ 町畑 角田	北垣内 中山 六反田 池畑 花ソノ 七反田 風呂谷 ツ、ミタケ 八反田 北口 森脇 ジヤノヤシキ 垣内口 穴口 カキノキ 浦坊 寒島 宮ノ下 城畑ケ 土城 久保 ツキヤ マ ハシバ 初講田 南口 四反田 巻口 山本 五反田 宮ノ浦 藤ノ木 横井 石ノ木 ムキタ 山ノ峯 ケゴン寺 南垣内 池ノ内 ヘカ田 墓谷 イケバタ 丈六 池首 水通

町村名

大字名

小

字

名

石川	ナカドホリ 水田 石ノ本 ドシテン 四良田 マワリ田 丸田
見瀬	下代 善導寺 東浦 西ノ莊 石船 ハシオリ 葛尾 松ノ本 廻リヲウ 西之芝 沼山 生 ブ川 崩 墓四 水浦 西浦 茶ノ木 八反田 鯉 清水 大谷瀬戸 鳥居木 四反田 枝ケ 尻 ワカクボ 野捨 西役 鳥狹間 コウデン 榎谷 ツボミ 南口 越カ峯 際 藤ノ木 岩鼻 ヌレ石 大堰原 西カシ 八王寺 豊 鹿谷 ヒヨ 宮ノ下 道ノ上 尾古 柳谷 立 會 コノ堂 西京 谷口 サガナカ 古跡 女夫石 宮ノ峯 尾崎 大谷 五百浦 石淵 ア ラボリ 横竹 コノ木 コフゴ 冷水 井手ノ上 北口 葛本 城山 庄屋垣内 大井口 初 音 今河 宮ノ前 前作 天狗田 籠屋垣内 角前 沼 石ノ本 燈明田
和田	マンジユ 南畑 南山 ハツタ 平塚 蔵ノ浦 蛇穴 北カイト 柳田 オホツボ 馬口ノ脇 北垣内 西口 落付 北敷 イヲリ山 池首 金池 城垣内 石田 狐山 火フリ山 南垣内 トノ田 前川 石田マトバ 寺スキ 山添 東カイト 馬カセ 丸山 出水畑 六反田 ド ノマエ 鳥井ノ木 六山 カヤマ 大楽寺 四ノ坪 八王寺 アゼナシ ドロダ 岡リ戸 南 蔵 辻屋敷 カヤマノ下 トノエ 屋敷田 垣内山 巽田 古宮 カシ山
大輕	鏡子カイト 堀 南カイト 脇ノ前 七越 燈明寺 ナルミ オドリヤマ 阪口 的場 堀田 堀畑 並松 主墓 宮北 宮西 城趾 段殿寺 出口 舟原 東口 大川 藤ノ木 北カイト 向浦
南妙法寺	キタノゴ マエダ キタマ、西崎 タカガイ 宮ノ前 下ノ辻 宮ノ上 ドノヲク ナシタ ニ ヨウカミ カイウキ 南崎 辰巳谷 ウルイ 東マタ イシブチ 石船山 カヅララ 東 崎 墓山 シモノダイ 内垣内

白樫村

五條野	塚ノ脇 ツカノハキ 塚ノハキ 丸山 上ノダン ワキノ前 下子垣内 神田 城之脇 城ノ モト 池ノ首 ミノマタ 宮山ヶ原 菖蒲池 出張山 向イ 城山 神之木 内垣内 北垣内 植山 輕出山 城ノ木 鳥取 障子口 ハリノモト グリノモト 北浦 橋ノ本 土城 ドノ 前 萩山 キリガミネ 井谷 サガ中 宮山ヶ原 石段 ミノ又 尾島 折ヶ峯 釜ヶ淵 キ リヶ峯 フタマタ 城ノ脇 掛ヶ田 松谷 別所谷 イシ坂 キリバサミ 向イ山 經塚 大 塚 東又 ヲシマ
久米	下池 エビノコ 川原 コモイケ 渡シ畔 馬場 越前 谷田 機塚 田首 狐穴 墓口 赤 井谷 西浦 ノツコ 大門 古門 垣内 キタ 深田 宮谷 ジカミネ 葛本 東シ 東浦 タイト タイド 茶ノ木 大井口 コノド コノト 藤ノ木 丈六 石橋 仙足 ノモト 井 戸 ホラカ 久米田 ノヲハ 下後 ノデ 久保 芝田 四ノ坪 辻ノ花
鳥屋	西浦 高貝 桑ノ本 南口 見三才 北浦 ナシロ山 川尻 久保 土山 平尾 麻片 舟前 長手山 高松 千塚 板通 尾尻 東浦 四ツ枝 小屋谷 御城山 ウルシハラ シヨブタ 古堂 竹ノ花 八切島 淺浦 垣内 山田 柏木 倉橋 尾ノ上 小谷 北口 井戸田 越前 蓮池
吉田	柳坪 出口 柿ノ木 堀田 庄屋 南浦 板井 兩點 櫛口 東木戸 六ノ坪 酒屋垣内 ノ ゴヤ 川ハタ 鳩ノ尾 四ノ坪 西ノ辻 五ノ坪 ハチコ 持田 七ノ坪 蔵下 新林 道ノ 脇 蔵ノ内 赤阪 尾越 石倉 夜通 青木 上川原 下川原 眞見山 新開
畝傍	峯山 廣院 万願院 寺内 上垣内 下垣内 宮ノ后 前田 堤垣内 鳥ソネ ベモノ木 ア テノ木 山谷 西垣内 竹ノ花 池田 宮前 イガタ インデン 車ノ坪 山森 阿テノ木 川端 塚ノ木 羽子穴 湯料 野テ 島田 寶賀 中田 高ヲチ 雷光 高島 西ノ辻 狐穴 長山 インゲン谷 西ノ芝 深田池 蔵ノ内 ケンキウ 中野 洞井口

附錄地理

町村名	大字名	小字名
白樫村	四條	西マトバ 二反田 シナノ 高木 井手ノ上 小條垣内 湯屋垣内 里ノ垣内 右久米 正ノ坪 西アトウ 東アトウ 金ヤケ 八ノ坪 下太郎 砂入 院田 橋田 東ネツキ ツキ田 宮ノ坪 宮ノ木 ツマ田 北中屋 定ノ坪 寺田 クケント ウルシハラ 田井ノ坪 二ノ坪 東田井坪町 イツボ 東五條 西五條 クルヘ 田島 浦畑 中殿 小瀬ノ内 小瀬ノ垣内 平ノ久保 東ノ久保 戀中 西平ノ久保 邊方 セトノ口 西平田 東平田 ネツキ 東ネツキ 坂田 貝森 三枚田 春日田 南中屋 東マトバ 南浦 香田 柳田 念佛田 ミソノ 廣田 脇田 佃田 七反田 川登 三條垣内 一丁田 石小田 大田中 八木田 市ノ坪 六ノ坪 佃 佃コト田 九ノ坪 塚ノ坪 大木前 五反ヲサ 畑田 角田 大木ノ内 西マトバ
	大久保	イカタ 竹田 脇ノ垣内 角田 門ノ前 ヤバタケ 川端 西浦 カツラ田 イケタ 寺田 生後 洞谷 白土花 ソワ 水落 ムシ 瓜ケ坪 新シ 下座 北宮ノ垣内 トノ垣内 ナシ モト アキトモ カナヤケ 道田ノ川 畑畑 西口 天ノ藪 奥ノ垣外 東垣ノ外 南垣外 西垣内 南口 東口 垣添 三ヶ久保 西久保 久保 楠ノ上 西北ノ莊 坊田 亥ノ子田
	木殿	ドノマヘ 井手尻 五反田 井坪 一里山 唐屋 下唐屋 瀬田 棟坂 東油田 油田 新川 上唐屋 ヨコマクラ 念佛田 西口 上八反田 金池 ソナダ マトバ ドコダ カキバナ 南垣外 トン田 ハリマ 東テ コガイト 春日田 ハヤシ 脇田 下脇田 カエト西 カエトカエト北 カエト東 東ワキダ ハネ 久保 千原 ミノダエ 備中 トン田 下八反田 イジリ 北垣内 北口 北垣外 宮ノ北 堤東 宮東 ハカ東 川原 ハカ西 サミイデ 川原田 東垣内 中垣外
		下ヶ石 笠田 北カイト 西口 中垣内 西カイト 南垣内 竹ノ内 ソノ 古ドウ デヤナ キ牛買田 三ノ坪 二ノ坪 我孫子 ミヤノモト ミヤノワキ モンノワキ 出柳 イノマ

高市村	岡	御坊	田中	和田敷	山本	洞	四分	
	西口 犬ヶ瀬 三反田 エビスノコ 佃 川原屋辻 木辻 大仲 橋本 サガシ水 サカシ水 角田 稲葉 川戸 大西花 アダキ 下川戸 ゴミ田 出水 林 西フケ 道場 木ノ葉 横 枕 大際目 東横枕 黒添 井手ノ上 池ノ側 立神 大崩 森ノ木 戒内 フケ ナシ木 井出ノ上 石田 井戸コロ ミロク田 フケ辻 佛田 足洗イ 加茂 万福田 仁田 北口	佛生 九ノ坪 車ノ坪 八ノ坪 川口 大道 中町 南町 西口 田出井 塚ノ木	畑田 上川原 黒田 東黒田 西黒田 四反田 西百田 東百田 念佛田 新川 東北ノ莊 東久保 下川原 出水バタ 講田 淵カエ 鳥ノ久保 ウルイ田 石田 カヘリ 上垣外 下垣外 川向 道山 南垣内 高野田 七反田 上高田 上高谷 下高谷 千源 西垣外 井手畑 北浦 高谷 辨財天	星 唐屋 壹里山	クロ田 四反田 大午房 神子田 下神子田 六反田 柳田 敷井出 横杭 上河原屋 上唐	内 浦小路 アヲキ 西ノ谷 宮ノ上	新木 上ノ久保 ツホネカサ 東ツユ ツユ ウルメ 西ノ谷 北ノ辻 アラタ ブタイ ツ ユマダケ ツユ東 ミサンサイ 出口 イヌイ 垣ノ内 洞谷 生後 川端 白土花 ソワ	チ カンデン サゲシ クハバラ 西錦田 東錦田 阿部田 ミノデ カキタ 竹ノ内 ハビロ 八ノ坪 五ノ坪 下五ノ坪 猪ノ町 九ノ坪 松岩 川原田 平田 桂田 脇田 東今度 西今度 南宮ノ垣内 ビハダ 宮ノ後 内ノ垣内 ホリ田 細黒 松原 ハラ田 クラモチ イセ田 リウケ 細川 ウスコ 北垣内 内垣内 寺内 ノ田 レイデン 南カナヤケ 高ツラ 法事 佛生

町村名	大字名	岡	島庄
小	字	穴口 講田 東フケ 彌勒田 ミコク田 金田 八條 丸山 サイドウホ 酒谷 坪田 酒舟 酒峯 クツバサミ 門橋 ビワノ木 岸井 門ノ脇 烏トヤ コンニヤク塚 奥平井 黒石 宮ノ下 小谷 出口 山ノ田 蒲葦塚 阪峯 谷田 百菊 起シ水 丸尾 向イ谷田 向イ谷 奥山ノ田 外山 押谷 小家東 野山 水谷 大向イ 南原 ニヘツイ ムクロウジ 別所谷 新聞 成田 龍馬阪 荒巻 ヨシケ峯 水落 庄屋垣内 城山 堂ノ阪 風呂ノ上 米摺 才 ヘツイ タンゾハン 観音道 又六垣内 峯ノ垣内 上ノ山 蕪阪 中ノ町 ユヤノ谷 奥根 垣内 花井垣内 市場 裏畑ケ コシクヤク塚 新聞	犬ヶ瀬 百菊 垣添 角田 久次郎田 苗代田 西ノ辻 蔵ノ上 河原井手 蔵ノ上西 鍵田 長田 川原井手 南口 佛師田 文珠辻 ホウリ口塚 ウルシハラ塚 庄屋田 川段ケ 水落 梅ノ木 筆鳴海 樋口 八丁 八條 丑ヶ下 ナベ田 又左門地 へカタ 葦屋田 枕田 大崩 井手ノ上 野々垣内 知事 島崎 坂口 扇田 塚ノ脇 キヘ田 白狐 平尾谷 大畝 町 細通り 長通り ナルミ 池田 坊ノ前 通り畔 下殿 寄口 宮ノ下 甲殿 竹ノ島 苗代 寺前 中ノ町 岡口 向山

高市村	上居	細川
	茶原畑 平四郎畑 平尾垣内 垣内 宮ノ上 善吉田 谷田 堂田 ハチガシリ 鯉ヶ尻 大 谷トヤマ 水マカセ 大川 牛塚 丑塚 高附 小谷 へカラサ 杉ノカブ 柳ノ内上 柳ノ 内 忠平畑 荻平畑 ハタバタ ジヤク口畑 トンドバ 法梁畑 馬ノリ 西蓮 ヲハナ 石 前 道ノ上 観音畑 並松 土取場 宮ノ下 イヲノ前 水マカセ 二本山 ヲサン ト 初王子 西ヶ峯 又子 エビス 山谷 牛倉 廣芝 ウスモト 池久保 辨慶石 五位山 ミヤマ ミキシリ 松山 石山 ナタバタ 善平畑上 善平畑 三郎畑 東垣内 ヒハタニ 八平畑 内垣内 中垣内 源八畑 堂ノ久保 彦五郎畑 ヲハイ 鐵鑪塚 北谷 墓ノ上 上 宮寺 上山下 上山 上居家 地蔵元 トヤマ 小谷 中山 カンヤウノ下 中ノ谷 古墓 ケラガ谷 小西 笠山 小立 カシヲ田 水任 ウラヤ田 杉カブ	馬場頭 クワエ田 ハラシリ シリケン ナカイ 西切 五代田 五ノ坪 クミタ サコダ 道ハタゲ 水上落 ヨシベ田 長畑ケ 組田 狐山 後組田 尾ノ上 文六畑 脇田 折松 橋詰 神田 四條田 石田 シリケ 貝成 井戸ノ尻 梅ノ木 ヲサン セハタケ ヲサン畑 池ノ尻 ミカンバタ 前田 ナガマヘ テバナ 三川田 石尾 大シヨゴン 出端 ヒムロタ ニ 氷室 一ツ橋 長阪 ホラズミ 下豆田 ヤケ山 瀧ノ木 冷水 宮室 地蔵ノ木 古墓 ノ奥 西山 勘定尻 堂々 チハラ 岩郷 平山 クラガリ 古墓 チカラ谷 五井 アマゴ セ 七廻り 棚本 ビハラサ カナヤケ 中島ヌタ 吉原 小鍋 平ノ木 東平ノ木 古田 川合田 壹畝田 下フケ ハシタ 上フケ シンゴロ谷 僧田 枕田 千枚田 ヒハノ木 ビ ハヲサ ミサンザイ エビダ 馬場田 清水 ホラジ 増田 ハタコ トビス 舟ヶ久保 尾 曾向 チハラ 尾川浦 マサキ ナミノキ 墓ノ谷 長谷 焼返シ 高サリ 笠松道下 長尾 小中屋 立廻 ヤケ蔵 大西 赤坂 小谷 古岡敷 イカキタ コトヒキ 東谷 櫻山 池久 保 押谷 丸尾 辨慶石 北ノ浦 出塚 ミロク コトヒキ 拾貳所ノ下 橋山 樋口 峯ノ 垣内 石木 内畑 辻ノ東 中塚 道ノ下 神ノ木 吉市 石尾 イモタ 垣内 辰巳畑 フ ロノ坂 寺尾敷 堂ノ西 小西 墓ノ上 打アゲ ジヤリ 茶園 新堂口 外場 柳田 ヲハ

町村名	大字名	小字名
細川	イ新堂 戊亥垣内 谷合 サキ子田 ミキ シンガイ ヲバタネ サキ子ハタ 八王子 山 谷 エビス イガクホ 西ヶ峯 又々 ビハノキ ホウズミ フロノサカ ミヤリ 石塔 立 籠 狩人 イノコイシ ヲトウラ ヲト山 カンジヨ ミサンザキ 四石芝 ヘノモト サカ ヤ 新五郎谷 五位山 ミヤマ 地蔵ノ元 小谷 中山 カンミヤウノ下 ケラガ谷	
上	ミサンザキ ビハノキ 四石芝 ヘノモト サカヤ サンジヨタ 八タコ ゴリヨタ コサカ サンボカキ 三ボカイ ヒムロ 前川向 シンゴロヤブ ミヤノシタ モコンノモリ ムカイ ミヤサカ シヲツボ タイラ ウシカクヒ カキノキ ヤフソエ ヨシロハナ ハハチヤシキ トントハ ヘジロヤシキ ヲサキ コリサカ アノタニ アタゴ ヒラキシ キツ木山 ヒライシ 狐山 ツジト ナマハリ 七廻り 茂古森 ゴミノキ 大谷 カマガタニ 内畑 エノヨコ エノウエ ゴベノウエ カハバタ ムメガタニ ナカヤマ サキノクボ ミキヤノ マエ 梅ヶ谷 ヲタニ ウチハタ ヒカシウラ ヤマクチ 山口井手ノ下 マクチ コシベ 宮ノ前 ヒカシカキト ウキチヤシキ ヒガシガイト 東垣内 ヤブソエ ヤエヤシキ ニシ タニ アサスケ アサツケ マツモト ウツタ山 ハレツマツ タキノウエ タキト ヤクシ ノシタ タキド キド ヲカミ ユウノキ ヤボサ ヲヤカイト ヲヤカイト ニヲノヲ タジリ コシベ タチリ アヲホリ ドノニシ トノニシ シモカイト ハカノシタ トンジ 山 トンチ山 長谷 ウシキシ ナカタニ タカジヤリ ヒノヲク カマクラ 墓下 ハカノ ウエ セトヤマ ハカ ハカノシタ カシラマエ アンノ垣内 下垣内 シモカキト トンド ハカトタ タヅラ フキヲ タスラ ナカヤ マトハ セト山 新五郎谷 シンゴロタニ 新 五郎谷クチ フキヲ ヲニシ ガクラン ヨジロノハナ クリノキサカ アヲタ シソヲ スキ ジヅヲスキ ヲクノタニ川端 奥谷 ヲクノタニ ヲサキ ヤブノナカ ヤクラ ミチ バタ ヤヅラ ビンタニ ヲクノタニ山際 ムカイサカ ジンジハタ シウスケヤシキ 三條	

高市村

冬野	尾層	田
久八地 鐵砲塚 シライ シライタニ 青田春 ハカノツシ ヤマモト 天野 矢倉 ヤヅラ 立山下 立山 玉垣ノ内 ハナセ ウバツク 堀ノ坂 久保 井戸ノ上 家ノ下 寺ノ下 又 平屋シキ 中ノ垣内 トントハ 宗右衛門地 サンシヨ 中垣内 牛倉 下垣内 南ヤシキ 松場 大石地 宮ノ前 家ノ横 ホシバ 富山 上垣内 大道ノ下 ハシノサキ 家久保 吉 祥谷 丸山 堂ノ尾 南面谷 不動谷 コンヒラ山 マトハ 下マトハ 橋ノ崎 シゲミヤ マ ミヤマハツレ 中ノ尾 藪ヶ谷 ヲンジ 井戸ノ谷 イト谷 サド谷 ホリ坂 井戸谷	燒藪 石塔 立籠 狩人 イノコイシ サイシヨボ 新子屋 山ノ下 カノコ松 イチベダ ゴリヨダ ゴリヨダ北 コサカ イシバシ 井手合 三坊界 井手上 ヒラギ山 ズコエ 谷 田 ハカノ口 クエンド ハカ山 ハカノ下 キデノ下 藤濱 廻り尾 コナルミ コナルミ クチ ヤシキノ北 馬場 ヤシキノ西 大ランジ 西ヶ谷 タスキ山 中山 壹木杉 中平畑 藪ノ下 清三真畑 シヨメン 堂ノ本 上久 庄司前 尾上 堂前 南ムキ 中屋 堂ノ前 儀平畑 源次田 畑ヶ田 大畑 奥井 奥ノ谷 彌三山 山上方 トラ山 ヨモクロ ヲクノ 藪 マサキ 大ボツ 下り松 横柿 片原 宇右門山 高ツカ 松原 ヲボシガタ 栢山 ヲ クキ 新スケ 北ノ畑 ヤスケウラ ズクシガタ コタマ 上山ノ上 上山ノ中 上山ノ下 上 山 寺畑 辻畑 ヤスケウラ 枕田 大木 宮ノ下 彌市真畑 梨子ノ木 屋舖ノ下 山ノ下 屋舖ノ上 北ノ上 尾崎 市助畑 カン平畑 ジンスケ サガシ 五平畑 八子 堂ノ本 大 畝町 ヲカメ田 ワサダ カマタ 北田 北フケ 一ツ田 フケ 井手ノ上 鍛冶屋垣内 頭 ゴエ ズコエ ズゴエ ナワテ 宮坂 水落 東ノ谷 熊ヶ谷 長尾 黒岩 丑ヶ首 七マハ リ コシ部 ホシ田 ヤケ藪 墓ノ口 枕畑 屋敷ノ上 頭越 繩手 サンジヨタ ハタコ ホヲジ 尾曾浦 マサキ 小中屋 サシテ	田 モコンノモリマエ アタゴタニ ツシド キツネヤマ カハマタ シンコロタニ 山口 ヒノヲク ヨシロノハナ ヲカノタニ タツラ キト

附録地理

町村名	大字名	冬野
小	冬野	トシジ タキンド ヲトウラ ヲト山 カンジヨウ サシテ マサキ クマケ谷 クロイソ 白井向 玉垣内 ハナセ テンノ 山木 墓ノタウ 白井 カヤノキ下 ナカタワ 中タワキ ヤクホ 青田 フシヨカミ 屋敷下 屋敷向 下山 茶屋ハナ 久保上 大石蔵 道下 ラン ジ マトバ 白井谷 堀ノ坂
小	冬野	ヒウラ カンミタイ 菱尾谷 ムカイ山 イシデラ ヒエ田 イハチダ ヒノツメ トジロ田 ナガイダ ウスタケ 南ノダ ユノクチ シモジキレ 向井山 ゲンシタ モリノヲ モリノ ヲ上 ムカイダ アミダ タキヤマ カマリヲ ヲリツキ ヨコタイド クドイシ 山上縁 ヲモタニ 桂ヶ谷 シトラサダ トラマツダ 向井田 フケタ 高嶺 ナメラ ナメラガ谷 篠ヶ谷 カマトヲケ キタノタハ コケタノシタ コケタ 北ノ谷 北ノ谷道下 又タカクボ ヒヤミヅ アシコジ ロクロカ谷 コンボガラ ヲガミネ クルミカ谷 ケヤキカ谷 ヲカミ ネ ケヤキ谷 四十八鼻 慈明谷 百官ブチ 百官ブチ道下 加畑ヶ フケタノ上 ウトラタ イ ウトラタイ道下 トチノキ ヒルバ コモノキ ヲモノキ トヲトラ ナカノタキ ヤク ロ 中ノタキ ミスミヤ山 ヲカミネ タヌキアナ クロクノ マミカエ 桐ノ木カ尾 シヤ ガクボ ヨモコロ ハンカ坂 シコクダニ ドヲトラ 梅ヶ平 ジコクダニ チヤコツクリ 松ヶ谷 ヲ、タイラ ミノ山 ヤナキカブ スノカラ ジヤカクホ ヲ、タイカハラ モリ ノヲ ネヅミクイ シロノシタ シロヤマ ミスノミ カタハラ道下 カタハラ ツリカホ セタカ 石ハラハタケ ナシカクホ ナシカクホ道ノ上 シラミカハラ ヲ、タイラ シウ ミカワラ アマツカ谷 カゼキレ アカハネ アマツカ谷ノ内ミヤマ トン谷道下 トンタニ ヒルバ 井ノタニ 井ノ谷 イト、谷 牛ヶクヒ ヒシタニ ヲ、ムカイ フエノタニ 古 イド ヲクホシモノキレ ヲクホ上切 モリノシタ リキツ マコクノハタ リキメ 力馬ク ホ イドモト ヲノヤ ドンシヤマ 古井戸 ウノハル シモノヲ エノシタ ジイラノクホ

高市村

畑

キツトヲジ プンシロハタケ キツトヲシ ハリノキ 冬野谷 ヒシタニ キツ木カヲ ハツリマツ リキメヨ ホシハ サルカハラ ヨコテヤフ チテホノシタ チテホハタケ イ シキヨハタケ ウエンタニ ヲサカノセ ヲクボ ウシノハシ ユノシタ 南ヤシキ 南ノタ ニ スコントウ キツ木カ尾 トチカフチ イセコ谷 ヤヘダ イハノシタ 南ノ浦 カヘ ジハタ ドノヒガシ道下 ドノヒガシ ナカノサキ イハノシタ ヒガシノクボ イエノニシ ヒガシノウラ 申ノ咲 イセコ谷 ハナカケ マツノシタ ニシノカイト イヌサクラ タイ ラ ヲモタニ ヲモ谷 クドイシ 下クボ ウラノシタ イワツジ ムカイラ キウヘイハタ フジノカミ テラニシクホ テラノシタ イトノクボ センヨヤシキ ヲ、サカ ヲ、クボセ ヲ、サカミチノウヘ ヲカメヤシキノ上 ヲ、サカ道ノ上 ミヤコ ヲ、サカイトノ上 サラ メカイト ナカヤシキ ハカノシタ シウヘイヤシ イエノウエ イワツジ イワツジ道下 サカノカイト イワノツジ タキツボ 下クボ シロコヤシキ シモクホノウヘ シモクホ ヨコタイラ ヨコダクド ハカノヲ南クボ サカノカイト ハカノヲ サシテ サシテ道ノ上 サシテ道ノ下 アシガタニ ヨコ大道 ヨコノヲ サンタラヤゴ モリノヲ カシノキサカ ケンケン石 梅樂山 チハラ チワラ ケンケン石下 サシテ道下 サシテミチシタ ヲクチ ワラ チワラミチウヘ チワラ道ノ上 ヲクチワ道ノ上 ヲクチワ道下 サイモクノ 子ワ ラノハリバタケ チワラワトガミネ ソトガミネ ヲカモトヤブ 岡木ヤブ シロカイト ミ ツトリヤブ イエノウラ カサガミ ジウニソウ カイトノツジ ヒガシテ イエノ下 ヒガ シノシタ ウワノカハ イエノシタ トヲロクカイト ヤスンハラ 南田ノ上 坂ノハナ ヒ ヤミヅ ヤスンバヲ サカノハナ マトバ エノシタ イケノカハ マトバシタ イヤノサカ フロノモト テラノシタ クボノウエ イケノウエ クボノウエ ヲバタケ トヤマ カンジ ヨウ ウルシガクボ クボノカイト 西久保 ナカシマ フロノモト エノニシ イドノクボ ケンロクヤシキ ハカノタワ トジロカイト イドノモト イエノシタ シキデ ハカノシタ ヒヤミヅ辻 サカノハナ シリゴシ ヒエダ シリコシ 石寺 カイバナヲ ヒラモト カイ
--

附録地理

町村名	大字名	畑	入谷
小	字	名	
		トハナヲ ヒウラ シニギカイト ハツオシ キドグチ ハツラジ ヒラモトドセンカイト ヲ、サカ ドヤマ 阪ノカイト 平木ノ脊 カミシタイ イシデラ モリノヲ タキヤマ ヨ コダイド キタノタワ ラカミネ ダイラクボ ドラドラ エノシタ リキメクホ キツトヲ シ キツネトヲシ ハツリマツ ヲ、サカノセ ヤハダ 東ノクホ タイラノクホ 松ノ下 ヲモタニ 岩辻 久平畑ケ 寺西ノクホ 藤ノ上 堂取道ノ上 ヲ、サカイトノ上 サラメ垣 内 阪ノ垣内 アシガ谷 サシテ道下 八王子 ウハノカワ ヒカシデ フロノモト 池ノ上 エノニシ シンサ垣内 シリゴシ キドクチ カイバナヲ ムカイヤ	イタニ コラスケ エビダニ ミヤノウエ キタカシラ ツジダエ ツジダエ トノモト ノモト フナト ノンモヒキ イワモト シンタニ マツタ ドノカイト ナガタニ ハヤシ タ ヒウラ アマゴセ ハカヤマ ソウタ ムカイヤニ キクガサカ ヲジリ アラボ ドサ カ ワタリヲ エノシタ ミナミカイト ノキ ヒガシタ イノト ドノシタ ナカントム カイラ アラボ オヤブ ヨコカキ トケタニ シヨヂン ナガラ クラヲロシ オウタニ イワゴタニ オウタニ サルワタシ ヒガシタ オウジヨ キタンタ ノホリヲ タノキヤブ タノキタ イワヤ カヤノタニ ダケ ビカシサキ マイデ ウライド ニシノタニ トウド フロノタニ イノク ボンノウラ コンノウラ サスカノハナ マンゾ ヒシヲ ヒジオム カイベシロ イシツカ クボ エノマエ ツジヤ ホシバ サスガノハナ アツカサカ テラ ノシタ ツジヤ エノクボ トホシ イシツカ イマキタ タテヤ エノマエ クワハラ エ ノウエ クワハラ ヲイト クエノカシラ クエノカシラ エノウラ クエカシラ フンソ クエノカシラ ハンヤ ツシヤ コラスケ イスケハタ エノシタ ワラクスベ シンタニ ハカノタニ ホリサカ シモクホ マツカサ ナガタニ ノキ ナカント トゲタニ ヒガシ ダ ヒカシサキ フロノタニ パンヤ ミナミカイト アマゴセ ツジヤ ホノサカ ツシタ

高市村

高市村	栢森	稻淵
イ トケタニ ナカタニ ムカイヤニ イワヤ ウライト マツカサカ ワタリヲ ツジタ ヲタニ	ミヤマ ナイタ カンジヨ タナカ ウエタ ヒロゴセ フルワタ ミヤノカエ ハタ、ニ イタンタ ツシタエ ミヤコノウエ ミヤノウエ シンタニ フナト ハイド カケ ツジタ エ トヲノウエ トヲ テラタニクチ ハカノタニ イシヤ ホシカワラ シロカイト ヒヤ クカリ シロサカ ヒクタニ タキンド ヲ、ドバタ ウシヤクビ トヲタニ スキヤマ ミ ゾシタ スヨ ノボリサカ トンビヤス メブチ クワハラ シンタニクチ ヤケスケ コト ゲ トヲケタニ フネガヲ イトノクニ アブラハタケ アセカラ ヲクノタニ ホリキリ センゾヲ シライシ エノムカイ イモガトラケ ニシカイト トンドバ ハカノヲ トラノ ヲ アミダドウ フド ンメカセ シモヒキ	向イ山 向イ田 西ヶ谷 シヨブイケ 細田 惣作 センサイ 杉間 松ヶ崎 梅ノ本 太子 ノ向イ トリアゼ サイカン カキハタ 河原田 拾束カリ カイ谷 ツカモト ケナシ山 フクロ カブト アカサビ トヲゲ 九十分 淵坂 サンマイダ ババノヲ 馬回シ イバラ 谷 西ノ坊 セイサンツカ クラクラ シヨノハナ ヲキダ キドノ谷 ヲサキ カンシヨ タラマエ ツハイ イトノ谷 ヒノウエ ハセコタ 前ヶ谷 サシ山口 ハクヤ ミコシハ ナヤマ 水谷 サシ山 タンタン タキノハナ ヒズミ ウバハタ ジンテン ムカイ 宮谷 向イ 小谷 シンシヨウ カマミタチ カバミ 井ノ口 トヲコ ハンサカ トリノモト 宮 山 ミネノカワラ トラ谷 柳谷 タキント アマカハセ 宮ノワキ ムカンダ コウデン コラト山 大石 櫻谷 榎谷 尾上 ユヤノ谷 松尾 寺ノ上 コヤ垣内 トバダケ ウスヤ 谷 ヲシヤ谷 ハナヤマ 上山 ナツメハラ 花山 オンタミチ 奥ノ垣内 アントカ峯 平 畑ケ 清水 チヤノウラ 垣内 上ノ垣内 今バタケ ソノ ゴミ シノキタ 小屋垣内 ウ スヤ ウエノカイト 辻堂 ヲバナ 中島 前田 河原 トヲケイ ツバイ マエダ 馬場尾

附録地理

町村名		大字名	小字名
稲淵			
祝	坂	稲淵	トヲゲ
戸	田	石橋 佃 カナヤケ ドノウラ アナグチ ミナマダブ ユウリヨデン 北垣内 ジンデン 太子ノ前 ハレ 墓ノ下 カミノキ デハナ ヒヤクガリ カハラダ ハチガツボ シミズ マツクボ 墓ノ上 ヒヤミズ サヘタ ミナマダゲ 西谷田 神ノ木 アナクチ ハナヅ 東 谷田 丸山 アセクボ テラハナ マトバ イトノシリ デグネ 古宮 辨之田 柿ノ木 西 垣内 マエダ 奥ノ谷 アンヤシキ ヲヤンド 寺ノ上 タヌキアナ 池ノ尻 センホテ タ キ 弓田 カノマエ ハツフセ バ、タニ ナルミ 阪口 東垣内 ヲトヤマ アヲナシ ウシカミ ミヤコ ユナカヤ タミテン ユナカヤ ロクテン ヨエン田 クボ バマカシラ コニシ スシタ イシカミ コヤシリ ツボイ ミモゴロ ミヤノクチ ミヤノ下 モチダ シヨコタ クミタ ニシダ カミノクボ ヲクノカイト タロシ マツハラ ミヤ ジヨゴハ ナ コハナ イド カイナリ タイラ ヒヨ タキノモト イセタニ コヤノハナ タチモト ジンタニ トアミ ドアミ ヲンタハナ クロタ タツカタニ テラハナ 百菊 ヒヤミス カキノキ ウシカミ センボラ 瀧ヶ谷 シンタニ クロダ ツホイ 松原 コヲカヤ タツ カタニ 坊谷 堂ノ上 谷田 出鼻 センシヨ ヒトヲサ田 文珠ヶ辻 イケ田 ヨセリチ 阪口 長通り 梅ノ木 ミセマチ田 ナルミ 水 入 北口 蔵ノ上 戎ヶ谷 牛ヶ下 樋口 上垣内 ナハシロ田 下垣内 タナカ マイノカ イトクホ 前ノ垣内 マイコダ ナツミ田 ミヤコ アオナシ コヤシリ 坊谷 堂ノ上 堂ノ前 立石 石橋 佃田 北ノ垣内 ヲナツカ アベノ花 金焼 谷田 大子前 ハカノシ タ 墓ノ下 出鼻 カンジヤウ 南田 神田 水入 川端 石打 小泉田 マガセ 向田 木 ソ田 三反田 袋阪 マトバ 西ヶ谷 センサイ スキハザマ 杉間 ヲホイ カブト ドデ	

高市村	
野	橘
口	
堂垣内 下堂垣内 堂垣内西ノ辻 下茶屋西ノ辻 桐ヶ峯長畑 奥辰 奥殿 北垣内丸蔵 油 屋 北ノ垣内 冷水道下 冷水道上 荒堀 井戸ノ上 登り阪 木トラ 堂垣内親地 備後登 り阪 北浦 僧ヶ谷 木戸口 宮繩手戸尻 宮北戸尻 宮ノ北 廻石 鬼雪隠 刺水 眞弓田 宮西池上 宮西地蔵芝 宮西 雄子久保道念 尾崎 宮西道北 尾墓 宮北中七島 宮阪 宮 東 宮原 宮前 宮ノ前 雄子久保 雄子久保長島 雄子久保岩屋前 宮棟 ゴサイト 戸尻 戸尻川端 戸尻竹下 ヘカ田 ヘカ田道下 カシ上水通シ カシ上 眞弓細田 水通シ 石斗 物 眞弓田細田 眞弓田芽標 阪井田 メクノ木 川添 樫ノ尾角田 カシノ尾 浅島 カシ	龜石 西久保 大辻 ムクノ木 神田 ヲジガミネ 西ノ山 ムネノ前 ウルシハラ カタキ シ ダケ ヤマ 桐ノ木 キリノ木 黒ナシ 石ノ戸 ツク田 廻りヲサ 上ノ坊 片岸 林 之前 上居田 ツクタ タニ 谷 ムカイカイト アヂ、ムカイ山 向イ山 山ノ下 ムカ イヤ山 ハツヲヂ ハカノ谷 墓ノ谷 湯屋谷 内垣内 出口 上ノ垣内 下ノ垣内 コロシ 並松 ナミマツ 藤ノ木 西ノ門 寺ウラ 水通 五枚田 井戸田 高畑ヶ 新田 門前 サ クラ田 古屋敷 センダン田 道ノ下 カコダ 北ノ門 苗代 宮ノウシロ 東門 長通り 辻花 ゴミタ ビヤカセ ヲチヲサ 九拾歩 ワサダ エボシ ハサダ 茶屋前 ヤブノシタ 中切 常門 ナハテ 中道 三六田 戸出 山花 榮谷 井出口 岡山 中山 上ノ段 池ノ 下 念佛堂 往生院 佛頭山 池ノ側 ヲカ山 ナシノ木 イケノカハ ケ、ノカハ 大畑ヶ 大石ヶ谷 スリクボ ナカゼ 丸山 辨才天 コシマエ 池ノ上 スリクボ谷 火フリ山 火 振山 傳次山 初ヲジ 山ノ谷 ヤフヤマ 天堂前 廣芝 ミハ山 ムバカホトコロ 松原 山アヂ、林ノ前 榎田 センダンダ 蔵山
ン ヲオサダ サイガンボ カイダニ カイ谷 ハナ田 ヲコミネ ヲホキ 大井 彌四郎畑 永谷 橋臺 ザクロ谷 北原 橋井手 キデノ上 川向 ハナ畑 家ノ上 牛ハキ 西田 川 バタ カイタニ	

附録地

町村名		大字名
高市村		野口
川原		立部

小字名

上稻葉 垣辻稻葉 稻葉山上 稻葉 三所田 久保垣内 弓場前道下 垣内辻駒場 垣内辻片
 峯 片峯 弓場前垣内辻 弓場前片峯 弓場前峯畑 弓場前内島 弓場前園掛 弓場前 南垣
 内 吹山 弓場前掛島 内島 屋鋪上 里中 寺垣内 内島寺阪 北垣内 植山 寺阪

辻ノ端 堂ノ前 門田 島井戸 ロウモン トナミ 馬場 中垣内 西垣内 上山 南角 大
 西垣内 成亥田 大辻 天ノ垣内 小向井 龜石 ウルシハラ ユヤミシリ 坊ノ前 長通り
 百合ノ内 堤添 百合尻 下ノ茶屋 石井 カイノモト シヨブイケ シヨゴテン 山田
 山田垣内 小山田 小山垣内 シウカラ 五ノ坪 西福寺 ソトワノ辻 ケブタ 中山 櫻田
 極楽寺 ウエシタ 池ノワキ シリケンタ 斗代 柚ノ木辻 トタイ 柳田 フタヲサタ 内
 井 神木 ソワノ段 内峠 上垣内 ズンゴエ 林添 杉ノ井 カチマル イモ 丸尾 東垣
 内 谷 井戸垣内 戸ノ垣内 ヲタ 岡崎 小松 下川戸 和垣内 ヲコキカハ コウライ
 上川戸 ヤケモン 東浦 川向 ウエシタ 井殿垣内 ロウモン

ドノシタ ツルナワテ クボラ ミヤブ 河合 カシノヲ カナイケ ロクジド コマツバ
 ドヤシキ テラウエ 奥ノ垣内 垣内 裏園 ミヤブ ラクノド タケツホ ヲクノカイト
 コタカシネ ウチカイト コタカムネ イヤノモト ムカイ ツチヤ ツカノヲサ ニシカラ
 ダ ケツ水山 二月田 トラジリ ヒツラ 吐田 タケノシタ ハウダ ワキ田 ヨウトマエ
 梅木田 タニカイト イケノシタ 柳谷 シ、ケウ イケノウエ コシモト コラタケ モシ
 モト シウガイ 山ノ谷 ヲカルヤマ イシナツカ 三反切 トチヨカイト トネウホ ムネ
 ノコシ ヨネトマエ マイタ ホウジ 向井 井戸ノ上 カライ トウネボ フクイ カラヤ
 ナカセヤマ ヒガシ 東カイト 前田 東垣内 中垣内 ヤシキウラ 下垣内 ゴモウ ヲガ
 ト キタウラ 寺阪 ヲクノド ヒワラ 堂山 宮ノ下 カタキシ イ、サカ ノグチミチ

町村名		大字名
飛鳥村		飛鳥
豊浦		雷

飛鳥

地蔵田 明田 北浦 橋口 クラヤシキ 福井 芝山 イノサカ カタキシ トイカヤシキ
 野口道上 片キシ クノチ角 ノグチ カタキシ 御門 トウネンボ 金池 大地蔵

宮ノ下 トーダ 池ノ上 阪谷 坪田 古池 ミノヤブ 池ノ下 池ノ尻 アサカ ウラダ
 南口 大門 藪ノ下 仲田 高田 カナヤ ツカダ マハリダ 出水 五輪 辻堂 トノモト
 横井 アマダレ 高樋 タカヒ 廻リ山 黒添 車ノ下 上川原 松原 土木 西口 石橋
 折口 松原田 川原 下川原 水落 唐木 ハリワケ ニツ柳 ツムメホシ 六反田 西六反
 田 東六反田 明連寺 石神 ミカド トリクボ 石田 コネノコ 戒重田 カナヤケ 丁通
 リ 柏原田 木部 ハシヅメ 横田 内作り サイロダ 北山田 三條坊 カワバリ 竹田
 キタノマエ ワキダ 長田 北垣内 關り峠 取瓶 カタカマ ムメガハタ シカクボ トカ
 竹田道ヨリ北 垣添道ヨリ南 垣添 前田 向イ 九助田 中垣内 マキト 紋ヶ鼻 上田
 浦ノ垣内 東垣内 西垣内 南垣内 スベト 神南備 小谷 向イ山 カキハナ イモラ 寺
 西 桐木畑 牛ヶ脊 百菊 南浦 ダイコクサカ カリカネ 脇田 モンガハナ シイガクボ
 トツルベ カケゾエ 下上田 向イバタ イマキ トノダ ムカイハタ

北口 辰巳田 辻花 三ツノ浦 馬場 馬場上 馬場下 廻戸 ハンノ木 池ノ尻 中ア 土
 井ノ脇 成亥蔵 寺内 下川原 宮ノ北 苗代 上山 小南 火振り山 カギダ 長浦 火振
 山ノ西 ツ、ミ ツ、ミ西 ツ、ミ南 堤西 四ツ又 池ノハタ 松谷 マツ谷 ソブタ 蛇
 ハナ 小谷 雲天 クモン天 奥谷 釜カケ 鎌矢ケ ヲシガハナ ヤマヤケ ミノハ カシ
 ガハナ ミノワ カキノ木 池ノカワ 池之カワ 岸坂 ミコシ 長尾 カイカン田 カイセ
 ンダ 孤塚 ムネン坂 墓西 ハカノ西 寺南 墓北 ウテビ 川原 金堂 北大通 二ノ坪
 川崎 墓谷 向山 川原谷 大崩 上川原 作右衛門谷 井手ノ上 エビスタニ 井手ノ脇
 川原尻 南山 四ツ辻 墓ノヲク 戎谷 火振山

石井手 樋ノ口 東浦 下ノフケ 向イ 狐塚 キヲ カナヤケ 稻葉繩手 山ノ北 山ノ南

町村名	大字名	雷	小山	奥山	八釣	飛鳥村
小	小	内畑 上山 城山 出口 竹ノ花 サコツメ フケノツボ 大柳 アラボリ 出水 八王子	塔ノ井 中坪 大安寺 東金焼 金焼 狐塚 大龍 講堂 阿彌陀堂 宮ノ前 門屋 領梅 北浦 ナガレ 犬飼 山ノ下 堀田 丑田 牛田 北金焼 キデラ 八反田 戒外 油川 二 夕藏 寶泉山 茶園 西山 城ノ内 北垣内 中垣内 南垣内 上畑 的鶴 井尻 有風 キヲ山 キヤウ 和泉浦 八ノ坪 ハネ ヤマモ、	リウゲ コクウヂ カシヤタ カシロタ ヤシクク カジヤタ カシヤク カイトタ 西川 コンゼ トノマエ トノツジ トノキタ ヲキタ ナカクボ ヨシノベ トノニシ ヘカダ 柳田 ハリマタ ヌカダ ヘヅメ ヘグリタ カケズエ クヅカミ キタクチ ニシフケ キ タバタケ コメノヤマ ナガタ カナヤケ カワラタ キタガイト 宮川筋 シモノカイト ヤブタ 宮ノ下 カサヤ 山口 ヤフサメ ハサミタニ 峠ケ畑 コジリ コシラクチ コジ クバンシヨヤマ コジラクチ コマキタ ヒフリヤマ 東ノ垣内 奥ヶ谷 上出 道ノ上 ドノウエ イシガム木 塚ノウラ ボノウラ デグチ ハキタ 上ノ井手 上垣内 テグチ イワノウエ ミナミガイト ミナミグチ 西垣内 寺ノ前 中垣内 イヌイカイト	カイト キトラ 上垣内 川バタ マトバ 下垣内 カキゾエ 宮ノ木 細田 中垣内 市ノ木 南ノ垣内 古屋敷 キンシヨヅカ 奥ヶ谷 サルガタニ 三枚島 ウチコシ ウルシバタ 三條坊 竹田 トツルベ シイカクボ カゲゾエ 上田 下上田 マキド 向イバタ 中垣内 マキト 百菊 ウシロ 東浦 キンチヨヅカ 初王子 山ノ下 南浦 アソゴシ 北口 カゲバタ 北垣内 ヒヤミス 下垣内 上垣内 ソノ リウモンヤ 石垣内 サンジ 上ノ芝 ヲ	

鴨公村	東山	小原	上飛驒	飛驒	繩手	醍醐
	クヤシキ ジキンド ウチコシ 井手ノ口 ナカシタニ サ、ワラ 大黒坂 カリカ木 チゴ イシ 八幡宮 ヲタレキ 長尾 カシキ谷 大切 行者辻 貸ノ木谷 川バタ カキハナ イ マキ トノダ ムカイハタ アリゴシ 川端 紋ヶ鼻 牛ノ脊 ダイコクサカ ヲキカミチ 辻堂 ダケ ナガラ ヲムカイ	マトハ 山ノ下 ヒノクチ サビラケ 庄屋垣内 長畑 向イ山 中切 七ツ田 スゴウ 谷 田 西之芝 ドイテ フケ 浦ノ下 マエジリ カキハナ 誕生山ノ下 寺西 宮ノマエ 宮 ノウシロ ワサダ 敷ノ下 下ノ垣内 ウチヤフリ カイト 誕生山 上垣内 浦ノ垣内 杉 ノ木畑 シミズ 向イラ シヤリ畑 小原畑 峠畑 カサマツ 出口 別所 川畑 川端 ヲ キカミネ 辻堂 ヲタレキ ダケ ナガラ 笠松	川向 スミサキ 垣内 西ノ方 堂坂 ウリヨ 樋ノ尻 カナヤケ フケ 東浦 日高山 大弓 ハントウ 五ノ坪 四ノ坪	大垣内 中ノ町 佃 桶田 久保 醍醐久保 垣内ノ口 西大原 一ノ坪 敷ノ下 コチカイ ト 東中川 ミナト 堂浦 五反田 ソノ田 町田 扇子田 久保垣内 ゴララク 南垣内 池ノ尻 西中川 畑尻 戊亥垣内 上畑田 ハリマガ坪 有田 柳田 大ノ木 四反田 東大 原 下畑田 柳ノ辻 南川原 石ヶ坪 砂田	菰田 古々 東田 六反田 大木 友清 見舞田 下金池 折森 金詰 鹿子田 末田 薪庄 林田 西五ノ坪 幸見 戊亥田 下池田 當ノ坪 絹井 境ゲフテ 下久保 上牧 東五ノ坪 天役 足折神 北田 大宮 松笠 寺前 長谷田 坪坂田 上金池 正ノ坪 幸助 政位 東 當ノ坪 桑ノ木 庄屋垣内 堂垣内 高屋 野口 下筋具 キヌイ 鷺棚 西當ノ坪 石田 上久保 音羽 笠ノ坪 上筋具 西筋具 菰池 巖筋田	

附錄地理

町村名	大字名	小字名
鴨公村	高殿 別所 法花寺 (各大字別ニスルコトヲ得)	ホウズミ ハネタ ヤクミヤ 大君 南垣内 中田 北垣内 角田 山ノ坪 生田 シリエ ハナタ 車田 西百濟 アマタ 東垣内 孫殿 上法花寺 松笠 南石田 タケヒ 奥垣内 宮ノ口 ホシノ畑 提ヶ坪 コウ田 中殿 法花寺 大鼓田 ウスコ 花田口 松原 居倉 九ノ坪 權助 池尻田 東京ノ 申法花寺 メダロ 橋田 カキソエ 針ノ木 イケクヒ ヨウカイ 垣内 花黒 北垣内 トワノ垣内 辻ノ木 ジンジヨ コモイケ 船田 八ノ坪 東百濟 池尻 ユウカイ 六ノ坪 北垣内 北石田 北角田 南城殿 クジラ町 柳田 大 宮八ノ坪 釜ノ口 倉ノ町 ホツコエ 池田 二井田 狐塚 下堀川 クツメ テンヤク塚 ノ前 上堀川 稻井 ミヅノエ 下鴨ウリ 東沖殿 谷ノ口 下ワケ 高ヤ 北城殿 楠田 宮所 堀川 北船田 西沖殿 ノロ 上ワケ 上鴨ウリ
八木町	八木	室田 南神堂寺 神堂寺 北神堂寺 下ノ在 ヤブノウチ コイノクチ 墓ノ東 四金田 佃 角寺 出ノ垣内 馳上り 墓ノ西 城ノ内 粟子 九門田 八反田 南 三木町 三木町 相生町 南賀 里ノ垣内 西出水 笠ノ垣内 新屋敷 東穂ノ町 西穂ノ町 院田 馬司 小繩門 漆原 宮町 本町三丁目 八軒町 八木寺 金ヶ町 寺西 平添 十五 十坪 東町の場 布袋町 駿河町 寺町 堺町 柳町 木ノ坪 紺屋ノ坪 蓮花田 林田 金池 風呂尻 九門町 高來町 芝ノ本 六ノ坪 愛宕町 中町 戒町 柳本 西口 墓ノ本 大垣内
今井町	今井	西町 南町 東町 北町 今町 新町 有井 下相田 上相田 瓜生田 南浦 今井戸 堂ノ 坪 梨子原 七井田 松ノ木 一本木 大西領 吹屋畑 五ノ坪 七ノ坪 北大塚 同心屋敷 跡 大塚 田中 冬田 高木ノ宮口 南口 西口 八幡口 北口 北蘇武口

眞菅村	小綱	大谷	慈明寺	寺田	五井	曾我
	内垣内 大道 西口 苗代 垣内 段間 溝畔 佐良ヶ田 島田 伊豆田 池ノ辻 小鬼城 堀池 角田 ヒロクロ 三畑 室田 畑ヶ田 石田 淺田 九ノ坪 四ノ坪 春日 春日西蓮 矢倉 ウド、油垣内 堂垣内	鳥井 堀ノ脇 墓ノ坪 田ノ口 安田 石橋 池ノ尻 赤土 御園 戸山 上河原 新開 山 添 辰巳 東畑 内畑 山ノ谷	經田 並木 中手町 六ノ坪 市ノ坪 苜町 穢ヶ町 西院田 西官田 新池 今里 坂ノ坊 宛ヶ町 池田 笠丸 新屋敷 西平黒 熊代 大殿 高屋 中田 深溝 東平黒 穴崎 大行 寺 六反田 鳥住田 八ノ坪 三階田 角田 三反林 多門院 御藏跡 川久保 古屋敷 馬 場ノ脇 下ノ木戸 福地院 南ノ坊 橋室院 辻ノ坊 松室院 寺内 寺内池ノ尻 西福院 大門 千手院 地藏院 岩室院 中室院 山畑 スイセン塚乾ノ方 スイセン塚北ノ方 スイ セン塚 スイセン塚長ノ方 彌市馬屋 下藏 念佛院 新林 奥開	寺田 三町畑 トノ森 カツラ田 廣田 上寺田 中寺田 下寺田 角ノ坪 角寺田 雲梯川 イブツ田 北墓所 南墓所 ジキン田 才市 石ノ元	モ、モカ坪 垣内 ヲドリタ 井ノ本 四ノ坪 堂ノ東 牛合 ハリダ 一ノ木 ヘカタ カ ンフケ ワカサ 北川向 八木部 倉ノ林 犬部 西ノ口 川向 出口 古出 カノシリサ イゴ 倉ヶ町 六反田 イネ トヲダ 川ノ上 シリエダ 下久保 南浦 溝ノ前 岩黒 岩 井 上久保	芝ノ前 鐵燒 枕田 久保 戒田 九ノ坪 六ノ坪 川部 豐田 國早田 弓田 尾幸田 橋 室 溝狹間 早田 田中城 誦田 鳥ヶ坪 西島居 島成 葛井 磐余田 長田 九福 ヶ坪 大橋 西ノ町 芝ノ后 葛ヶ町 田中 石造 下深田 上深田 天見田 横木 清水 林ノ内 鍛冶屋口 東出口 五反田 八反田 高堤 上八反田 下八反田 四反田 土木 八

附錄地理

町村名	大字名	小	字	名
眞菅村	曾我	王寺 庄屋口 井坪 竹市 尻ヶ町 池ノ子田 佃 水畔 一丁田 曾我殿 日垣田 藤ノ坪 數ノ前 内ヶ町 城ノ内 新町 乾町 西ノ町 雀戸 宿 墓ノ尻 段ノ脇 宮ノ前 宮ノ久 保 小泉丸 新子 上吉野口 下吉野口 伊ノ坪 曾我堂 九反田 市ノ坪 角ノ坪 下有田 上有田 地藏ノ前 柿ノ木 切戸外畑 外畑 切戸 下樋ノ尻 上樋ノ尻 墓ノ本 丁角 鳥居ノ脇 中井ヶ坪 宮毛 梯子田 大町 柳原 引合 上ノ坪 南浦 柳毛 水吹 大路堂町 曾我町 道ノ前 檢行		
		東垣内 西垣内 南浦 段 堂ノ前 天王 庄ノ前 出合 淵ノ上 南浦妙 東浦妙 キビヤ 町 ビシヤ門 西横田 垣内 西垣内 西浦 北口 東横田 長谷田 太田 樋ノ尻 松本 柏木 殊井田 ハリノ木原 増ノ坪 金焼 池ノ中 立花 柳田 天役 當元 白髮 船橋		
		出合 イヤ田 六反田 南口 垣内 四反田 三反ヲサ 一ノ坪 西浦 造田 北口 キビヤ 町 羽織 正貝 今北 千又 外場		
		北浦 コウキヨ 下トグラ ヒタチ 下内所 小平田 三反田 ユヤガ坪 藤ヶ町 コモリ スイタヶ坪 仁ノ坪 上タチ ハシツカ 下ミタケ 藤四郎天 トノモリ 上トクラ 南浦 大門 辻堂 脇田 下所田 一丁内 丸敷 コウリヨ インデン ヒロセ 上内所 丑寅内所 ハリサキ 戌亥内所 小芝 ウリウ田 東ミヤコ 五反田 ハカセ ミヤコ ハツヲ、ジ 城 門 大將軍 ハリミチ 南口 犬ヶ辻 東垣内 垣内 城内 ミヤ畑 東浦 シヨカイ ミソ 田 ヘカ畑 垣内北ノ方 カウシヨ		
土橋	エノコリ田 中ノ町 安田 三ノ丸 柏田 平塚 上五ノ坪 日笠 八ノ坪 貝ノ窪 大田中 蛇化地 四ノ田 牛塚 島田 高宮 正丸 塚ヶ坪 島町 東木ノ前 小田中 五ノ坪 泉ヶ			
北妙法寺	北浦 コウキヨ 下トグラ ヒタチ 下内所 小平田 三反田 ユヤガ坪 藤ヶ町 コモリ スイタヶ坪 仁ノ坪 上タチ ハシツカ 下ミタケ 藤四郎天 トノモリ 上トクラ 南浦 大門 辻堂 脇田 下所田 一丁内 丸敷 コウリヨ インデン ヒロセ 上内所 丑寅内所 ハリサキ 戌亥内所 小芝 ウリウ田 東ミヤコ 五反田 ハカセ ミヤコ ハツヲ、ジ 城 門 大將軍 ハリミチ 南口 犬ヶ辻 東垣内 垣内 城内 ミヤ畑 東浦 シヨカイ ミソ 田 ヘカ畑 垣内北ノ方 カウシヨ			
地黃	東垣内 西垣内 南浦 段 堂ノ前 天王 庄ノ前 出合 淵ノ上 南浦妙 東浦妙 キビヤ 町 ビシヤ門 西横田 垣内 西垣内 西浦 北口 東横田 長谷田 太田 樋ノ尻 松本 柏木 殊井田 ハリノ木原 増ノ坪 金焼 池ノ中 立花 柳田 天役 當元 白髮 船橋			

金橋村	小	中曾司	雲梯	忌部	東坊城
	坪一ノ坪 田島坪 西木ノ前 正盛殿 二度野 六ノ坪 石橋 戸塚町 ミノド 犬ヶ坪 大福寺 三輪ノ門 左川 川原窪 樋ノ尻 桃ヶ町 岡西浦 今里 梶ノ垣内 大門 川原 出口 カイチ 井ノ口 淵ノ畑 平尾 黒堂 小槻口 堀田	東カモダ クロメダ ハシリ天 ヨシノダ シンゾウ フジカマチ 下九ノ坪 ジウツ 下神 田 ナ、イタ フルト 今井坪 山ンザイ 下コモリ 上コモリ 三ノ坪 十ノ坪 九ノ坪 ミチエ 森坪 丁角 森ノ西 上カイ ムノ坪 アラタ インベタ 田中 小南 トウノ西 東通り ツクダ 庄ノ坪 善久保 如來堂 キビノ森 カイノクボ クボ マハリダ 宮ノ前 馬場サキ 宮ノ西 宮ノ内 牛ハギ 高ダロ 西口 西カモダ 河内垣内 足原 ヘキ 寺ノ 前 東中坪 西中坪 サビヤヲ 桑原 極樂寺 北川中 平塚 堀端 イトマ山 ホカ山 中 通 四通	藏ノ坪 作田 出ノ町 下追立 上追立 天竹 北左衛門坊 ワサ原 西ノ辻 南左衛門坊 南幸田 森本 八反田 四反田 馬場 二又 釜焼 下上代 油屋 西葛目 東葛目 下早田 三反田 角田 井ノ上 北浦 村中 河原 島ノ蔵 新堂向 宮ノ脇 天福 長福 蛇化市 西蛇化市 大坪 笠上 北河原 溝田 作坊 大早田 市ノ坪 北清田 横枕 上上代 上釜 焼 アラリ 池上 南清田 二ノ坪 堂ヶ坪 野田 久保 筋違 五反田 牛屋 柳田 外ヶ 坪 川ヌケ 折柳 南八反田 ヤイ ヤイ横枕 野 塚原 桶ノ脇 新堂中 門田 カイチ	下檢行 檢行 ヒルタ 門村 ヘカタ 水落 追垣内 西檢行 垣内 久保 一ノ道 森尻 佃田 北浦 シリエ 西口 豊田 東畑ヶ田 西畑ヶ田 ミカノコ 新在家	川端 ヲタタ 万田 出垣内 乾角 東浦 坊城 一ツヤ 池ノ側 長巳 前田 川原 桑原 長池 塚原 花ノ木 關田 東ノ方 小物成 折堂 芝ノ垣内 下在坊 今里 羽穴 地藏ノ 前 外ヶ坪 北ノ垣内 折柳 大角田 蓮池 四拾九 角田 コモ池 神田 ガデン坊 柿ノ

町村名		大字名	小字名
金橋村		東坊城	木原 七ノ坪 東佃田 佃田 西佃田 古堂 今溝 地蔵前 新田 柚田 西橋ヶ坪 地黒 茶屋ノ前 北口 西万田 六反田 西六反田 安松 五反田 小山ノ前 川久保 西安松 上 安松 大久保 西浦 五反田道西 北口敷ノ下 南口 山添 長黒 四反田 垣内田 松本 ガワ 野口 平三田 生花 上市場 市場 堀田 樋ノ口 上ノ野 西ノ角 万田東口 芝ノ 垣内 下在坊 弓場 小口 井田 小溝川 廣ラサ 上ノ向 下向 プタイ 下向イ 上向イ 溝川 堂ノ前 下辰巳 上辰巳 小西 長北 尻江 弓場南口 辻之垣内 明法寺
新宮		新宮	小宮家 筋カイ 六反田 宮ノ庄 折柳 三ノ坪 新堂 寺地垣内 十二 二之坪 高クノ木 上門ヶ坪 下門ヶ坪 下垣内 ナキサ 一ノ坪 七ノ坪 カチ六 八反田 上垣内田 下垣内 元 コモ原 神宅所 上八ノ坪 下八ノ坪 五反田 上野 福羅ヶ坪 梅ヶ坪元 平ヶ坪 万 田 森本 東三ノ坪 東曾我坪 ナツメ 初瀬垣内 東フヶ フヶ 桃ノ上 西曾我坪 柳田
古川		古川	南浦 クノギ 松原 羽穴 露添 川原 秋田 山添 奥川原 川端 小物成 西山 尻江 中垣内 南口 稻谷 平田 町田 長野 堺 橋ヶ坪 油田 塚ヶ坪 上長墓 七反田 山本 中長墓 三ノ坪 喜助 下長墓 奥垣内 西垣内 松原 龜塚 石ヶ坪 エチカヒ
曲川		曲川	大垣内 西垣内 北口 北垣内 中垣内 南垣内 ラシロ 東垣内 垣内田 大宮坪 名倉田 古口 五ノ坪 上才市 九ノ坪 四ノ坪 砂子田 荒張 東八ノ坪 五條 四ツ枝 アレマキ 塚ヶ坪 古井 西カンデン 蛇ガ市 才京 下四戸 東四戸 西畑 露端 香田 南香田 七 々板 鶴喰 初瀬垣内 コイノクチ 角田 南久保間 大貝 久保間 コウデン 東草田 一 ツ柳 池床 長瀬 芝田 八反田 名倉田 上法花浦 下法花浦 井手ノ上 荒張 久保 無 新田 樋ノ尻 古川 柳ヶ坪 門田 南貝 廣敷 ラジロ 古口 石田 多部 マトバ 松運 堂 北マトバ 堀田 小川 カギタ ヨモジロ 羽織 山ノ内 川端 蓮池 東竹市 カジロ

天満村			
西坊城	根成梯	吉井	秋吉
常門脇 岸之垣内 菊徳 下大溝 上大溝 カケ田 北春日 春日前 庄之前 水池 大木 ヤカ町 ヒハガ辻 岩シ神 北口四反町 長巳堀 東垣内 五代 ツブリ 樋ノ尻 畑ノ尻 北垣内 南垣内 餅田 漆脇 堂ノ後 宇田構 東池田 堂ノ中 堂ノ前 世々構 柿木 平 三郎 植松 西池田 梨子原 北助 亥子田 謙田 岡リ	梶ヶ坪 藤代田 橋ヶ坪 クマ田 西新願 法願田 ハタチ 市之坪 二之坪 東新願 藤瀬 竹末 上中連 下中連 上法事 安徳 五反田 塚之坪 一本木 センテ 西垣内 シヨキ コカキ クボ アワシ 三ノ坪 中如 桑原 カド ヤクシ堂 クラノマチ 南垣内 中窪 正神 西口 西ノ宮 宮ノ後 北垣内 市場 坊城 萩ノ木田 曲敷 野添 北浦 九ノ坪 十ノ坪 六反切 四反切 堂ノ北 淵ヶ坪 堤口 宮ノ前 コノウ ヒルマキ 野田 石田 築田 ホツコイ 水ヶ坪 曾我坪 春日坪	オヤケ 南浦 三ノ川 三ノ川下 イナ 池蔵前 七之坪 東浦 東垣内 西門 寺之本 北 浦南方 北浦 シリエ 新田畑 六之坪 小田中 コモノ口 上大樋 中大樋 下大樋 五ノ 坪 五ノ坪下 フクオサ 大林 上大 大田 古東 五反井 下大木 築山 五反田 シヨブ ダ	志神 池之内 杉ワキ 古堂 三ノ田 夢ウタ 橋ヶ坪 一町田 西池 此ノ本 東此ノ本 東浦 東垣内 西垣内 西浦 丸敷 薬師堂 三反田

附録地理

町村名	大字名	小字名
天満村	箸喰	五反田 北浦 開山 京山 東垣内 シヤカ堂 西垣内 垣内 久保山 山崎 曾ノ 大カキ シ 清水 東河原 下河原 三反畑 西河原 蛇神見 久保 中島 越場 タイノ垣内 六ノ 坪 クレハシ
奥田	出	橋 辻ノ前 池ノ尻 ブタイ ハサダ 有南 ノソイ 御角 栗坪 東分 ツキ山 寺前 北 垣内 キト久保 北ノド ウエント 九反田 東垣内 西垣内 北垣内 南垣内 南口 畑ケ 田 浅口 石橋 堀田 大垣内 出口 黒田 長促 ビワ 長忍寺 大子 大堂 中ノ町 ナ ナ板 ミノテ 棟ノ脇 西之庄 ヨシ北 板屋前 可ジ又 津夕田 廣芝 松本 五ノ坪 六 ノ坪 カケタ 羽織 石井 新田 西新田 西川 脇田
一	出	南牛田 東牛田 川ノ内 石子 一ノ坪 後見堂 内瀬 マトバ 淨土ノ坪 七反物 四十九 ウヅラブチ ツカ川 山添 小宮前 カド 大ミノワキ 野口 壹丁田 ハシヤ 六ノ坪 八 ノ坪 四反田 蛇穴 西牛田
	出	下スダレ ジクロ 上スダレ シマガ辻 コノ町 城ノ北 五反田 船戸 下ノ池 蓮田 辻 黒ハギ 上ノ池 敷ノ上 敷ノ下 中小路 長屋敷通 丸瀬町 下窪田 久保田 川バタ 大 川 油田 西ハネ 東ハネ 岡竹 上稻葉 上石幸 五反田 マツカサ スジカイ ニノ坪 カツカサ ベモノ木 松ノ木 吉田 高井田 上部 下石幸 下稻葉 ツイツカ 北イナバ 中久保田 上久保田 東稻葉 柳久保 チモリ コセダ ヒツメ 宮西 南宮西 松ノ下 森 畑 ニハダ ミノガサキ 打ノ島居 五井 五井尻 八王寺 横ヶ角 スジカイ 三反田 イ ノコダ 南垣内 北垣内 牛ヲサ 袖ノ木 追垣内 北口 東尻 城垣内 柿縁 河原田 宮 東 西河原田 上河原田 大石木ノ下 大石 タベノ河原 タベ 川原 大崩 米蔵 上垣内

新澤村

北越智	川西	観音寺
大木浦 穂ノ尻 トリカイ 金池 砂田 二反オサ 御城山 宮ノ前 脇田 上通り 貝佛 根久保 勝目 東畑 長畑 墓山 トンダ 中瀬山 高畑 蔵ノ内 横枕 カゴ山 塚ノ西	下名倉 上名倉 ミコタ アミダブ 七反田 塚原 脇田 吐田山 カサ松 北ノ坪 トゴ 外山 イツブジ ミノ田 山田名倉 山田 出口 ロン正 池ノ側 駒竿 栗穴 高塚 尾竿 法樂田 後山 尼ヶ谷 蓮山 墓ノ谷 地獄谷 金藏院 迎イ ゲタ山 ツンデ 北川 給田 北ノ 正毛 一ノ坪 大昆布 五幸 下ノ九ノ坪 幸流 西島居 下島居 千足 御所 前 上島居 横田 下田 井枕 油田 平柳 コンジヤクボ 尾サキ 井戸ノ坪 吐田 桑原 三ノ坪 萬田 次郎堂 朝氣田 下の場 分田 上ノ九ノ坪 四ノ坪 北浦 北ノ垣内 上の 場 下田中 八ノ坪 烏谷 政垣内 内垣内 南垣内 川原垣内 西口 正ノ宮 西ノ堂 井 戸前口 上田中 ツクシ 栗林 横枕 辻落 高岸 南久保 南川 尻ヶ 久保垣内	中川原 車尻 新田 下川原 古屋敷 ソノ チドリ 前殿 若宮 小山辰巳 小山 タベノ 口 柳ノ木田 高野 花山 土ノ蔵 戸山 弓細工 池下 杉山南 南浦 蓮部 コシギ塚 太鼓山 クワンスヅカ 杉山 城ノ越 シブガキ池 六堂 サラシ スリバチ池 茶臼 根笹 中尾谷 ケナシ ヤケ山 タラタラ 姥フトコロ 天満 クノ木谷 寺屋敷 宮ノ上 大前 城坊 上山 寺ノ前 ウマヤシキ 上ノダン 鐘主 古屋敷 角田 キリノ木田 鐵砲塚 墓 ノ谷 カヤノ木ノ下 北谷
		松田 出水 堀田 北藏ノ坪 藏ノ坪 金塚 東金塚 松笠 十ノ坪 鹿々井 西金塚 余木 立京 大井手 御所前 八ノ坪 七ノ坪 廿手 余原 花田 柏木 東柏木 味喰坪 三ノ坪 眞田 柳田 深田 弓田 乾田 ベモノ木 和田前 淨前田 定造 堺田 西欠田 東欠田 慶徳 尾田 申田 水洞欠田 堂ノ垣内 三反田 尻工 杉田 衛干 石橋 西池 前ヶ谷 後谷 古池 和田谷 燈前 作藏谷 杉ノ木 北山 日尾 皆ヶ崎 後満田 川原 稻井 荒 木 穴ヶ坪 伊藏谷 西稻井 戸山 花水 中ノ谷 平山 大真坊 奥ノ谷 火振塚 宮山

附録地理

小

字

名

町村名	大字名
新澤村	北越智
塚ノ東 西角 榑ヶ山 道田 池田 スワノ脇 大畑 尾尻 ホラノ垣内 堂ノ東 キヨウブ カワサタ 北口 上山 奥井戸 焼山 丹後 南浦 迎井戸 スノコミ 池ノ西 セキタ 荒堀 ドンジ山 茶屋ノ上 ノボリべ 孤山 池ノ下 柳原 市ノ山 申谷 水キマ山 杉山 小林 吐田荒 奥山 大原	

奈良縣高市郡志料終

大正四年十一月九日印刷
大正四年十一月廿三日發行

奈良縣高市郡役所

東京市日本橋區數寄屋町一番地
印刷者 田山宗堯

348
327

終

